

佐世保市の地域福祉に関するアンケート

調査結果報告書

平成23年 3月

佐世保市 保健福祉部

目 次

第 1 章 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第 2 章 調査の結果と分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1．回答者の属性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2．地域における支え合いの状況や意識について・・・・・・・・・・・・・・ 6
3．地域における活動の状況や意識などについて・・・・・・・・・・・・・・ 1 5
4．地域福祉の推進について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 2
5．自由意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 1
6．地域別の回答の結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 6

資料

アンケート調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 5

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、佐世保市民の地域での生活における支え合いの状況や、福祉についての意識度を調査するとともに、本市において取り組んでいる事業についての認知度や意向を把握することにより、今後の本市における「地域福祉の推進」に役立てるために実施するもの。

2. 調査期間

平成22年11月30日(金)～12月24日(金)

3. 調査の対象者

市内在住の満16歳以上の市民3,500人
(住民基本台帳からの地区別および年齢層の比例配分による無作為抽出)

4. 調査の方法

調査票記入式のアンケート調査(郵送配付、郵送回収による)

5. 調査票の回収結果

回収数 1,519件 (回収率 43.4%)

【備考】

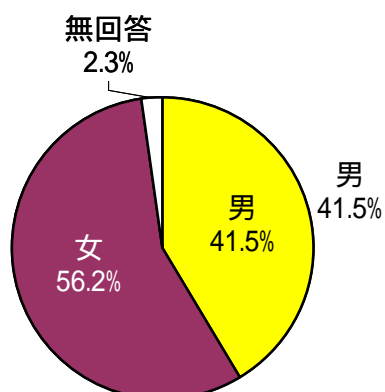
この報告書の見方について

- (1) 各設問の回答については、原則として回答者数を基数とした百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答ができる設問については、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (3) 各設問のうち、調査の主たる目的に関わる設問(問9以降)については、年齢などの属性や他の設問への解答との関連性を調べるため、必要に応じてクロス集計を行っている。
- (4) クロス集計の場合において、各設問の無回答分については、総じて少数なうえ、他の設問に対する回答との関連性を調査する理由は乏しいため、集計の対象からは除外している。したがって、無回答を除いた数を基数とする各設問に対する回答の比率となっている。
- (5) クロス集計の結果の一部において、表示の都合上、図表中の回答率の数値および回答の選択肢等を省略している場合がある。

第2章 調査の結果と分析

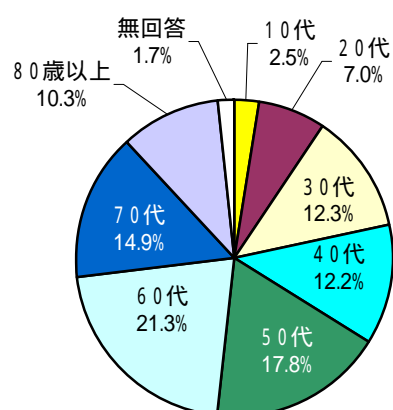
1. 回答者の属性について

(1) 性別



No	回答	数
1	男	630
2	女	854
3	無回答	35
	合計	1,519

(2) 年齢



No	回答	数
1	10代	38
2	20代	106
3	30代	187
4	40代	185
5	50代	270
6	60代	324
7	70代	227
8	80代	156
9	無回答	26
	合計	1,519

(3) 職業

No	回答	数	%
1	自営業主	94	6.2
2	家族従業者	63	4.1
3	会社・団体役員	103	6.8
4	給与所得者	306	20.1
5	パート勤務、アルバイト	169	11.1
6	学生	52	3.4
7	専業主婦(主夫)	298	19.6
8	無職(求職中を含む)	264	17.4
9	その他	132	8.8
10	無回答	38	2.5
	合計	1,519	100.0

(4) 居住地域

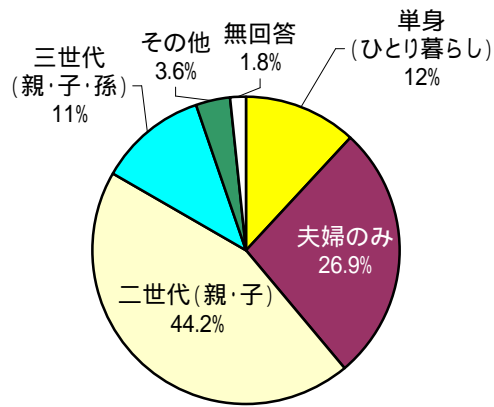
No	回答	数	%
1	本庁管内	373	24.6
2	相浦支所管内	153	10.1
3	中里・皆瀬支所管内	53	3.5
4	黒島支所管内	24	1.6
5	大野支所管内	95	6.3
6	柚木支所管内	42	2.8
7	日宇支所管内	171	11.3
8	早岐支所管内	186	12.2
9	江上支所管内	29	1.9
10	針尾支所管内	35	2.3
11	三川内支所管内	45	3.0
12	宮支所管内	38	2.5
13	吉井行政センター管内	35	2.3
14	世知原行政センター管内	40	2.6
15	宇久行政センター管内	42	2.8
16	小佐々行政センター管内	38	2.5
17	江迎行政センター管内	43	2.8
18	鹿町行政センター管内	48	3.2
19	わからない	3	0.2
20	無回答	26	1.5
	合計	1,519	100.0

アンケートの送付対象者は地域別の人口比率を基に抽出されているため、人口の多い地域ほど対象者の数も多い。そのため、人口の多い地域ほど回答者も多くなっていると思われる。

(5) 居住年数

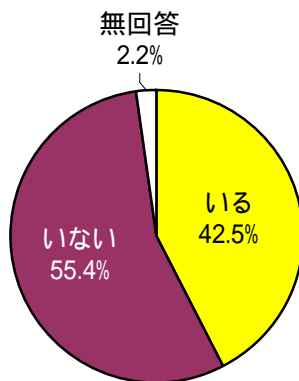
No	回答	数	%
1	2年未満	129	8.5
2	2年以上5年未満	112	7.4
3	5年以上10年未満	168	11.1
4	10年以上20年未満	265	17.4
5	20年以上30年未満	250	16.5
6	30年以上40年未満	229	15.1
7	40年以上	336	22.1
8	わからない	4	0.2
9	無回答	26	1.7
	合計	1,519	100.0

(6) 家族構成



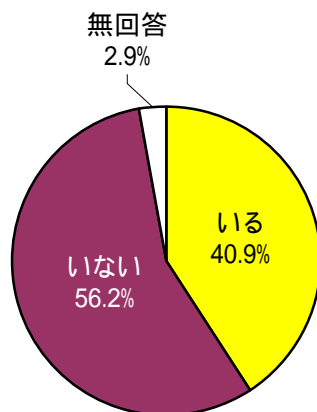
No	回答	数
1	単身	183
2	夫婦のみ	409
3	二世世代	672
4	三世代	174
5	その他	54
6	無回答	27
	合計	1,519

(7) 身近な範囲における要支援・介護認定者の有無



No	回答	数
1	いる	645
2	いない	841
3	無回答	33
	合計	1,519

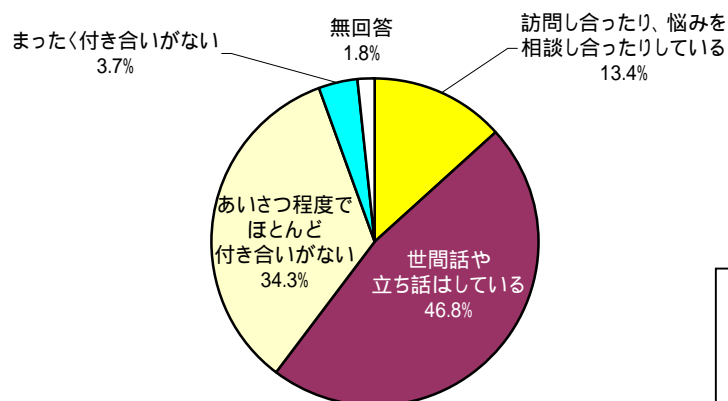
(8) 身近な範囲における障がい手帳の所持者の有無



No	回答	数
1	いる	621
2	いない	854
3	無回答	44
	合計	1,519

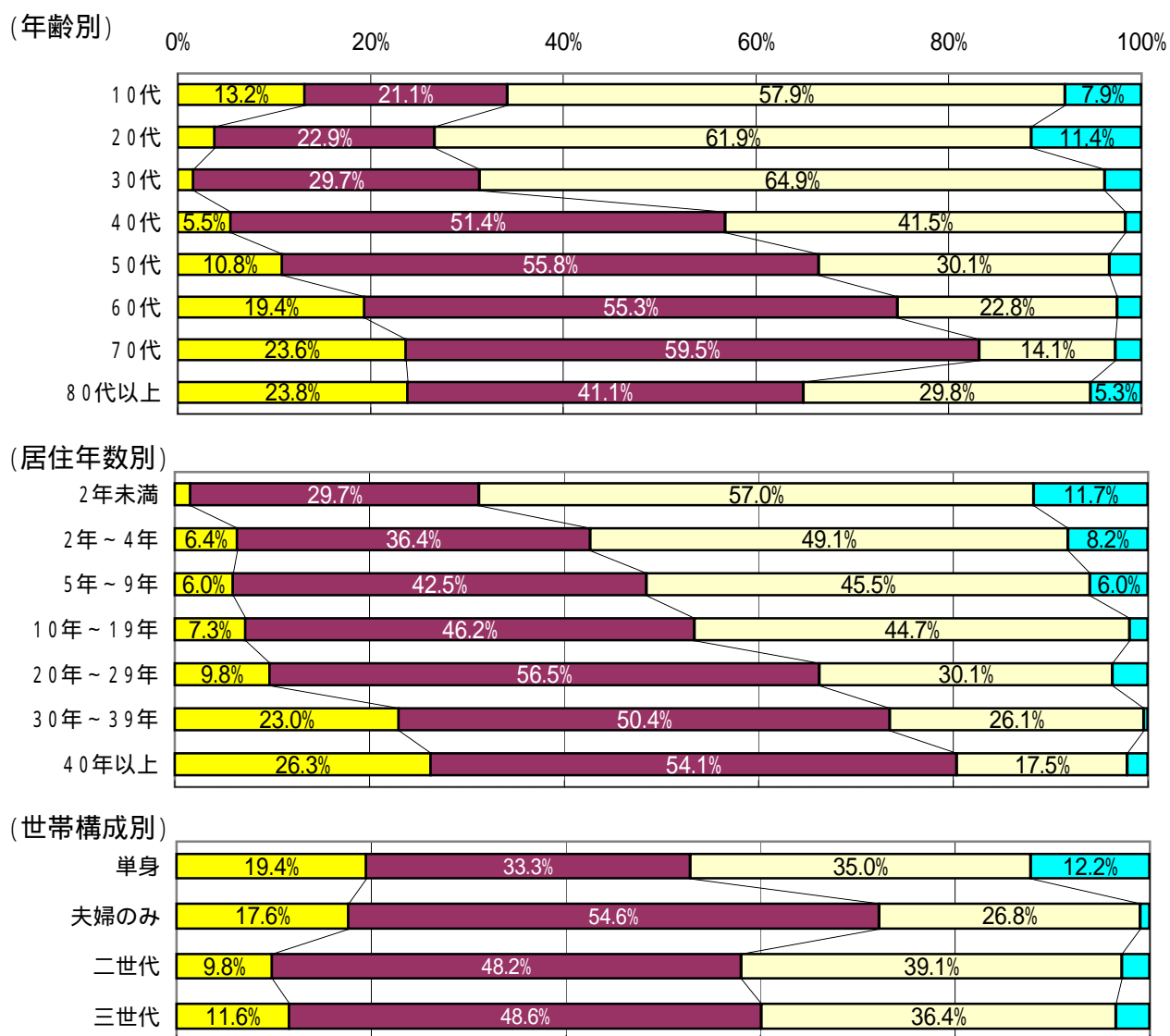
2. 地域における支え合いの状況や意識について

(問9) あなたは日頃、隣り近所とどの程度のお付き合いがありますか。
(いずれか1つに)



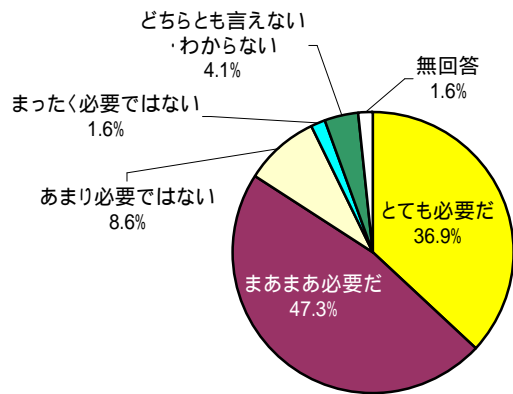
「あいさつ程度」「まったく付き合いがない」を合わせると38.0%となっており、付き合いの希薄化が表れている。

属性別の回答結果



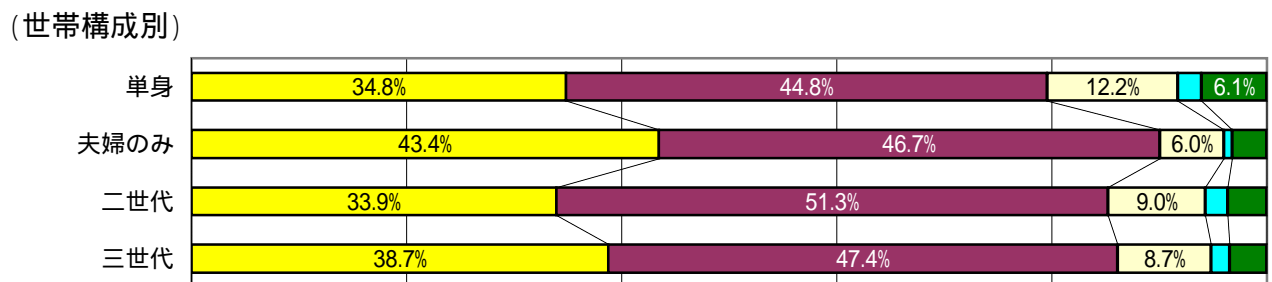
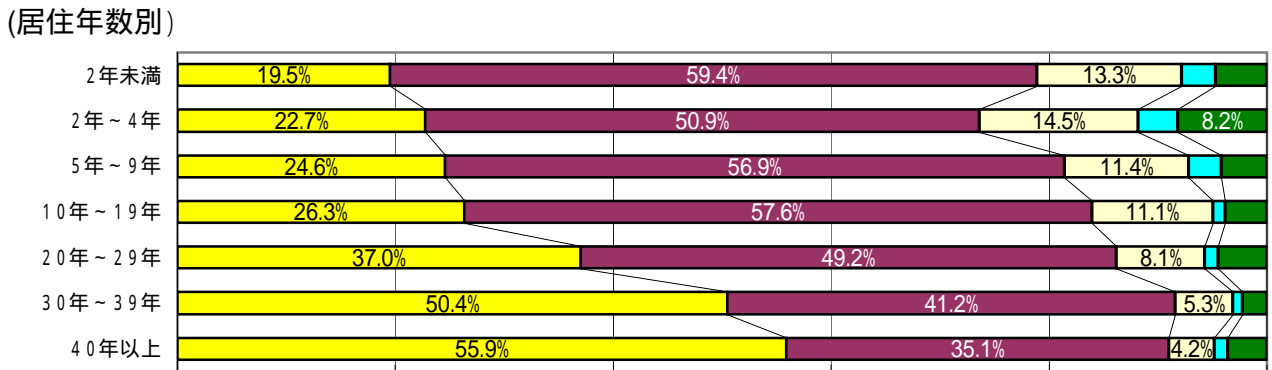
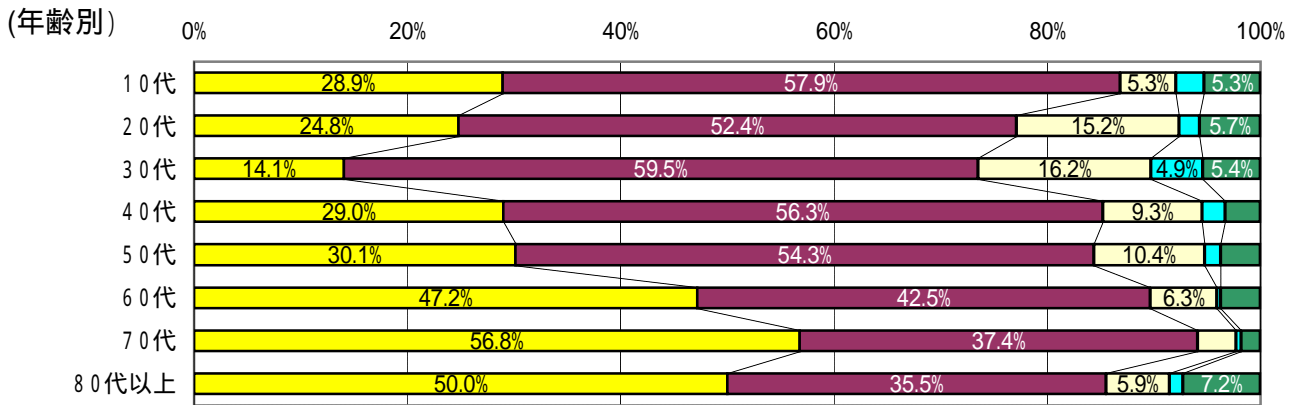
概ね若い人ほど付き合いが少ないが、80代以上で付き合いが少なくなっているのも特徴的。また、居住年数が長いほど付き合いも深くなっている。

(問10) あなたは、日頃の生活を送る上で、隣り近所との付き合いが必要だと思いますか。
(いずれか1つに)



「とても必要だ」・「まあまあ必要だ」を合わせると84.2%であり、近所付き合いが必要であるという意識は高いことが伺える。

属性別の回答結果



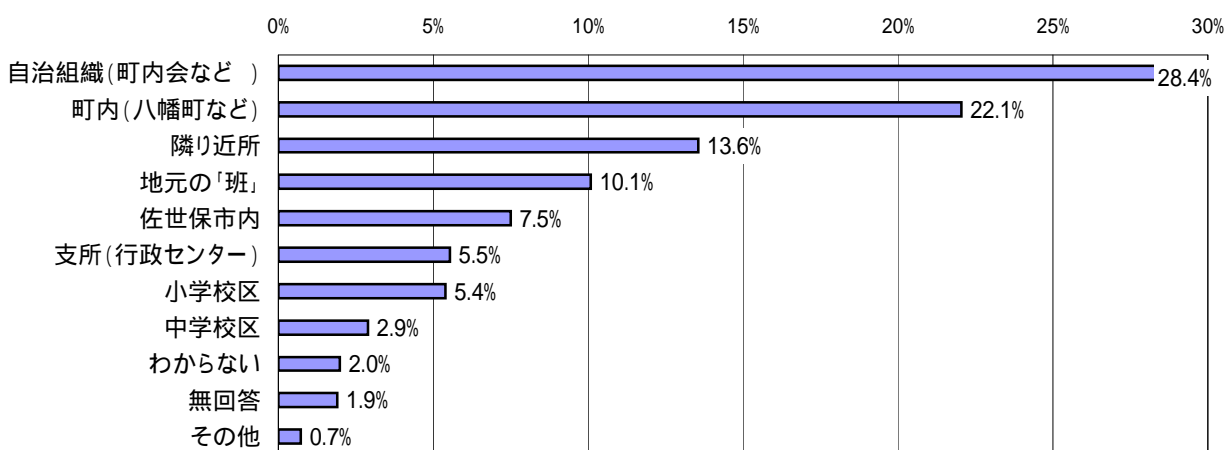
「とても必要だ」について、年齢別では30代が14.1%と最も少なく、10代、20代よりも少ないことが特徴的。また、居住年数が長いほど多くなっている。世帯構成別では、それほど大きな違いは見られない。

(問11) あなたに悩みや困り事があったときの、身近な相談相手は誰ですか。
(いずれか1つに)

選択肢	回答率(%)
1 家族や親戚	70.5%
2 友人・知人	16.1%
3 その他	3.8%
4 だれにも相談せず、自分で解決する	3.2%
5 相談相手はいない	1.3%
6 わからない	0.9%
7 役所など行政機関の相談窓口	0.7%
8 かかりつけの医療機関	0.5%
9 隣り近所の人	0.5%
10 福祉関係の事業所の職員	0.4%
11 町内会・自治会・公民館などの長	0.4%
12 地区の民生委員や主任児童委員	0.3%
13 社会福祉協議会	0.2%
14 ボランティアやNPOの活動をしている人	0.0%
15 その他	3.8%
無回答	1.5%

「家族や親戚」・「友人・知人」がほとんどで、86%以上となった。「その他」は「内容によって異なる」など。

(問12) あなたが「地域」と聞いてイメージするのは、どの範囲ですか。
(いずれか1つに)



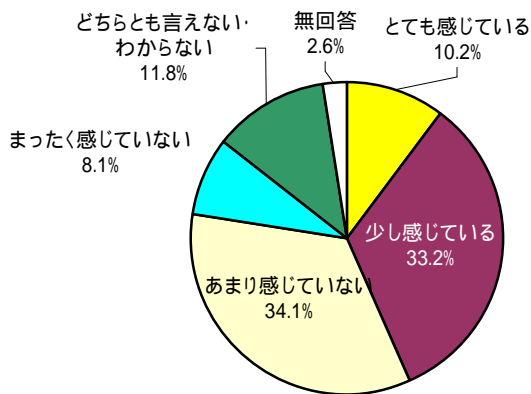
隣り近所から町内くらいまでの範囲が多い。
小・中学校区や支所(行政センター)という回答は少なかった。

年齢別の回答結果(上位3項目)

	1位	2位	3位
10代	町内(23.7%)	地元の自治組織(18.4%)	佐世保市内(15.8%)
20代	町内(26.7%)	地元の自治組織(18.1%)	佐世保市内(16.2%)
30代	町内(30.3%)	地元の自治組織(21.6%)	佐世保市内(13.0%)
40代	町内(28.6%)	地元の自治組織(26.4%)	小学校区(11.0%)
50代	地元の自治組織(37.5%)	町内(25.7%)	隣り近所(8.2%)
60代	地元の自治組織(32.2%)	町内(20.9%)	隣り近所(15.9%)
70代	地元の自治組織(34.4%)	隣り近所(24.4%)	町内(13.1%)
80代～	隣り近所(27.3%)	地元の自治組織(21.3%)	地元の「班」(16.7%)

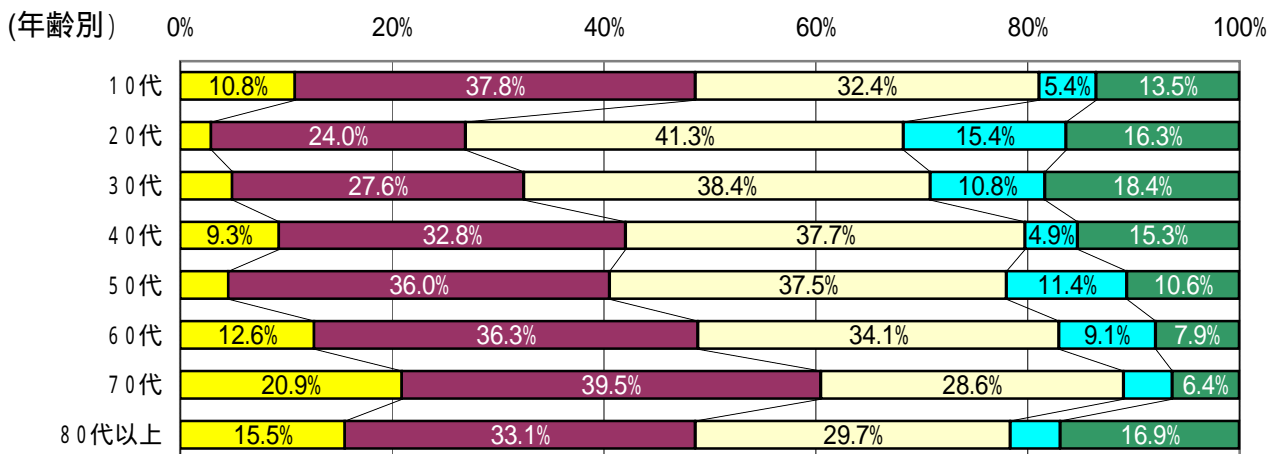
40代くらいまでは、地域のイメージとしてはやや広く、50代以上になるとその範囲が狭くなっている。「隣り近所」が最も多くなっているのは80代以上のみ。

(問13) あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障がい者を含めて、お互いの生活を地域全体で支え合っていると感じていますか。
(いずれか1つに)

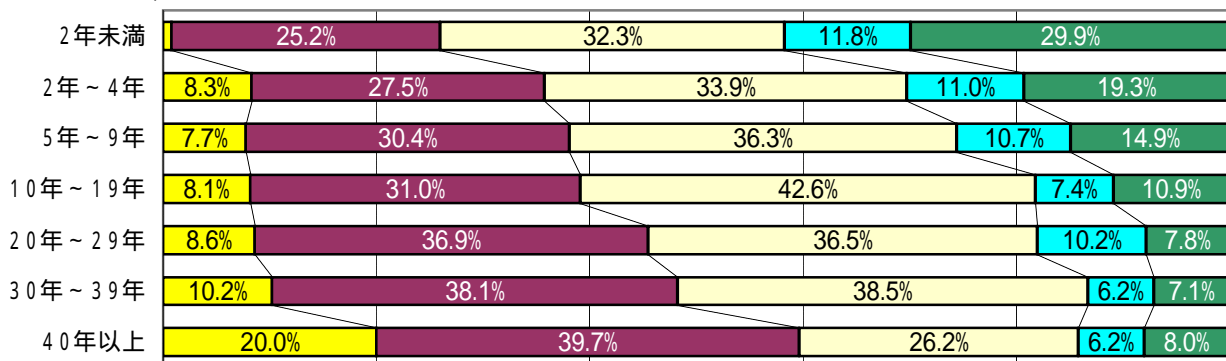


「とても感じている」「少し感じている」を合わせると43.4%であり、昨年の調査時(43.3%)と比べるとわずかに上昇した。

属性別の回答結果



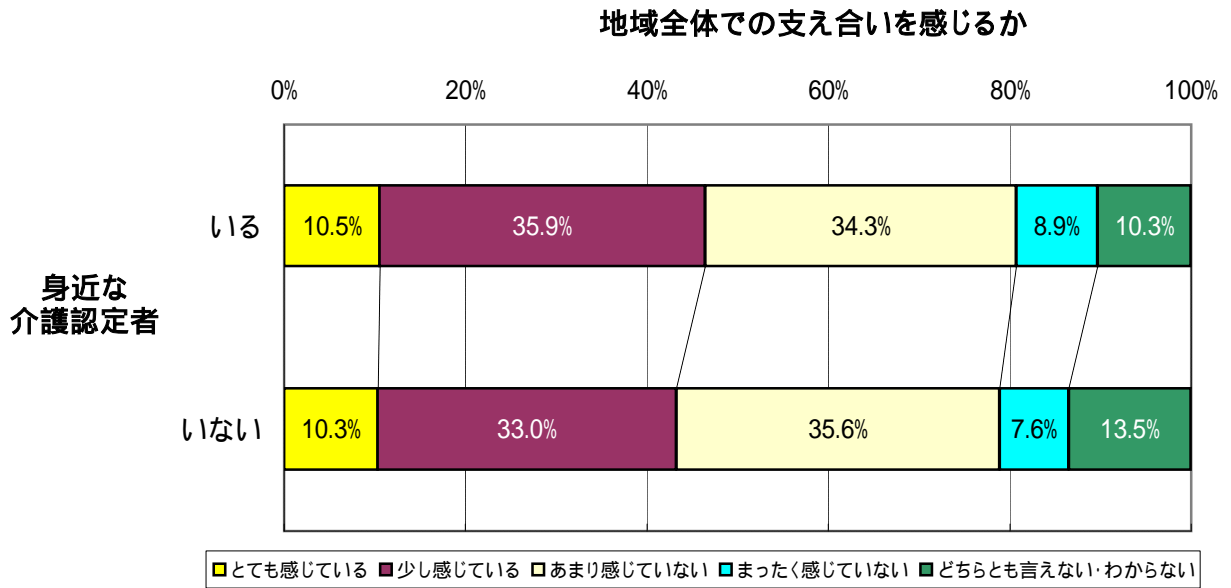
(居住年数別)



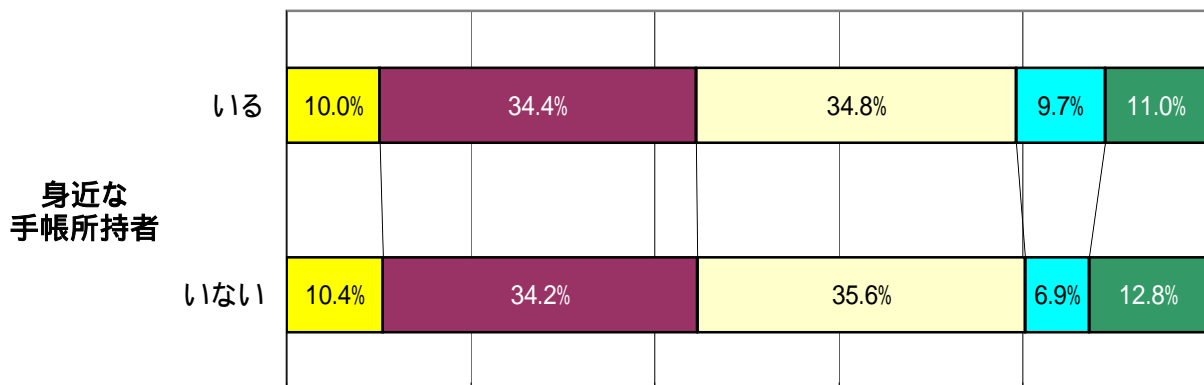
年齢別ではバラつきが見られたが、居住年数別に見ると、概ね年数が長いほど地域で支え合っているという意識が高くなっている。

関連する設問との分析

《身近な介護認定者の有無(問7の結果)との関係》

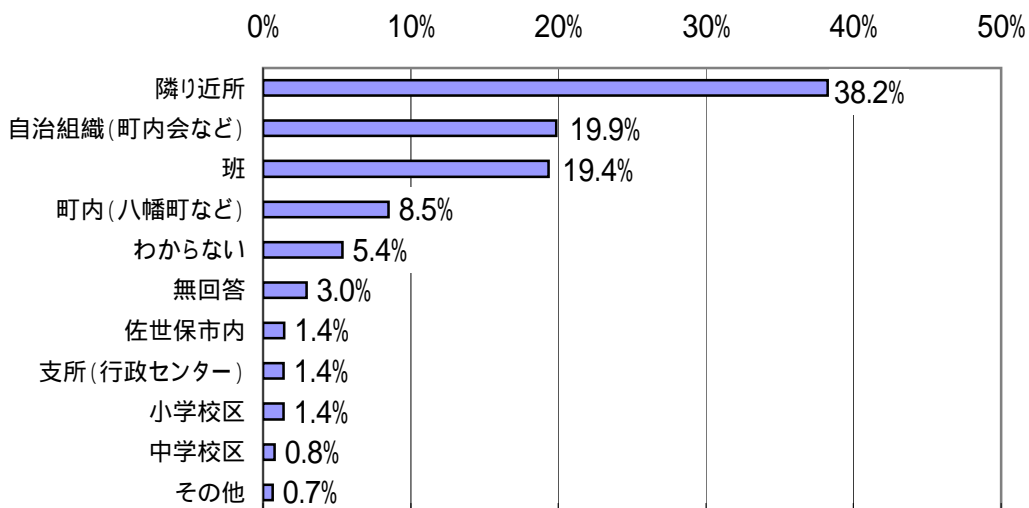


《身近な障がい手帳所持者の有無(問8の結果)との関係》



いずれの場合も、わずかな差はあるものの、地域での支え合いの意識としてはそれほど変わらないという結果となった。

(問14) あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。
(いずれか1つに)



「隣り近所」から「自治組織(町内会など)」という狭い範囲の回答で8割近くを占めた。

属性別の回答結果(上位3項目)

(年齢別)

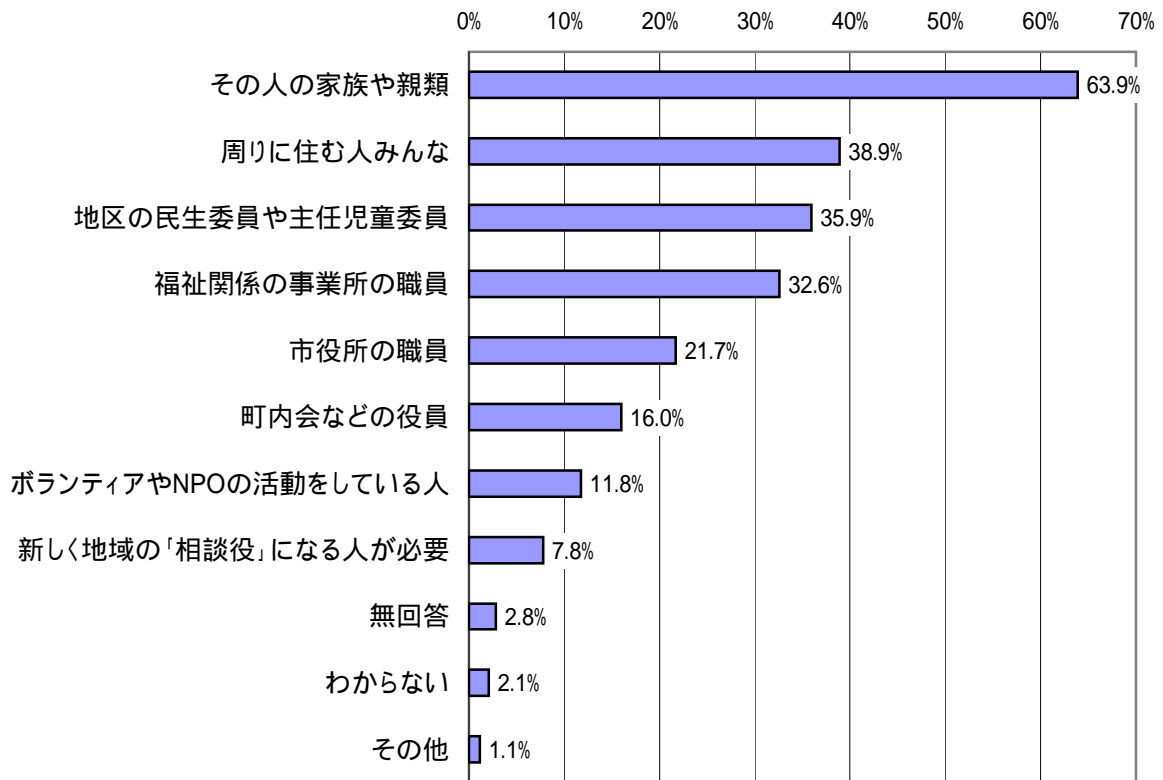
	1位	2位	3位
10代	町内(24.3%)	隣り近所(18.9%)	地元の「班」(18.9%)
20代	隣り近所(36.5%)	地元の「班」(17.3%)	町内(17.3%)
30代	隣り近所(36.2%)	地元の自治組織(20.0%)	地元の「班」(17.8%)
40代	隣り近所(35.5%)	地元の「班」(23.5%)	地元の自治組織(21.9%)
50代	隣り近所(36.7%)	地元の自治組織(25.8%)	地元の「班」(18.6%)
60代	隣り近所(41.3%)	地元の自治組織(25.2%)	地元の「班」(18.6%)
70代	隣り近所(47.5%)	地元の「班」(20.3%)	地元の自治組織(15.7%)
80代～	隣り近所(44.9%)	地元の「班」(23.8%)	地元の自治組織(14.3%)

(居住年数別)

	1位	2位	3位
2年未満	隣り近所(33.1%)	地元の自治組織(22.8%)	地元の「班」(20.5%)
～4年	隣り近所(38.0%)	地元の「班」(19.4%)	地元の自治組織(17.6%)
～9年	隣り近所(34.1%)	地元の「班」(21.6%)	地元の自治組織(18.6%)
～19年	隣り近所(40.7%)	地元の自治組織(23.3%)	地元の「班」(16.7%)
～29年	隣り近所(38.3%)	地元の「班」(22.2%)	地元の自治組織(21.8%)
～39年	隣り近所(43.6%)	地元の自治組織(24.0%)	地元の「班」(20.4%)
40年～	隣り近所(42.3%)	地元の「班」(18.8%)	地元の自治組織(17.0%)

いずれの場合も「隣り近所」という回答が多く、地元の「班」・「自治組織」という回答とともに上位3位を占めている。

(問15) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方が困っているときに、誰がその方の相談相手になるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに)



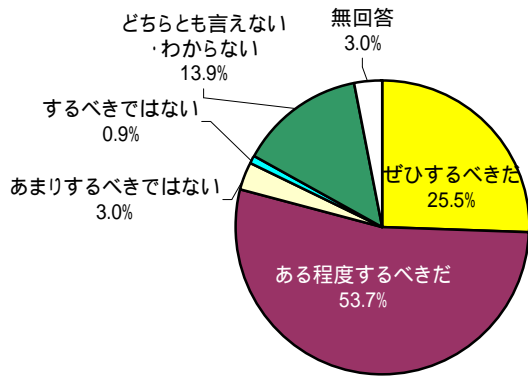
「家族や親類」という回答が圧倒的に多いが、「民生委員」や「事業所の職員」という特定の人を指す回答以上に「周りに住む人みんな」という回答が多いことも印象的。

属性別の回答結果(上位3項目)

(年齢別)

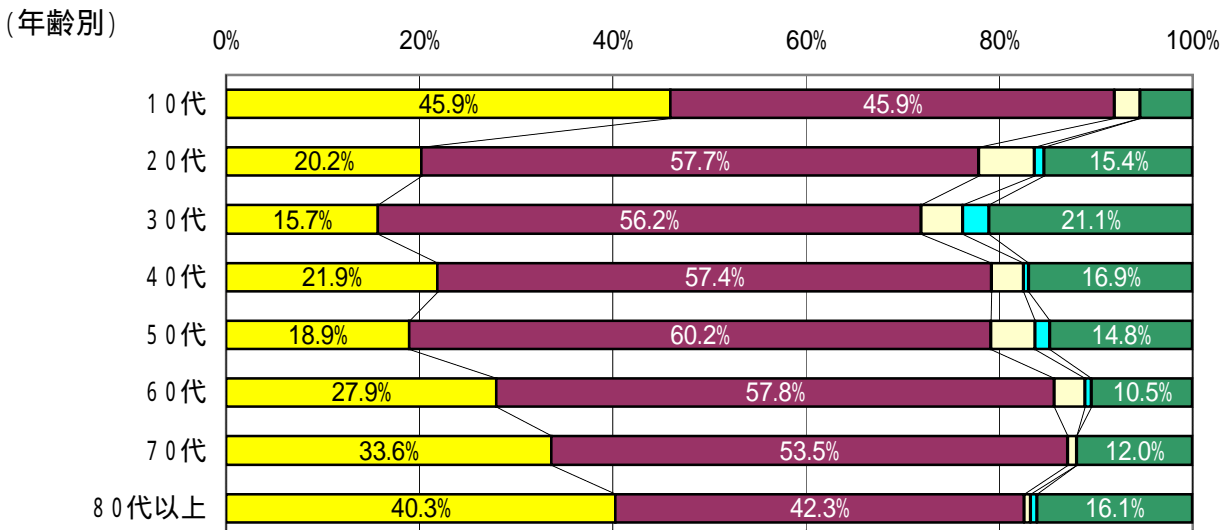
	1位	2位	3位
10代	家族や親類(78.9%)	周りに住む人みんな(50.0%)	民生委員や主任児童委員(21.1%)
20代	家族や親類(70.8%)	周りに住む人みんな(42.5%)	福祉関係の事業所の職員(41.5%)
30代	家族や親類(71.1%)	福祉関係の事業所の職員(41.2%)	周りに住む人みんな(40.1%)
40代	家族や親類(70.8%)	民生委員や主任児童委員(42.7%)	周りに住む人みんな(41.6%)
50代	家族や親類(64.8%)	周りに住む人みんな(44.4%)	福祉関係の事業所の職員(35.9%)
60代	家族や親類(63.0%)	民生委員や主任児童委員(40.4%)	周りに住む人みんな(34.9%)
70代	家族や親類(55.1%)	民生委員や主任児童委員(40.1%)	周りに住む人みんな(36.1%)
80代～	家族や親類(57.5%)	周りに住む人みんな(34.0%)	民生委員や主任児童委員(25.0%)

(問16) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方に対して、地域で助け合って日常生活のお手伝いなどをするべきだと思いますか。
(いずれか1つに)



「ぜひするべきだ」・「ある程度するべきだ」の回答を合わせると8割近くになっており、市民の助け合いの意識自体は高いことがうかがえる。

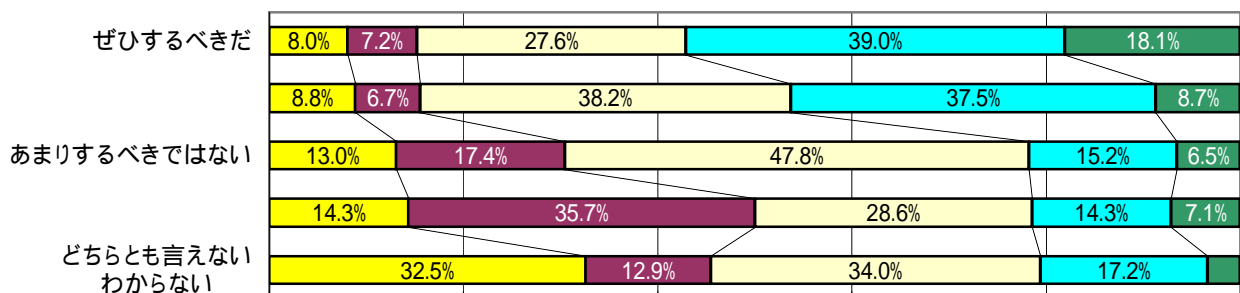
属性別の回答結果



「ぜひするべきだ」という回答が最も若い10代と最も高齢の80代以上で40%以上となっているのが特徴的。

関連する設問との分析

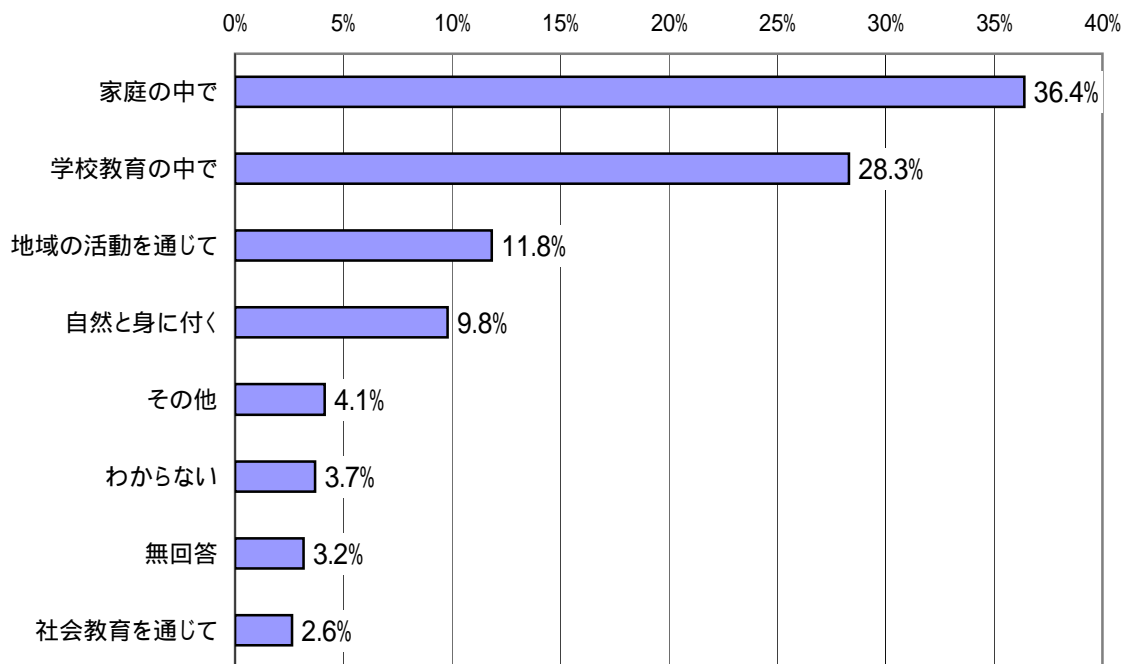
(地域での支え合いの感覚(問13の結果)との関係)



概ね地域での支え合いを感じている人ほど自らも地域で助け合うべきという意識も高いという結果になっている。

(問17) あなたは、児童・生徒に対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。

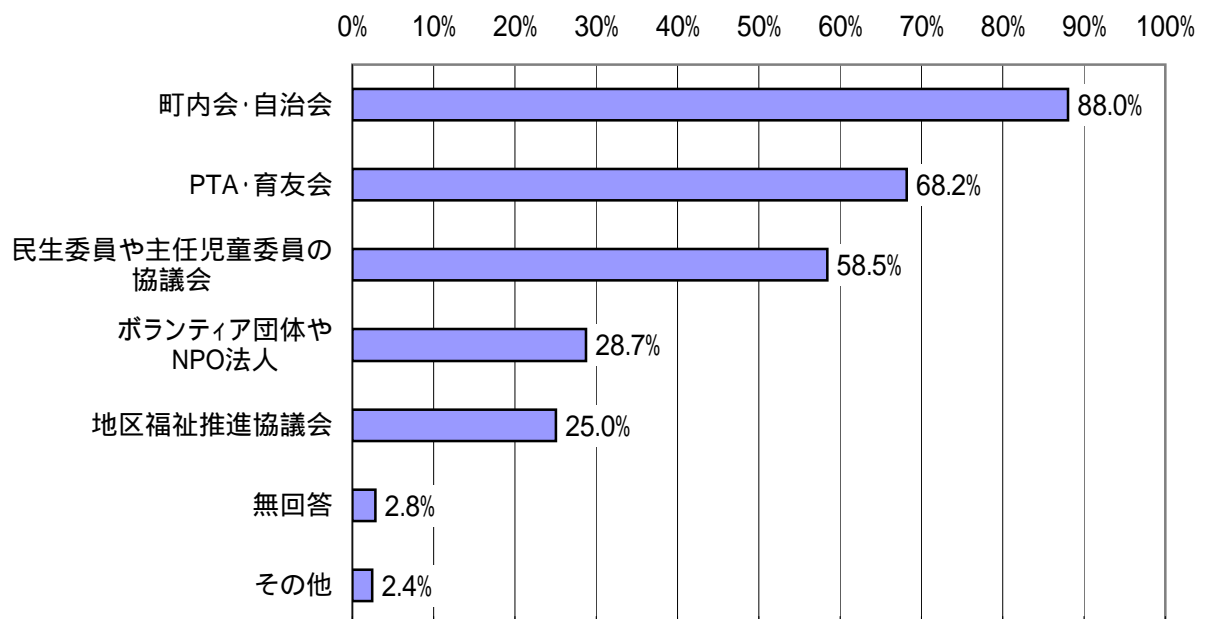
(いずれか1つに)



「家庭や学校で学ぶべき」という回答が6割以上を占めたが、「地域の活動を通じて学ぶべき」という回答も10%以上あるのが印象的。

(問18) 地域には、町内会や自治会などの組織のほか、地区福祉推進協議会などのさまざまな団体が活動していますが、あなたは、どのような団体を知っていますか。

(知っているものすべてに)

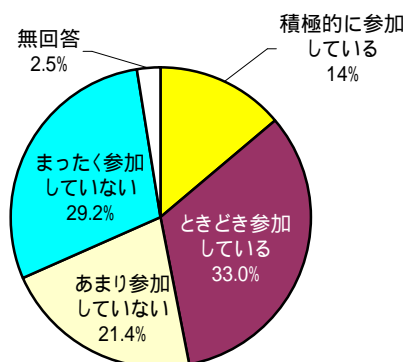


「町内会・自治会」や「PTA・育友会」の知名度は高い。「地区福祉推進協議会」については25%と依然として低い結果となった。

3. 地域における活動の状況や意識などについて

(問19) あなたは、お住まいの地域の活動にどの程度参加していますか。

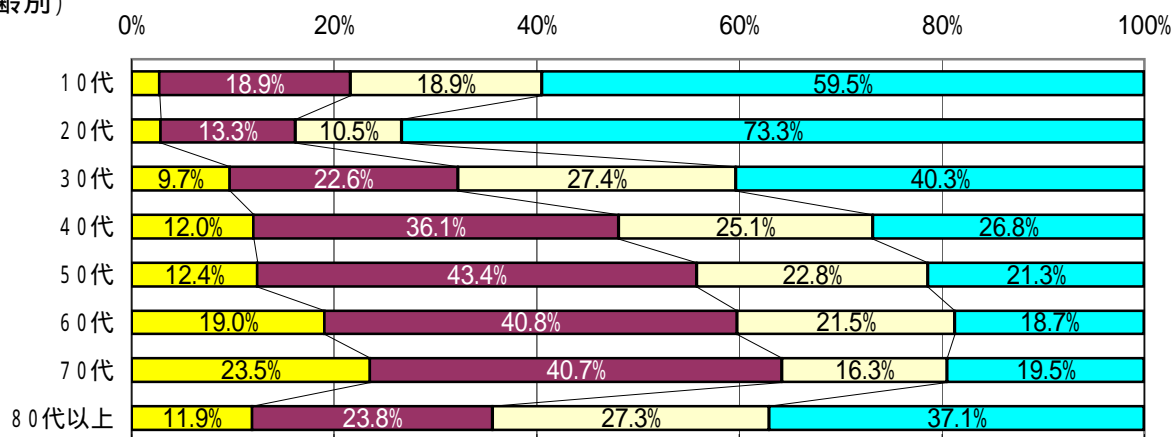
(いずれか1つに)



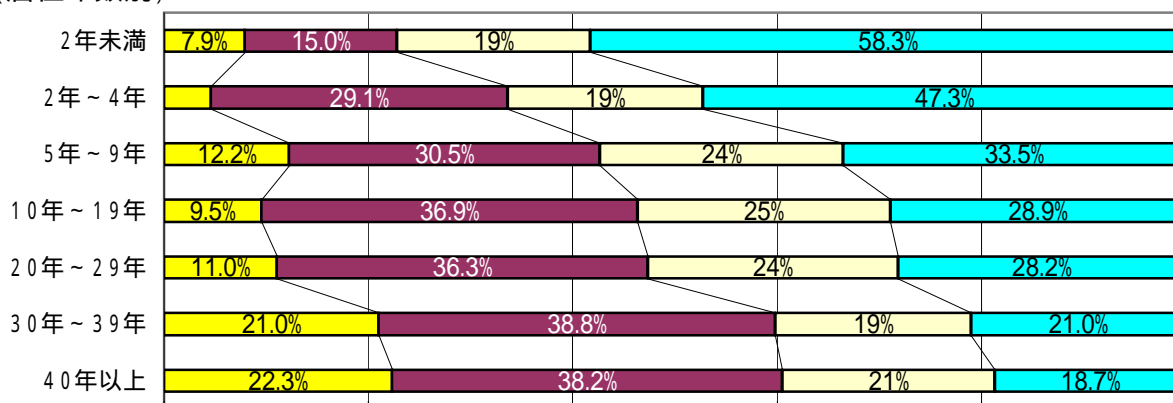
全体の半数以上が「まったく参加していない」または「あまり参加していない」という回答になった。

属性別の回答結果

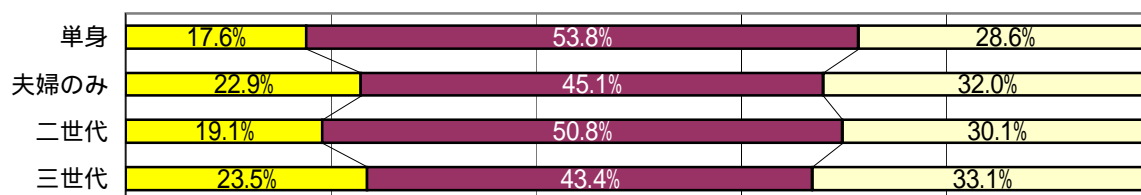
(年齢別)



(居住年数別)



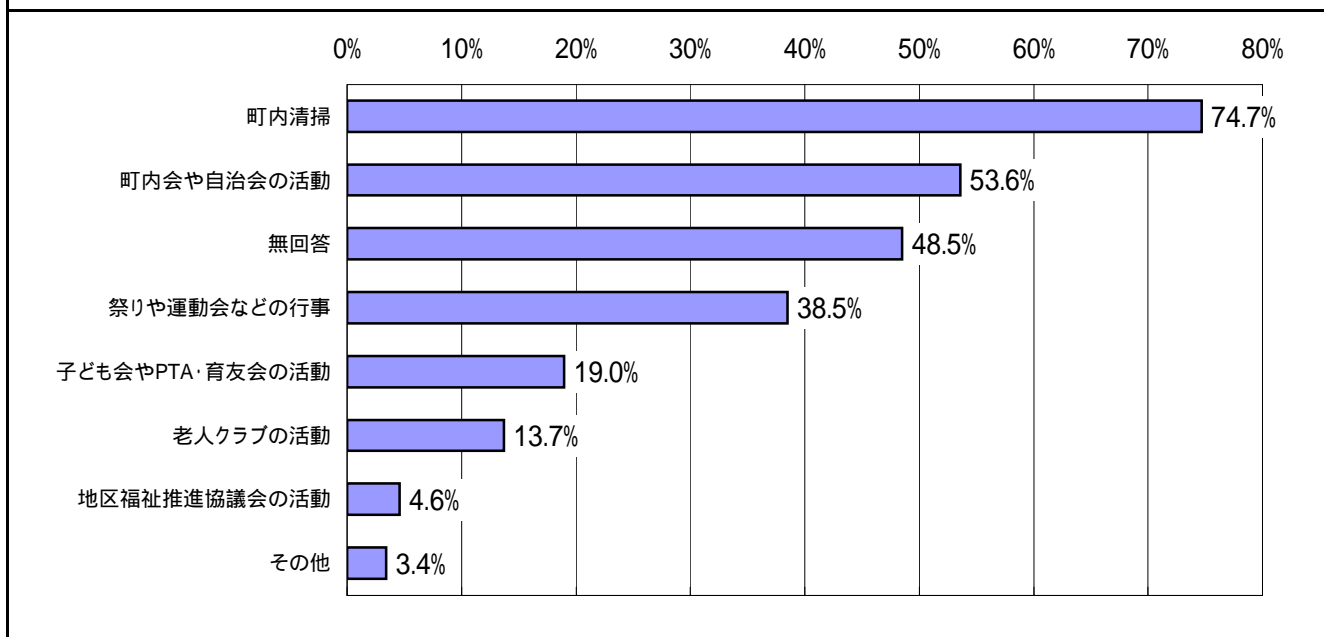
(世帯構成別)



概ね年齢が高いほど参加している人の割合が高い。ただし、80代以上になるとその割合は低くなっている。また、居住年数についても、長いほど参加している人の割合が高い。世帯構成別では、「単身」と「三世帯」の回答が同じような割合になっていることも特徴的。

問19で地域活動について「まったく参加していない」と答えた人のみ回答

(問20) あなたは、地域でどのような活動や行事に参加していますか。
(あてはまるものすべてに)



属性別の回答結果(上位3項目)

(年齢別)

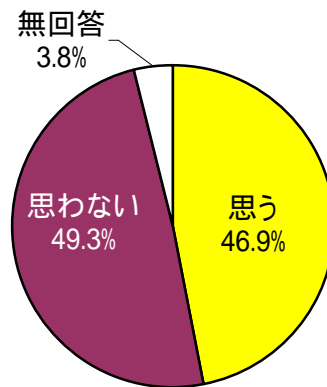
	1位	2位	3位
10代	お祭りなどの行事(80.0%)	子ども会やPTAなどの活動(46.7%)	町内清掃(26.7%)
20代	町内清掃(60.7%)	町内会や自治会の活動(42.9%)	お祭りなどの行事(39.3%)
30代	町内清掃(73.0%)	お祭りなどの行事(45.0%)	町内会や自治会の活動(43.2%)
40代	町内清掃(76.1%)	町内会や自治会の活動(59.7%)	子ども会やPTAなどの活動(53.0%)
50代	町内清掃(81.9%)	町内会や自治会の活動(62.9%)	お祭りなどの行事(41.0%)
60代	町内清掃(78.5%)	町内会や自治会の活動(60.2%)	お祭りなどの行事(39.5%)
70代	町内清掃(69.7%)	町内会や自治会の活動(51.1%)	老人クラブの活動(39.9%)
80代～	町内清掃(54.4%)	老人クラブの活動(44.4%)	町内会や自治会の活動(25.6%)

(世帯構成別)

	1位	2位	3位
単身	町内清掃(63.1%)	町内会や自治会の活動(31.9%)	お祭りなどの行事(26.4%)
夫婦のみ	町内清掃78.1%)	町内会や自治会の活動(55.6%)	お祭りなどの行事(30.4%)
二世帯	町内清掃(73.8%)	町内会や自治会の活動(56.3%)	お祭りなどの行事(41.3%)
三世帯	町内清掃(68.4%)	お祭りなどの行事(53.7%)	町内会や自治会の活動(51.5%)

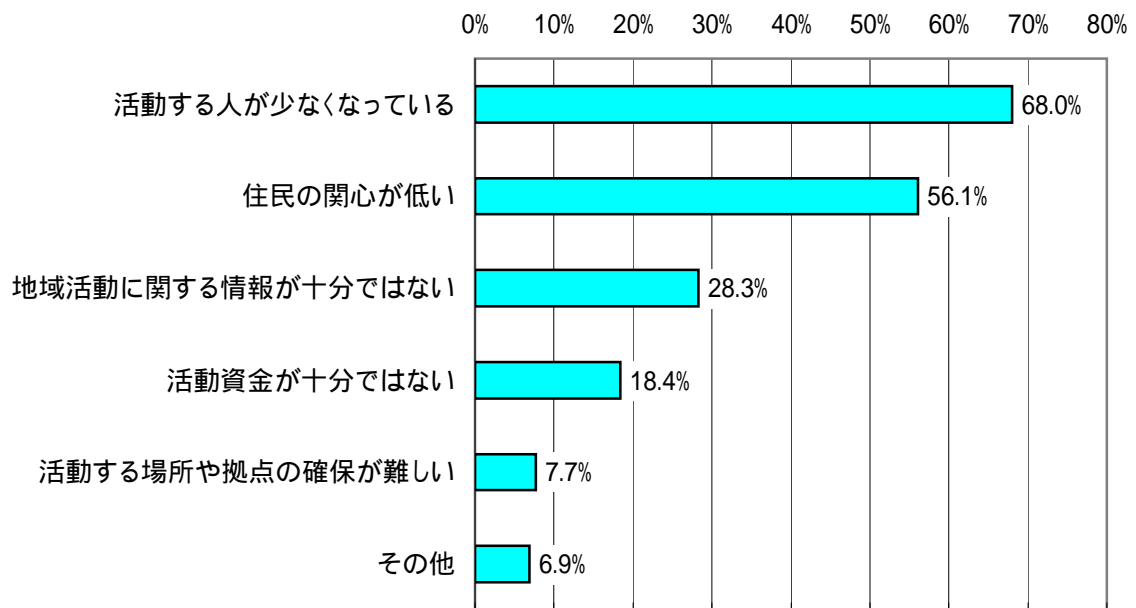
「町内会や自治会の活動」という回答が多かったことは印象的であった。
属性別に見ると、子どもを中心に地域との関わりを持っているという回答が多くなっていると考えられる。

(問21) あなたは、現在の地域の活動に問題があると思いますか。
(いずれか1つに)



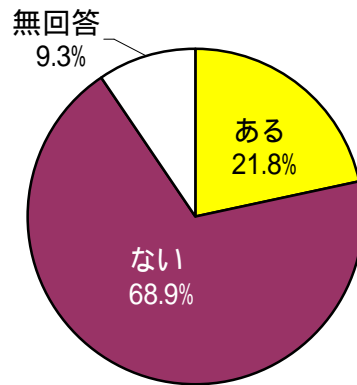
問21で地域の活動に「問題がある」と答えた人のみ回答

(問22) あなたは、地域の活動の問題点はどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに)



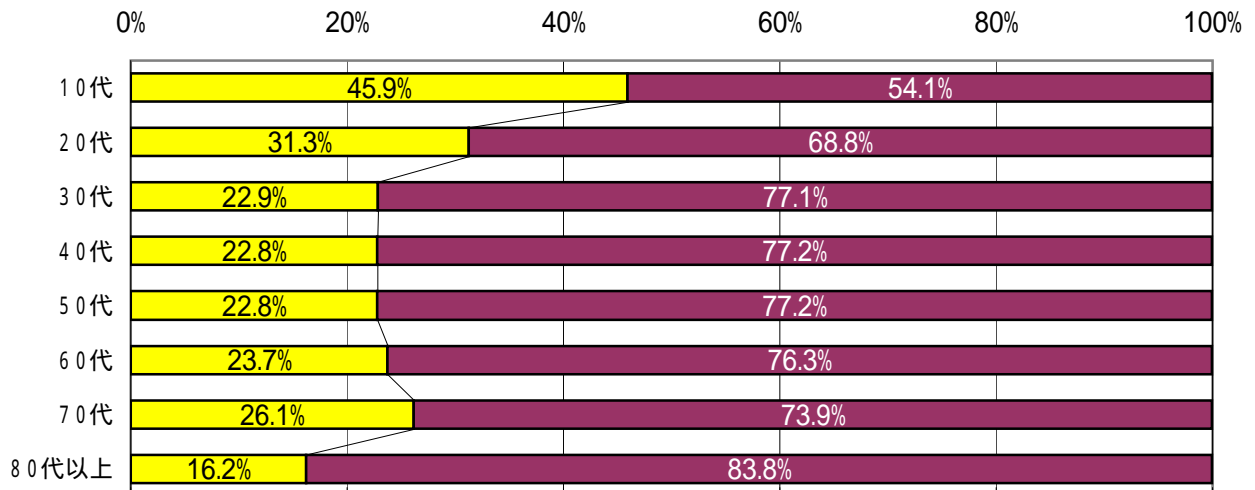
全体の半数にあたる人が地域の活動に「問題がある」と回答したが、その多くは、活動する人や意識についての問題であるという回答であった。

(問23) あなたは、ボランティア・NPO活動に参加したことがありますか。
(いずれか1つに)



属性別の回答結果

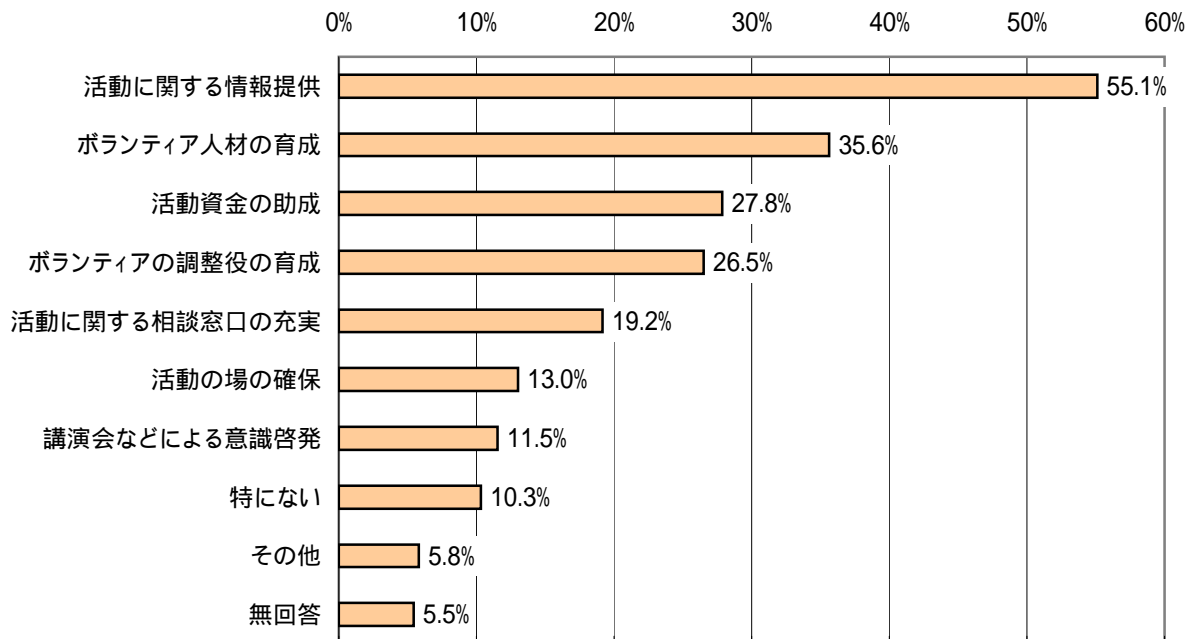
(年齢別)



活動の経験がある人は全体の24%にとどまっている。
10代の約半数が経験があると回答したのは特徴的。

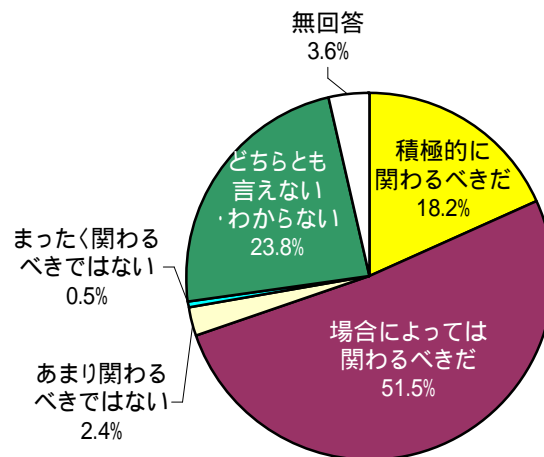
(問24) あなたは、ボランティア・NPO活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものに3つまで)



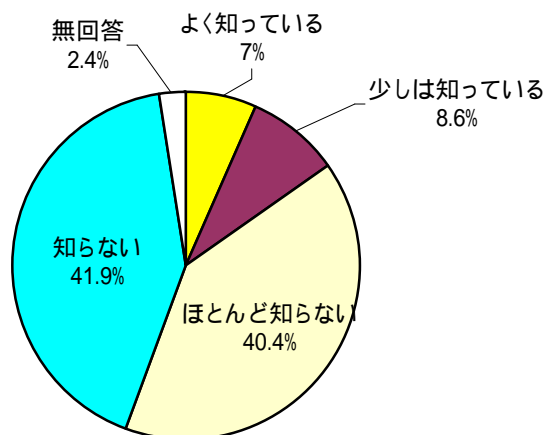
(問25) あなたは、自治会などの“地域”を単位とする組織と、ボランティアやNPOなどの“目的別”の団体の関わり方は、どうあるべきだと思いますか。

(いずれか1つに)



ボランティア・NPOの活動については、情報や人材が足りないという回答が多く、市民地域の組織との関わりについても積極的な関わりを求める回答は少ないことから、生活の中に完全に浸透するところまでには至っていないと思われる。

(問26) あなたは、「デイクラブ」や「ふれあいいきいきサロン」などの住民による交流の場があることを
 知っていますか。
 (いずれか1つに)

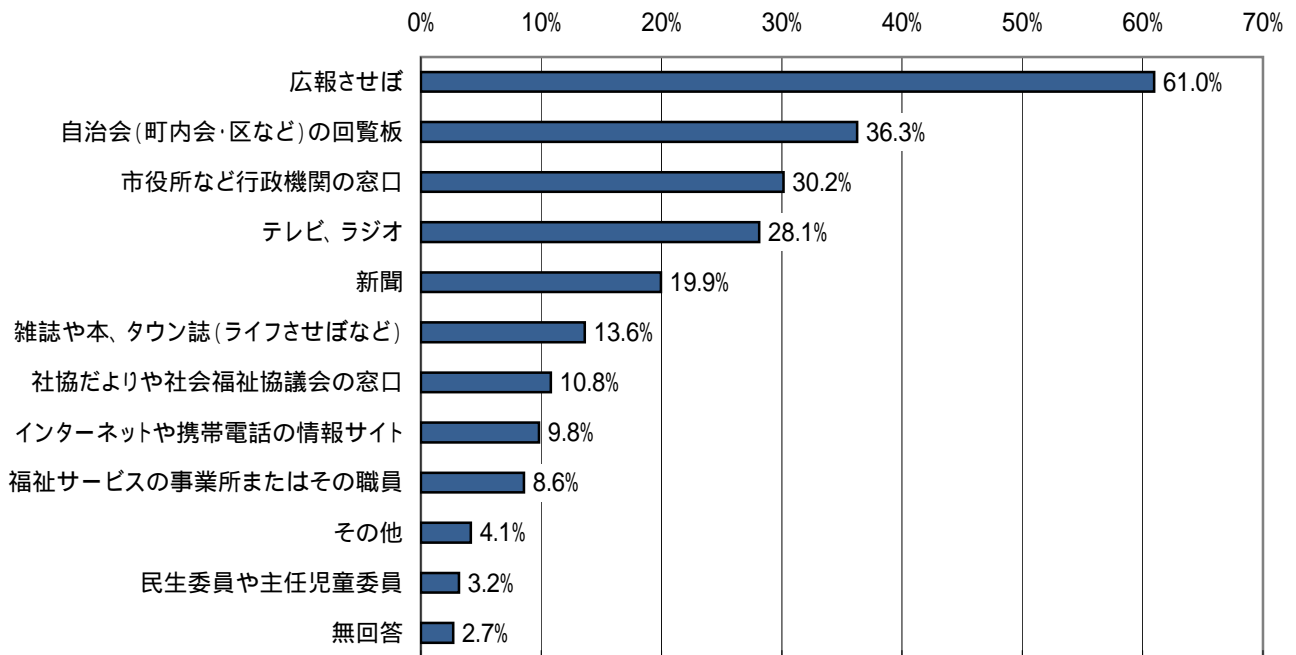


属性別の回答結果

(年代別)	よく知っている	少しは知っている	ほとんど知らない	知らない
10代	5.3%	2.6%	26.3%	65.8%
20代	3.8%	2.9%	28.6%	64.8%
30代	1.6%	2.7%	39.1%	56.5%
40代	2.7%	6.5%	45.7%	45.1%
50代	4.1%	9.0%	47.4%	39.5%
60代	7.8%	10.0%	45.0%	37.2%
70代	13.2%	13.2%	41.1%	32.4%
80代以上	12.2%	16.3%	34.7%	36.7%

多少でも「知っている」という回答は、全体でも15%程度で、
 60代以上に限っても、30%に満たないという結果であった。

(問27) あなたが福祉に関する情報を入手する場合、どこから情報を入手しますか。
(あてはまるものに3つまで)



「広報させば」という回答は圧倒的に多い。テレビや新聞よりも「回覧板」という回答が多いのも特徴的。「インターネットなどの情報」に至っては、10%にも満たない回答となった。

属性別の回答結果(上位3項目)

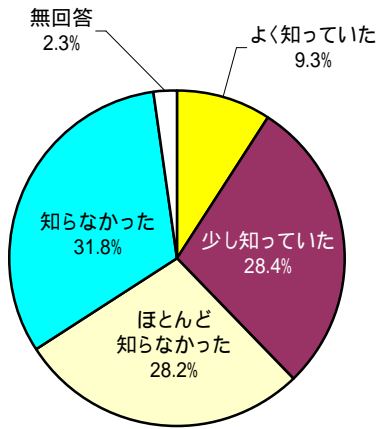
(年齢別)

	1位	2位	3位
10代	テレビ、ラジオ(55.3%)	新聞(34.2%)	インターネットなどの情報(31.6%)
20代	広報させば(37.7%)	テレビ、ラジオ(37.7%)	インターネットなどの情報(28.3%)
30代	広報させば(60.4%)	市役所などの窓口(34.8%)	自治会の回覧板(31.6%)
40代	広報させば(68.1%)	市役所などの窓口(34.1%)	自治会の回覧板(31.9%)
50代	広報させば(64.1%)	自治会の回覧板(38.9%)	市役所などの窓口(33.7%)
60代	広報させば(71.6%)	自治会の回覧板(45.7%)	テレビ、ラジオ(26.5%)
70代	広報させば(63.4%)	自治会の回覧板(41.9%)	市役所などの窓口(31.7%)
80代以上	広報させば(51.3%)	自治会の回覧板(34.0%)	市役所などの窓口(27.6%)

全体としては少ない「インターネットなどの情報」という回答も年齢別に見ると10代から20代では3割近くあった。30代、40代では「市役所などの窓口」という回答も多かったことは特徴的。

4. 地域福祉の推進について

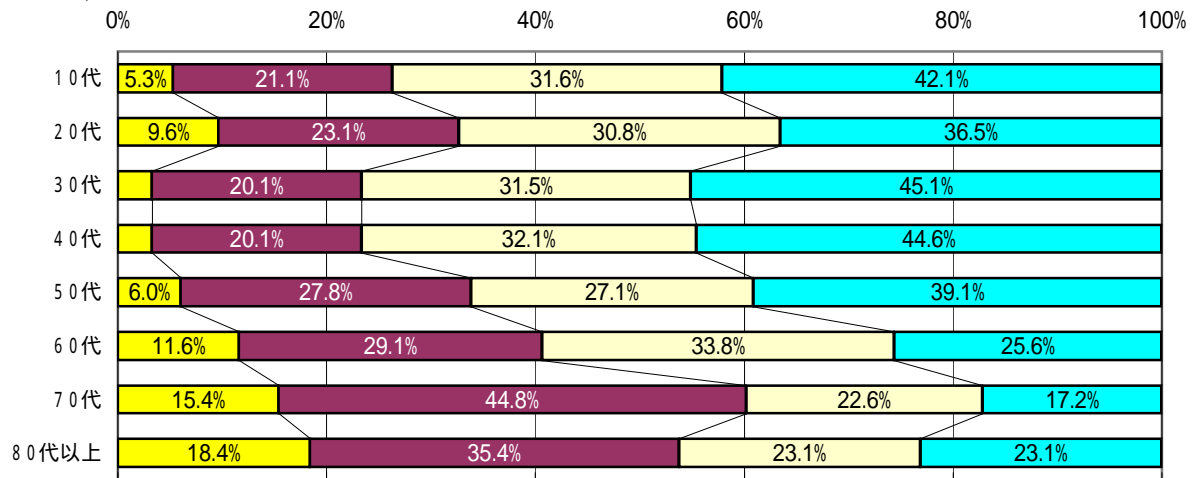
(問28) あなたは、「地域福祉」という言葉を知っていましたか。
(いずれか1つに)



「ほとんど知らなかった」・「知らなかった」の回答を合わせると60%であり、市民の認知度としては未だ低い。

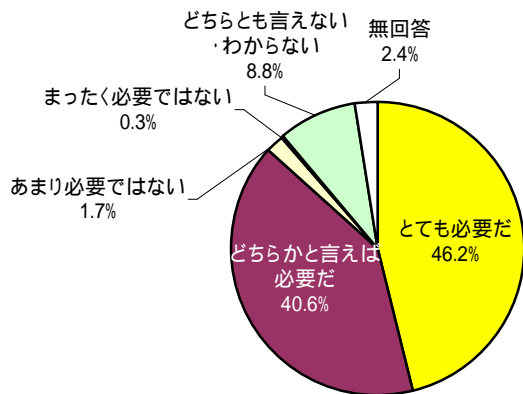
属性別の回答結果

(年齢別)



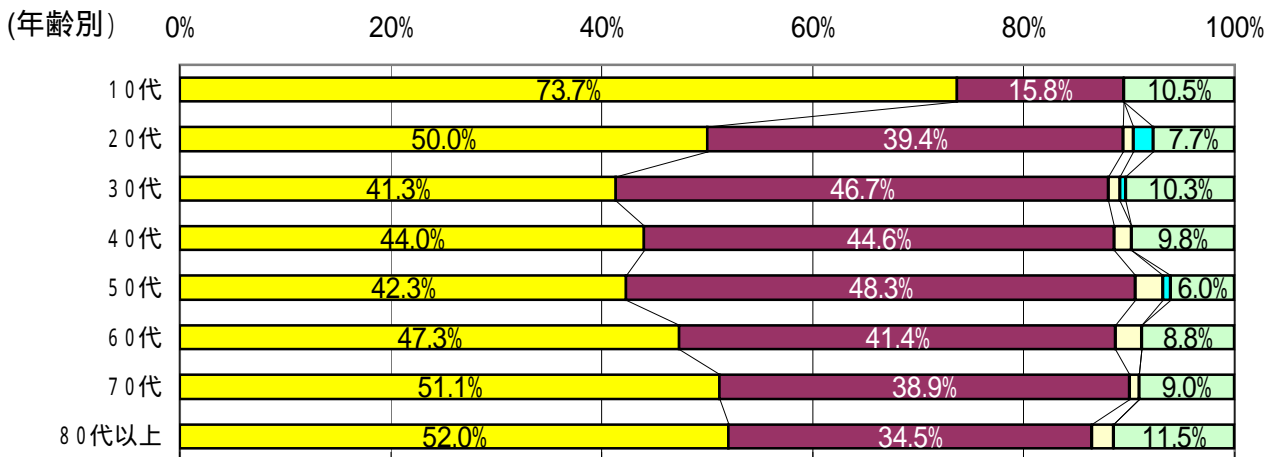
年齢別では、「よく知っていた」・「少し知っていた」を合わせても、50%を超えたのは70代以上のみという結果となった。

(問29) あなたは、「地域福祉」を進めることが必要だと思いますか。
(いずれか1つに)



「とても必要だ」との回答は全体の半数には達しなかったが、「どちらかと言えば必要だ」と合わせると8割以上を占めた。

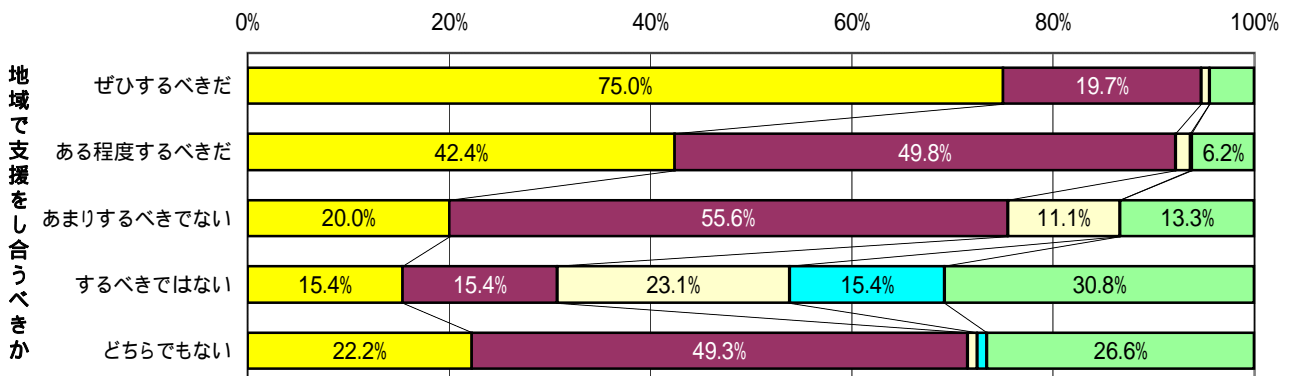
属性別の回答結果



10代で「とても必要だ」との回答が73.7%と突出していることが印象的だが、それ以外はどの年代でも同じような回答となった。

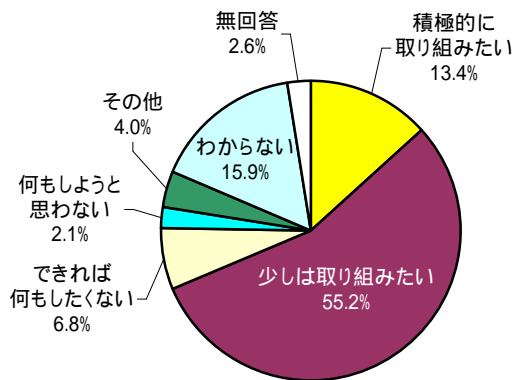
関連する設問との分析

(地域で生活上の支援をし合うべきかの意識(問16の結果)との関係)



意味合いの近い2つの設問であるが、単純な「地域での支援」という意識と、「地域福祉」という考え方ではやや捉え方が違うのか、必ずしもリンクした回答にはなっていない。

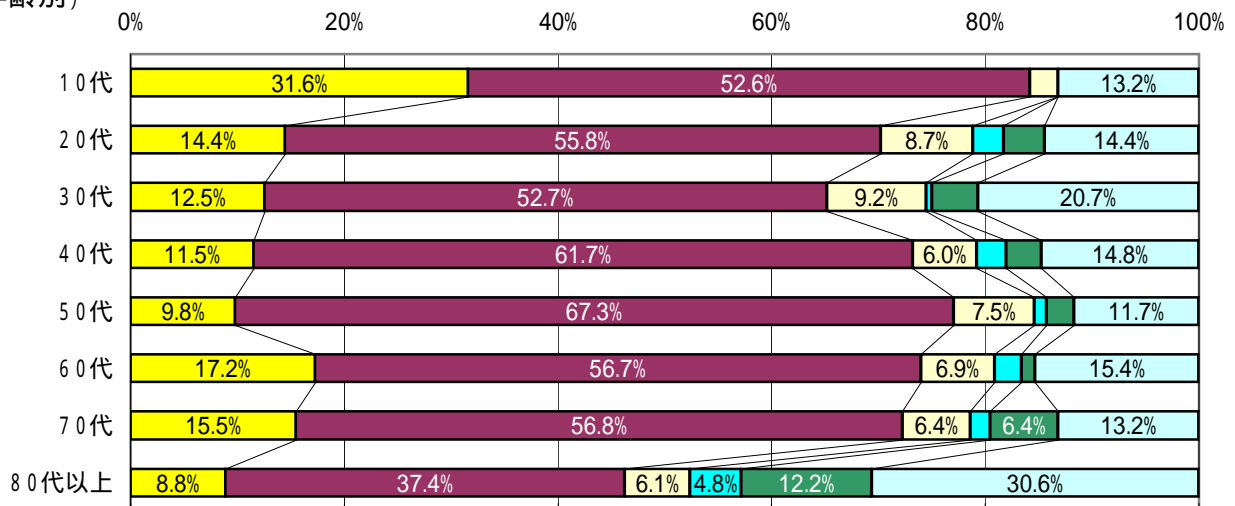
(問30) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、自分ができることに取り組もうと思いますか。
(いずれか1つに)



「積極的に取り組みたい」という回答は少ないものの、「少しは取り組みたい」という回答になると全体の半数以上を占めた。

属性別の回答結果

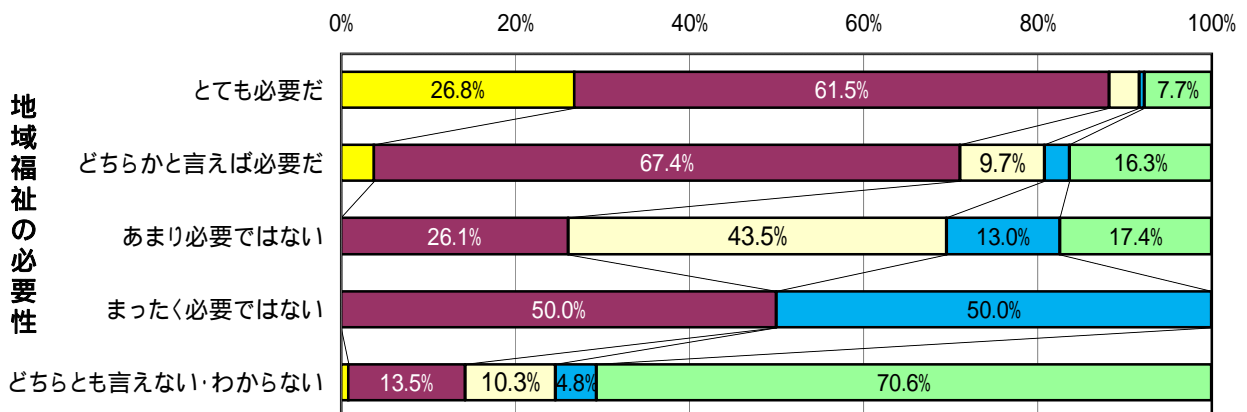
(年齢別)



10代の「積極的に取り組みたい」という回答が30%を超えていることが特徴的。

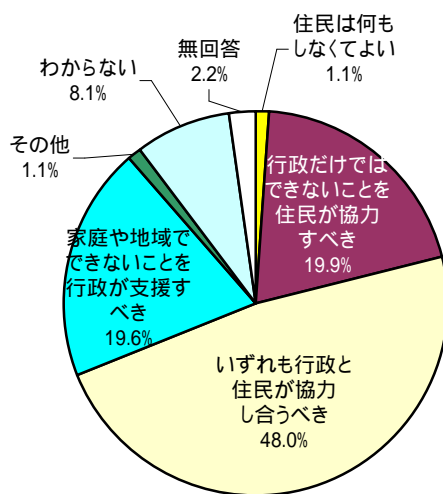
関連する設問との分析

(地域福祉の必要性の意識(問29の結果)との関係)



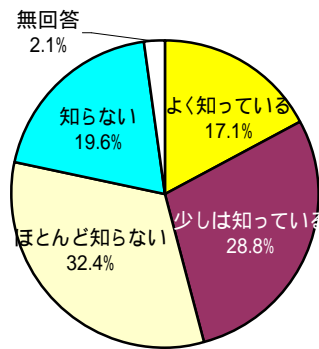
地域福祉について「とても必要だ」と回答した人の中でも、自らが「積極的に取り組みたい」と回答した人は3割に満たない結果となった。また、地域福祉の必要性の意識の差はあるものの、自らの取り組みについて全く否定する回答ばかりではないことも見てとれる。

(問31) 「地域福祉」を進めるために、行政と住民はどのような関係にあるべきだと思いますか。
(いずれか1つに)



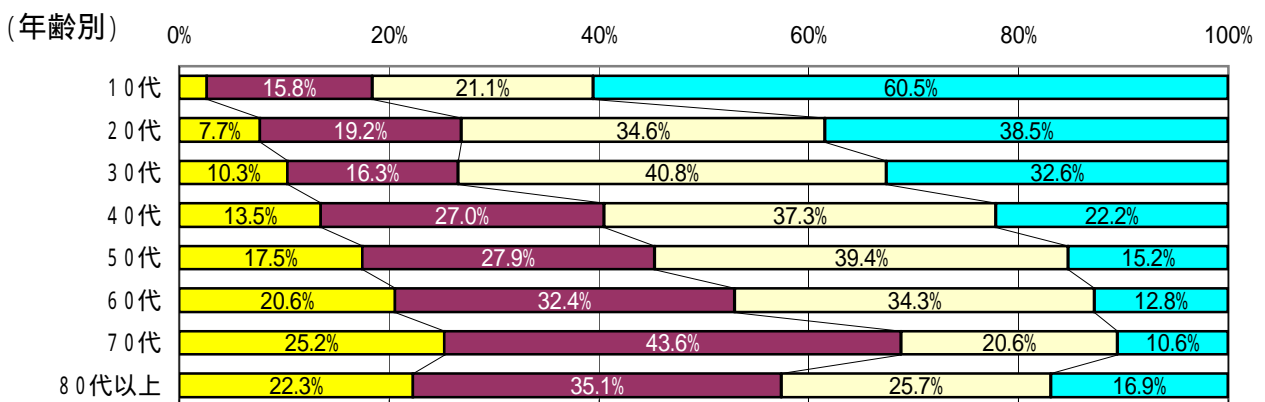
「いずれも行政と住民が協力し合うべき」という回答が5割近くを占めた。
また、相反する「行政だけではできないことを住民が協力すべき」と「家庭や地域でできないことを行政が支援すべき」という回答はほぼ同じ割合となった。

(問32) あなたは、「地域福祉」を進めるためにさまざまな活動を行っている団体「佐世保市社会福祉協議会」を知っていますか。
(いずれか1つに)



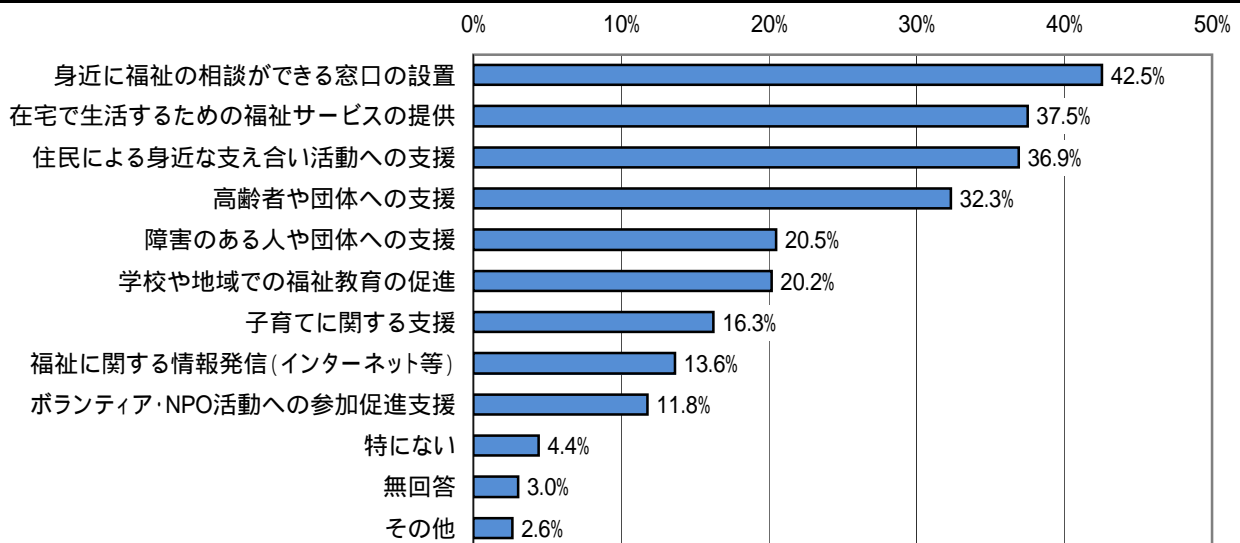
「よく知っている」・「少しは知っている」を合わせても全体の5割に満たないという結果となった。

属性別の回答結果



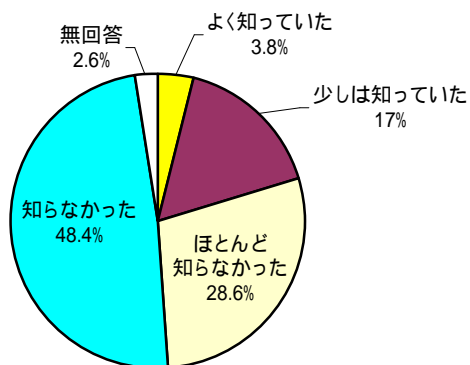
概ね年齢が高くなるほど認知度も高くなっている。
10代に至っては、「知らない」という回答が60.5%とかなり多くなっている。

(問33) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、「佐世保市社会福祉協議会」が行う活動・支援として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)



前年度の調査結果と同様に、身近な相談や支え合いなどについての支援を望む声が多い。

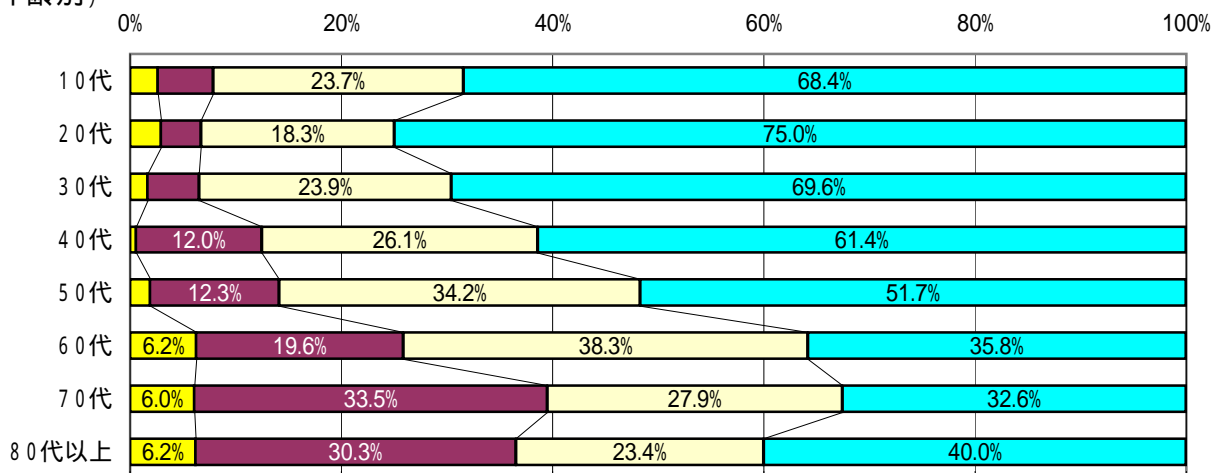
(問34) あなたは、「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。
(いずれか1つに)



「よく知っていた」・「少しは知っていた」を合わせても20%程度で、半数近くは「知らなかった」という回答であった。

属性別の回答結果

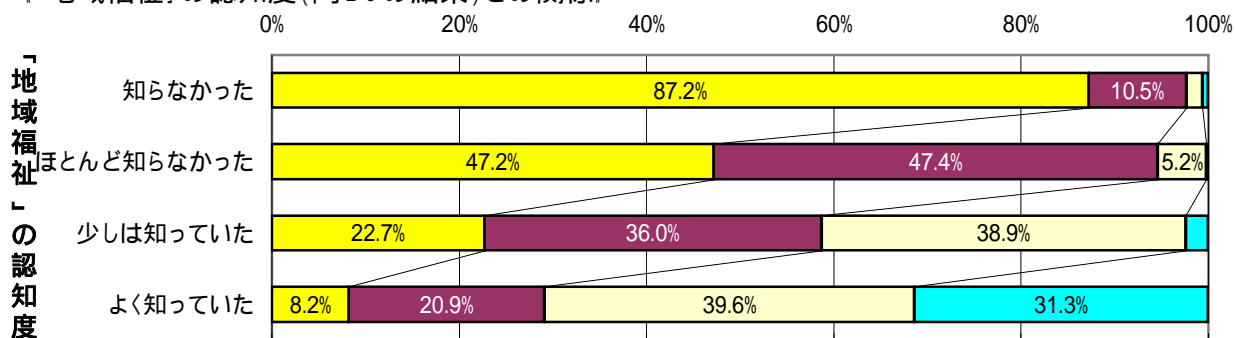
(年齢別)



年齢別に見ても、少しでも知っていたのが30%を超えたのは70代以上のみという結果となった。

関連する設問との分析

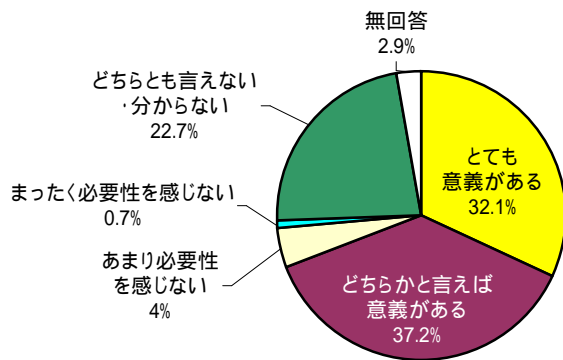
「地域福祉」の認知度(問28の結果)との関係)



地域福祉についての認知度と、計画の認知度はほぼ比例するような関係を示す結果となった。

(問35) あなたは、「地域福祉計画」や「地域福祉活動計画」についてどう思いますか。

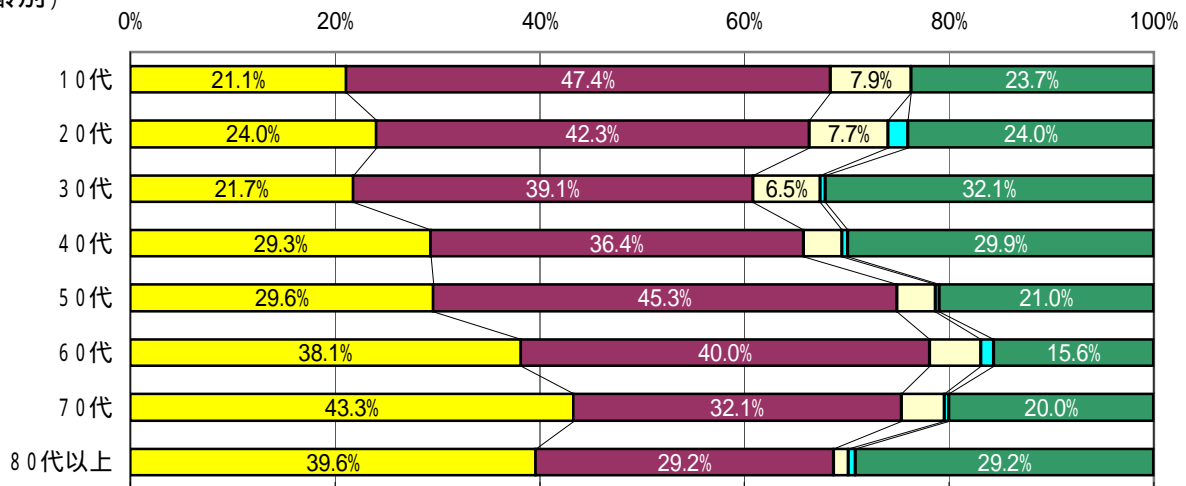
(いずれか1つに)



「とても意義がある」、「どちらかと言えば意義がある」の回答を合わせると7割近い結果となったが、「どちらとも言えない・分からない」の回答も2割以上と多くなっている。

属性別の回答結果

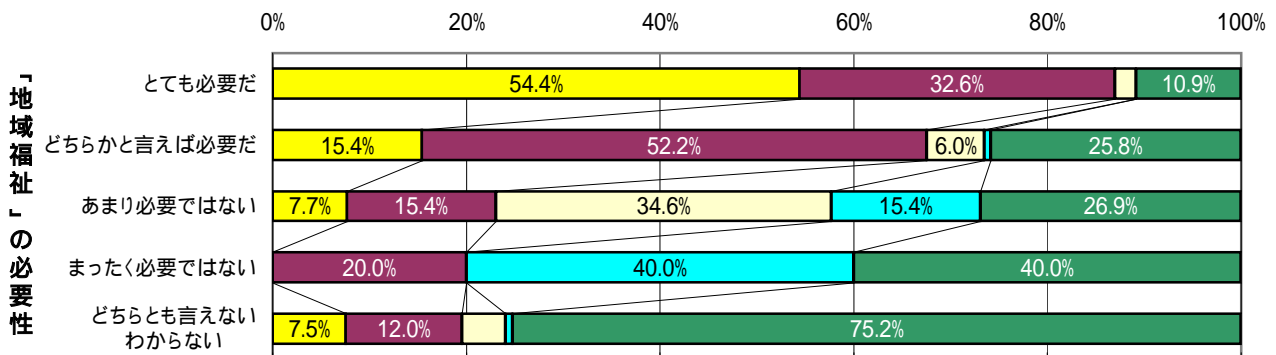
(年齢別)



「とても意義がある」という回答は、概ね年齢が高くなるほど多くなっている。

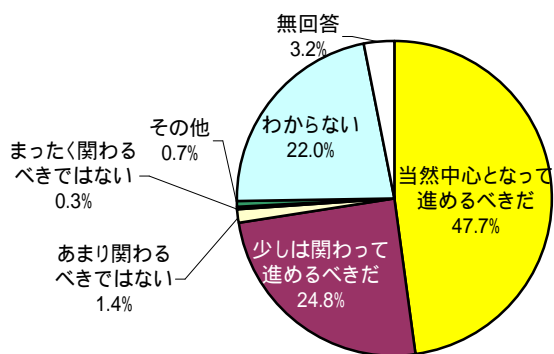
関連する設問との分析

(「地域福祉」の必要性の意識(問29との結果)との関係)



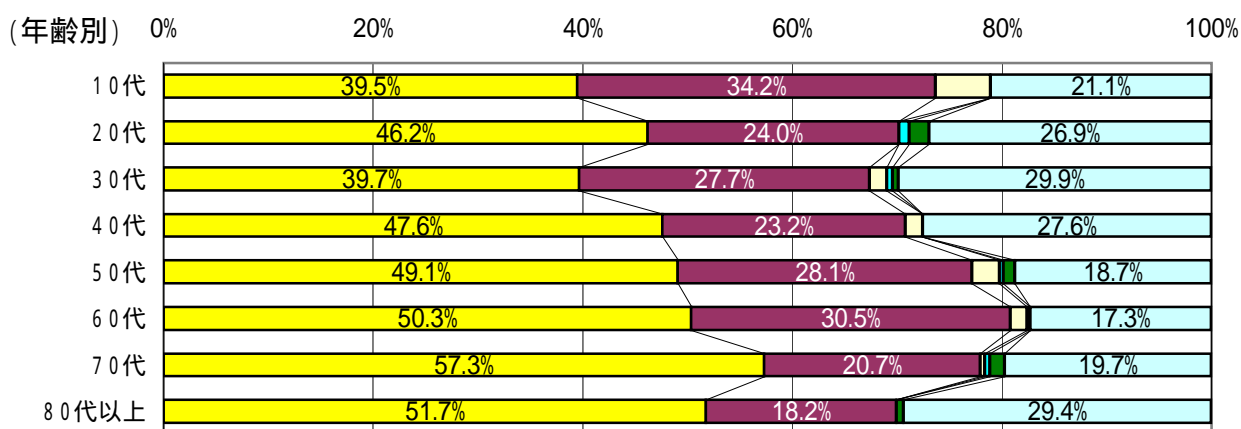
前問の分析における「地域福祉」と計画の“認知度”の関係と同様、両者の“必要性”の意識についても概ね比例するような関係を示す結果となった。

(問36) あなたは、「地域福祉」を進めるための取り組みについて、各地区の福祉推進協議会が中心となって進めることについてどう思いますか。
(いずれか1つに)



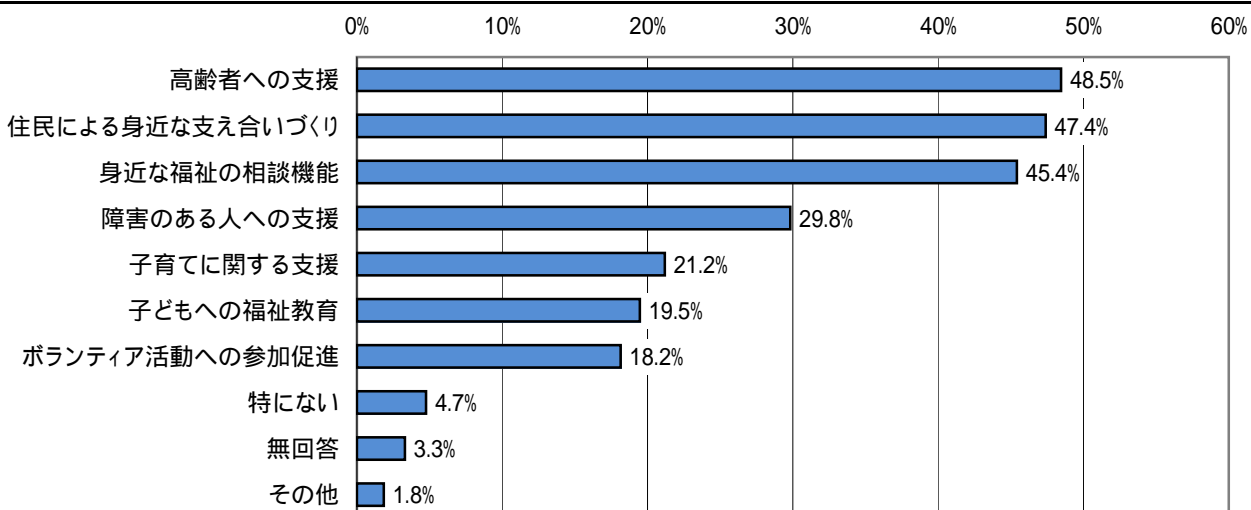
「当然中心となって進めるべきだ」という回答は全体の5割弱にとどまっている。また、「わからない」という回答も2割以上と多くなっている。

属性別の回答結果



年齢別に見てもそれほど大きな差は見られないものの、「当然中心となって進めるべきだ」という回答については、年齢が高いほど多少多くなっている。

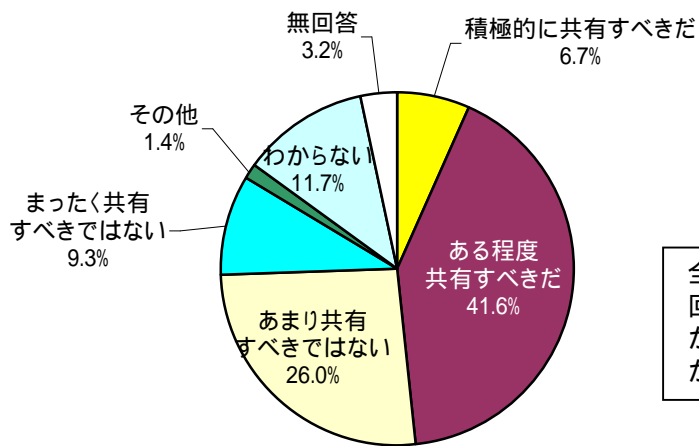
(問37) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、各地区の福祉推進協議会が行う活動として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)



最も多かったのは「高齢者への支援」(48.5%)という回答であったが、その回答と同程度に、身近な支え合いや相談についての活動を望む声が多くなっている。

(問38) あなたは、「地域福祉」を進めるうえで、地域内で個人情報を共有することについて、どう思いますか。

(いずれか1つに)



全体の5割弱は共有について肯定的な回答であったが、他は否定的もしくはわからないなどの回答になっており、意見が大きく分かれる結果となった。

5. 自由意見

(問39)「地域福祉」に関する取り組みについて、ご意見やご提案などがございましたらお書きください。

抜粋して掲載

(1) 地域福祉に関すること

・ 福祉推進協議会も必要だが、まずは各家庭内で始められることをしていくことが必要。
・ 住民と地域の役員を充実することが大切。今後は自分も情報に関心を持ち積極的に関わっていききたい。
・ 地域福祉についてほとんど知らなかった。困ってないので関心がなかった。もっと関心を持とうと思った。
・ 健康なうちはあまり関心を持たなかったが、高齢になるにつれ地域福祉の必要性和重要性を感じる。
・ 「地域福祉」について考えたことが無かった。このアンケートをきっかけに、関心を持って生活していきたい。
・ このアンケートに答えることで自分自身の意識が再確認できた。
・ 地域福祉に関して他県、他市と比較して発展的でないと感じている。
・ 老人が老人を介護しなくてはならない時代、どうしても地域福祉は大事。もっと情報を把握し、勉強したい。
・ 地区の福祉推進協議会の存在や、活動内容等が地域で理解されていないと思われる。
・ このアンケートで知ったことも多々あった。回覧板や情報誌を使って、もっと周知の努力をすべきだと思う。
・ 地域福祉とは何か、内容がよく分からない。言葉の意味はある程度理解できるが実態が全く不明。
・ 地域福祉と言っても分からない人が多く、浸透していない。もっと誰もが分かるようにしてほしい。
・ 地域福祉の大切さと活動状況をもっと市民に分かりやすく広報したほうが良い。
・ 地域福祉について知る人が増えたら協力する人も増えると思う。人を集めるには若い人を動かすべき。
・ 地域とはどの範囲で、どの程度支え合うのが目標なのか、まずは具体的に示すべき。
・ 地域福祉は必要だが、行政サービスを全く回避できるわけではない。行政がやるべきことと、地域やボランティアに任せることをまず明確にしなければ駄目だと思う。
・ 情報を共有することが第一歩だと思う。地域によっては市と町内の温度差にかなり開きがあると思う。
・ 地域の相談役が行政とのパイプ役となり、地域に密着した地域福祉を実行されることを望む。
・ 地域福祉は今後の社会を支えるためにも重要だが、どこまで関わっていいのか分からない。
・ 地域福祉という考えはすばらしいが、他人が介入しすぎて起こるトラブルもあり、支障があると思う。
・ 医師など医療関係の方に、独居老人宅の訪問等、もっと地域福祉に関わって欲しい。
・ 地域福祉の取り組みは、地域住民に強制してなされるものではない。
・ 「可愛そう」というだけでは市民を支えきれない。安易に対象者を増やさず、自助努力を支えることだと思う。
・ 地域福祉の取り組みは賛成。本当に困っている方への支援が行き届くようにしてほしい。
・ 地域福祉という考えはとても素晴らしい。高齢者、障がい者、子どもを支える活動にお金を使ってほしい。
・ 行政がまず、各地区(町内会)等、地域福祉について話をして浸透させていくべき。何事もまず市民に説明して欲しい。大変だろうが町内会に足を運んで一歩ずつ進めていって欲しい。
・ 地域福祉は町内会を中心に取り組むべきだと思う。もっと市が積極的に加入促進を図るべき。
・ 社会福祉協議会の方が中心になって、地域福祉を進めていって欲しい。
・ 個人ではなく、企業へ情報を発信した方が広がっていくのではないかと。
・ 企業など視点の違う方々から地域福祉について意見や協力が得られるような場を作ってはどうか。
・ 中途半端な偽善的活動にならないよう、指導・育成する方の教育からまず始めたほうが良い。
・ 地域福祉を職業とする行政機関を作り、雇用を生んでほしい。
・ このアンケートでは、地域福祉、ボランティア、NPOなど、用語を漠然としか理解できず戸惑った。

(2) 地域での支え合いに関すること

・ 最近が高齢者が人知れず亡くなっている。もっと周りの人との繋がりを広げることが大切だと強く感じる。
・ 民生委員や市役所に相談してもどうにもならない事もある。近所の方々の助け合いがやはり必要。
・ 支援に必要な人を判断するのは難しいと思うが、皆が元気で活動できるよう支え合っていくべき。
・ 話をするだけで幸せな気持ちになることもある。心が通じ合える人が近所にいたらと思う。
・ 町内の誰に相談して良いのか分からない。民生委員にも相談する気にはなれない。
・ 近所の結びつきをしっかりとしたものにし、世代を越えて活動できる場が増えればと思う。
・ 家族のために時間は作れても他人には協力できないという人がほとんど。協力することは損ではないと理解できる社会にならなければ何も変わらない。
・ まずは隣近所の交流がないことには地域全体は見えないと思う。
・ 町内でも知らない人も居る。まずは、隣近所の付き合いを大切にしたい。
・ 私の町は行事などの活動が盛んで地域の繋がりも強いが、少子高齢化もあって今後も続くかは疑問。
・ これからは若い人達が地域を支えるしかない。皆が他人を思いやり協力し合える地域になればと思う。
・ 住民による身近な支え合いが一番。それに行政が協力、というのが理想だと思う。
・ こういうアンケートをする事で、住民の方々の地域への意識が変わり理解が深まって良い事だと感じる。私も少しでも協力していきたいと思う。
・ 町内で役員を中心に話し合い高齢者を見守っていることを、町内会に出て初めて知ることが出来た。
・ 日頃から役員の方々の福祉に関する取り組みに感謝している。できることは協力したいと思う。
・ 地域活動者には市職員OBが多いが、他の人も起用して多彩な宣伝等の活動を進めるべき。
・ 地域内で、高齢者や障がい者の家を順番に訪問して様子を伺いに行くようなルールを作ってはどうか。
・ 地域内の高齢者、障がい者の把握が大事だと思う。
・ ある程度の個人情報共有しておかないと、事故や火災などでも「助けて」と言えるつながりが出来ない。
・ 個人情報は本人確認のないままでの使用はやめるべき。情報が漏れた時責任が取れるのか疑問。
・ 困ったことを相談できる信頼できる場所や人がいれば安心する反面、プライバシーも守りたいとも思う。
・ ご近所の人だけでも声かけや支援をしたいが、相手のプライバシーやプライドを考えると関わり方も難しい。
・ 地域住民同士が助け合って暮らしていくのは理想だが、信頼関係のない住民同士で助け合いが構築できるとは思えない。専門分野の方が間に入ることが必要ではないかと思う。
・ 気を遣わず、安価でちょっとした頼み事がやってもらえるところがあれば良いのではと思う。
・ 町内の公民館を、定例会以外でも、お茶を飲みながら世間話をする場などにも使えればと思う。
・ 毎日行きたいときに行ける場所があるといいなと感じている。

(3) 地域活動やボランティア活動に関すること

・ 自分が介護をしていると、それで精一杯でグループ活動などは難しい。
・ ボランティア等もしたいが、やはり自分達が生きていくのが精一杯。
・ 手を差し伸べる方にも余裕が無く、やはり他人任せになってしまう。
・ 地域活動の活性化には、住民がつながりの必要性を実感することが第一歩だと思う。
・ 地域活動に参加できないことを苦痛に思っている人もいる。皆が参加できる取り組みが必要。
・ 自分の地域では何も活動がないように感じる。やっているのならもっと積極的に知らせるべきだと思う。
・ 全般的に地域活動の意識が低く、どのような方法で進められるか情報があれば聞いてみたい。
・ 活動している人がほとんど分からないので、目立つ存在にすることが必要。
・ 定期的な活動や義務的な活動は苦痛に感じることもあるので、臨機応変に活動できればよいと思う。
・ ボランティアなどで社会に貢献したいが、どうすればいいのかわからない。もっと情報がほしい。

・ 体力・元気のある若者が、共働きで時間が取れず地域の行事に積極的に参加できていない。
・ 年に2回の市民大清掃すら、参加者の大半は60歳以上の方。若い人は地域に関心が薄い。
・ 小さい子どもがいるのでボランティアなどに参加できない。子どもと一緒に参加できる活動があればと思う。
・ 地域福祉に関心はあるが、高齢で参加出来ない。子育てが終わった人達に進んで参加してほしいと思う。
・ ボランティアは資金ありきではなく、その心と工夫することが大事ではないか。
・ ボランティアに参加した人が逆にボランティアを優先的に受けやすくするような仕組みを作ってはどうか。
・ 町内の役員を誰もやりたがらない。一度役員をすると辞められない恐怖があると思う。
・ ボランティアや地域の人々を当てにしすぎてもダメだと思う。
・ 民生委員がいつも留守で訪問もされていない。急な用事に対応できない状態では大変困る。
・ アンケートに使うお金があったら、ボランティアの窓口を増やしてほしい。
・ 旧町で細やかにできていた地域活動が、合併して大まかになってしまったのが残念。

(4) 福祉サービスに関すること

【高齢者に関すること】

・ 福祉施設の充実が必要。市の財政にも影響が大きい。出来る限りの福祉への歳出は当然だと感じる。
・ もっと施設に入りやすくするために、低所得者でも安心して暮らせる施設を作ってほしい。
・ 介護サービスの手続きが複雑。年を取った人には難しすぎる。
・ グループホーム等の施設でも大変な状況を伝えられず一人悩んでいる利用者もいる。
・ 徘徊模擬訓練など、認知症の人やその家族への支援を全市的に行政が指導してもらいたい。
・ 一人暮らしのお年寄りのお世話をした際、周りの目と嫌味な言葉に悩まされた。地域住民の理解が薄い。
・ 高齢者に対するサービスの充実をお願いしたい。特に一人暮らしの高齢者の方へのケアは、重視すべき。
・ 高齢者の支援には個人情報への配慮が必要。詐欺などに遭わないよう利用基準などを知らせてほしい。
・ 認知症の家族が消費トラブルに遭った。真に助けがいる人の制度にしてほしい。
・ 社会福祉協議会は、もっと介護の仕組みや利用の仕方などを、高齢者に教えればよいと思う。

【障がい者に関すること】

・ 障がい者を助けるという考えではなく、障がい者が自立できる状況を作ることが大切。
・ 自分の子どもが障がい者になって、初めて福祉の大切さが分かった。
・ うつ病で苦しむ人を支援して欲しい。
・ 身体障がい者が簡単な手続きで入浴などのサービスを受けれるといいと思う。
・ 障がいのある子どもの一時預かりの支援施設が少ない。施設を増やすか定員を増やして欲しい。
・ 支えが必要な障がい者も地域と一緒に活動すべき。支えすぎてダメにしている部分もあると思う。
・ 知的障がい者への偏見がある。もっと、家族・学校で小さい頃から心遣いを教えてほしい。

【子どもに関すること】

・ 子どもを巻き込んで学校教育で地域福祉を指導し、家庭に目を向けさせるよう取り組むことが必要。
・ もっと子どもへの福祉教育をしてほしい。あいさつ、生命のあり方、高齢者への接し方など。
・ 学校教育の力は偉大だと思う。児童・生徒の「思いやりの心を育てる」教育は学校でしてほしい。
・ 学校教育の一環としてボランティア活動を行えば、子どもも興味を持つと思う。
・ 学校の空き教室等を利用して高齢者と子どもの遊び場を確保し、今の子どもに昔の遊びを知ってほしい。
・ 家庭での教育が一番だと思う。最近では、他人任せな人が多い気がする。
・ 将来を担う子どもたちの育成に力を入れるべき。子ども会や母親の相談窓口の拡大を考えて欲しい。
・ 少子化は深刻な問題の一つ。安心して子どもを産み育てられる支援をできる体制づくりを進めて欲しい。
・ 子育てで孤立しがちな若い世代への支援が必要。

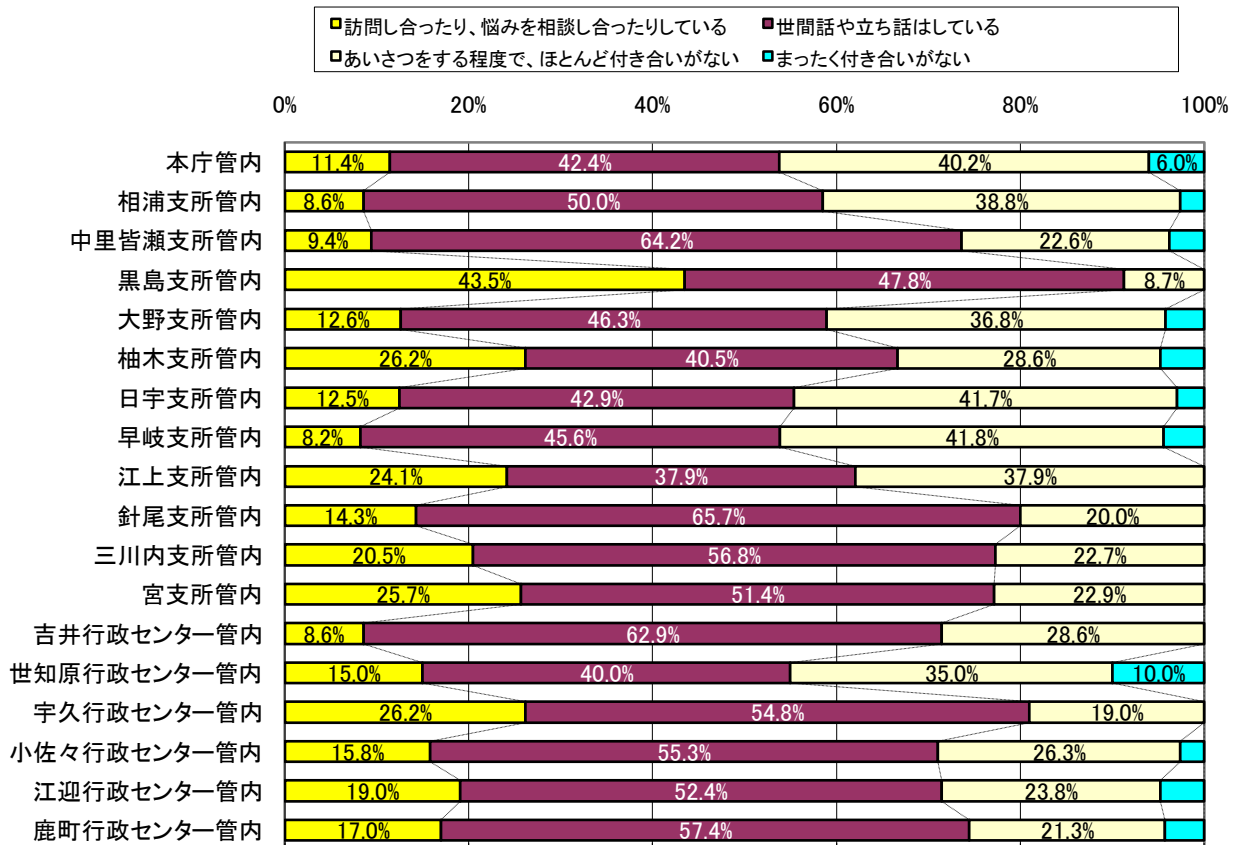
(5) その他の行政の取り組み全般について

・ 高齢者や子どもたちがもっと安全で安心して暮らせる環境づくりを促進するよう希望する。
・ どこに相談に行けばいいかわからない人は沢山いると思う。
・ 分かりやすい情報提供ができる相談窓口が必要だと思う。
・ 住民に対する情報や相談機能をもっと分かりやすく、利用しやすいようにしなければならない。行政は、住民の目線にもっと目を向けないといけない。行政は、聞かなければ住民に教えないことが多すぎる。
・ 相談者が話しやすいように相談相手を男性か女性かを選択できればいいと思う。
・ 必要が生じて慌てる事が多いので、日頃から何らかの形で情報を頭に入れておくのと良いと思う。
・ 行政が市民に不自由がないか積極的に家庭訪問などをして把握すればもっと住みよいまちになるのでは。
・ ボランティア等では限界があるので、地域福祉税の新設等、行政が積極的に取り組みを始めてみては。
・ 市民一人ひとりのことを本当に分かっているのか、表には出ない裏の裏隅々まで見てほしい。
・ 佐世保市では老人や障がいのある方に親切ではないと感じる。少しでも良くなるよう努力をしてほしい。
・ 今は個人情報やプライバシー保護のことばかりで何もできない。現在の状態を知らなければお世話も相談もできない。行政側は地域に協力をお願いするのなら、少しでも活動が出来やすい状態に推進すべき。
・ 行政と住民との間に乖離がある。行政が調整・研究・整理されてから、福祉の取り組みが必要と思う。
・ 市が役員の考えを改善し本気でやれば、市民に必然的に協力が生まれ、市民の信頼が得られると思う。
・ 職員の知識、現場の理解を徹底してほしい。
・ 職員は困っている方には自分の家族のことだと思って親身になって対応してほしい。
・ 住民による身近な支えからだとは思いますが、基本的には福祉職員の活動充実がすべてだと思う。
・ 福祉関係の仕事の待遇を改善し、より多くの人福祉関係に従事できるようになることが大事。
・ 社会福祉はもっと大きく国家的視野でも考えられなくてはいいと思う。

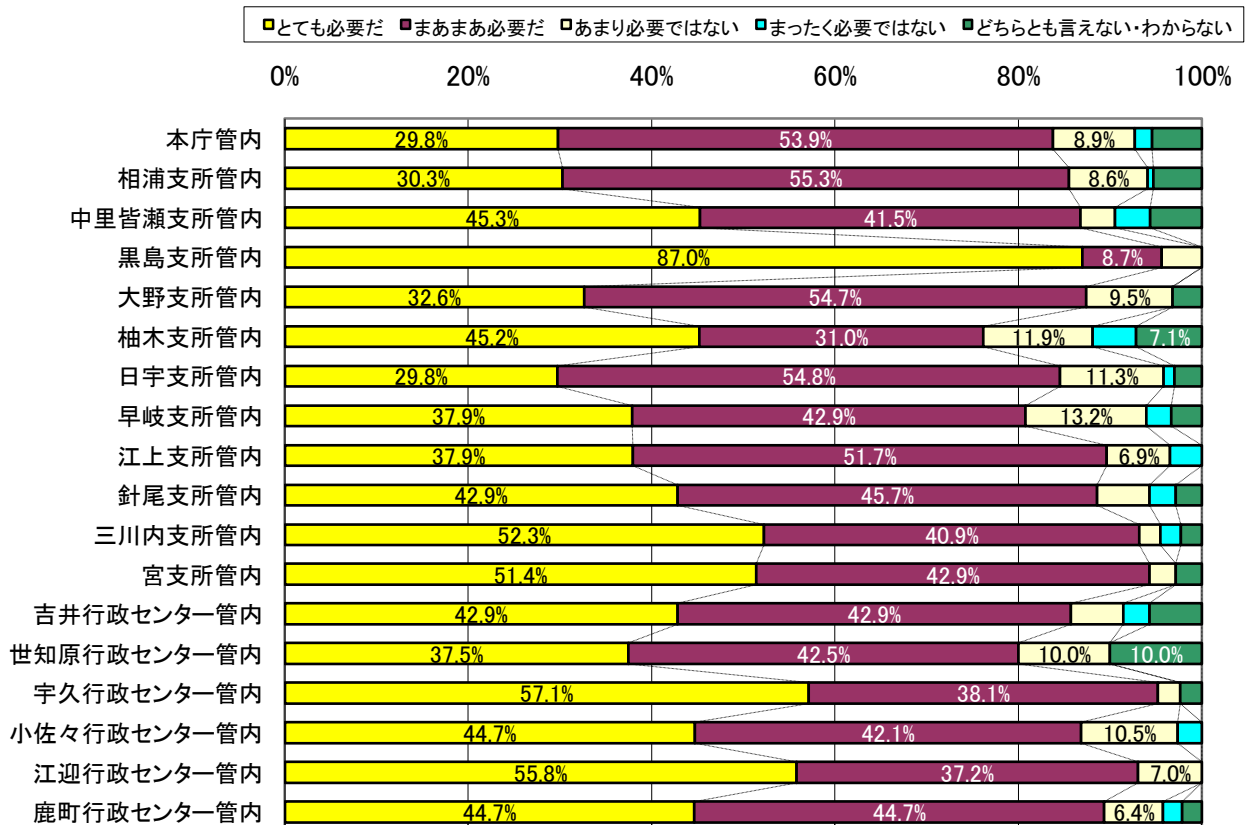
地域別の回答結果

6. 地域別の回答結果について（問9～問35）

（問9）あなたは日頃、隣り近所とどの程度のお付き合いがありますか。
（いずれか1つに○）



（問10）あなたは、日頃の生活を送る上で、隣り近所とのお付き合いが必要だと思いますか。
（いずれか1つに○）



(問11) あなたに悩みや困り事があったときの、身近な相談相手は誰ですか。
(いずれか1つに○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	家族や親戚(73.0%)	友人・知人(13.8%)	誰にも相談しない(4.9%)
相浦支所管内	家族や親戚(71.7%)	友人・知人(22.4%)	誰にも相談しない(1.3%)
中里皆瀬支所管内	家族や親戚(67.9%)	友人・知人(22.6%)	相談相手はいない(3.8%)
黒島支所管内	家族や親戚(60.9%)	友人・知人(17.4%)	隣り近所の人(8.7%)
大野支所管内	家族や親戚(70.5%)	友人・知人(15.8%)	行政・機関の相談窓口(2.1%)
柚木支所管内	家族や親戚(85.7%)	友人・知人(7.1%)	行政・機関の相談窓口(2.4%)
日宇支所管内	家族や親戚(70.2%)	友人・知人(16.1%)	誰にも相談しない(3.6%)
早岐支所管内	家族や親戚(73.8%)	友人・知人(16.9%)	誰にも相談しない(2.2%)
江上支所管内	家族や親戚(48.3%)	友人・知人(24.1%)	誰にも相談しない(3.4%)
針尾支所管内	家族や親戚(60.0%)	友人・知人(17.1%)	行政・機関の相談窓口(8.6%)
三川内支所管内	家族や親戚(68.2%)	友人・知人(20.5%)	誰にも相談しない(9.1%)
宮支所管内	家族や親戚(80.0%)	友人・知人(14.3%)	誰にも相談しない(2.9%)
吉井行政センター管内	家族や親戚(57.1%)	友人・知人(31.4%)	行政・機関の相談窓口(2.9%)
世知原行政センター管内	家族や親戚(70.0%)	友人・知人(12.5%)	社会福祉協議会(5.0%)
宇久行政センター管内	家族や親戚(81.0%)	友人・知人(9.5%)	誰にも相談しない(2.4%)
小佐々行政センター管内	家族や親戚(83.8%)	友人・知人(8.1%)	誰にも相談しない(5.4%)
江迎行政センター管内	家族や親戚(79.1%)	友人・知人(9.3%)	誰にも相談しない(4.7%)
鹿町行政センター管内	家族や親戚(68.1%)	友人・知人(21.3%)	誰にも相談しない(4.3%)

(問12) あなたが「地域」と聞いてイメージするのは、どの範囲ですか。
(いずれか1つに○)

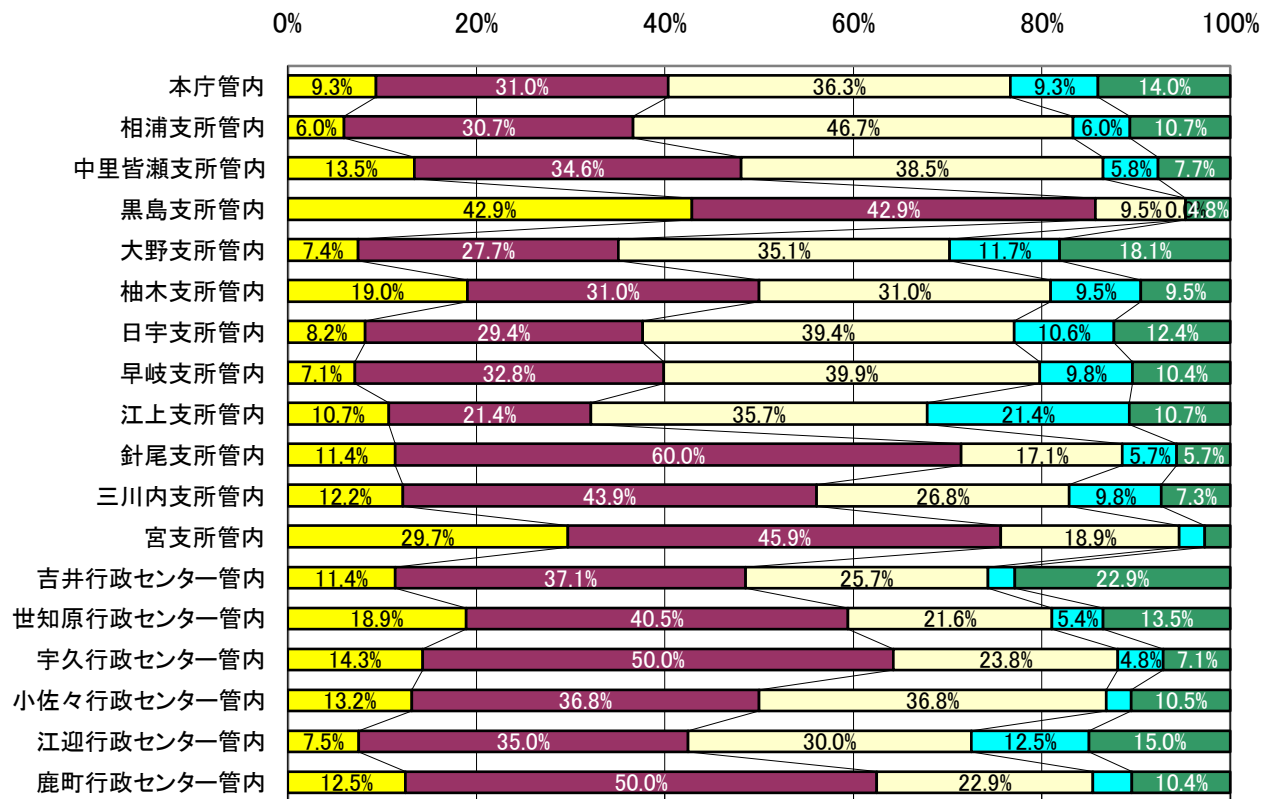
※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	地元の自治組織(26.5%)	町内(22.5%)	隣り近所(14.7%)
相浦支所管内	地元の自治組織(26.8%)	町内(19.6%)	佐世保市内(11.8%)
中里皆瀬支所管内	地元の自治組織(26.4%)	町内(20.8%)	佐世保市内(11.3%)
黒島支所管内	隣り近所(41.7%)	町内(20.8%)	地元の自治組織(8.3%)
大野支所管内	地元の自治組織(31.6%)	町内(28.4%)	地元の「班」(12.6%)
柚木支所管内	地元の自治組織(28.6%)	町内(26.2%)	隣り近所(11.9%)
日宇支所管内	地元の自治組織(33.3%)	町内(22.8%)	隣り近所(16.4%)
早岐支所管内	地元の自治組織(34.4%)	町内(17.2%)	隣り近所(16.1%)
江上支所管内	地元の自治組織(37.9%)	町内(27.6%)	隣り近所(6.9%)
針尾支所管内	町内(28.6%)	地元の自治組織(25.7%)	隣り近所(11.4%)
三川内支所管内	町内(22.2%)	地元の自治組織(20.0%)	隣り近所(13.3%)
宮支所管内	町内(26.3%)	地元の自治組織(23.7%)	地元の「班」(13.2%)
吉井行政センター管内	町内(31.4%)	地元の自治組織(22.9%)	地元の「班」(14.3%)
世知原行政センター管内	地元の自治組織(32.5%)	町内(25.0%)	地元の「班」(22.5%)
宇久行政センター管内	町内(26.2%)	地元の自治組織(23.8%)	支所(23.8%)
小佐々行政センター管内	地元の自治組織(28.9%)	町内(26.3%)	隣り近所(13.2%)
江迎行政センター管内	地元の自治組織(32.6%)	隣り近所(20.9%)	町内(18.6%)
鹿町行政センター管内	地元の自治組織(25.0%)	町内(22.9%)	隣り近所(20.8%)

(問13) あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障がい者を含めて、お互いの生活を地域全体で支え合っていると感じていますか。

(いずれか1つに○)

□とても感じている □少し感じている □あまり感じていない □まったく感じていない □どちらとも言えない・わからない



(問14) あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。

(いずれか1つに○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	隣り近所(39.6%)	地元の自治組織(21.7%)	地元の「班」(17.3%)
相浦支所管内	隣り近所(28.9%)	地元の「班」(23.5%)	地元の自治組織(22.1%)
中里皆瀬支所管内	隣り近所(39.2%)	地元の自治組織(19.6%)	町内(15.7%)
黒島支所管内	隣り近所(52.4%)	地元の「班」(19.0%)	町内(19.0%)
大野支所管内	隣り近所(48.9%)	地元の自治組織(18.1%)	地元の「班」(16.0%)
柚木支所管内	隣り近所(33.3%)	地元の自治組織(23.8%)	地元の「班」(21.4%)
日宇支所管内	隣り近所(49.4%)	地元の「班」(17.1%)	地元の自治組織(16.5%)
早岐支所管内	隣り近所(43.4%)	地元の自治組織(25.8%)	地元の「班」(15.4%)
江上支所管内	隣り近所(42.9%)	地元の「班」(21.4%)	地元の自治組織(17.9%)
針尾支所管内	地元の「班」(34.3%)	隣り近所(22.9%)	地元の自治組織(20.0%)
三川内支所管内	隣り近所(39.0%)	地元の「班」(24.4%)	地元の自治組織(19.5%)
宮支所管内	隣り近所(43.2%)	地元の「班」(29.7%)	地元の自治組織(13.5%)
吉井行政センター管内	地元の「班」(45.7%)	隣り近所(28.6%)	地元の自治組織(14.3%)
世知原行政センター管内	地元の自治組織(29.7%)	隣り近所(27.0%)	地元の「班」(24.3%)
宇久行政センター管内	隣り近所(31.7%)	地元の自治組織(24.4%)	町内(17.1%)
小佐々行政センター管内	隣り近所(50.0%)	地元の「班」(23.7%)	地元の自治組織(21.1%)
江迎行政センター管内	隣り近所(32.5%)	地元の自治組織(27.5%)	地元の「班」(17.5%)
鹿町行政センター管内	隣り近所(31.3%)	地元の「班」(29.2%)	地元の自治組織(14.6%)

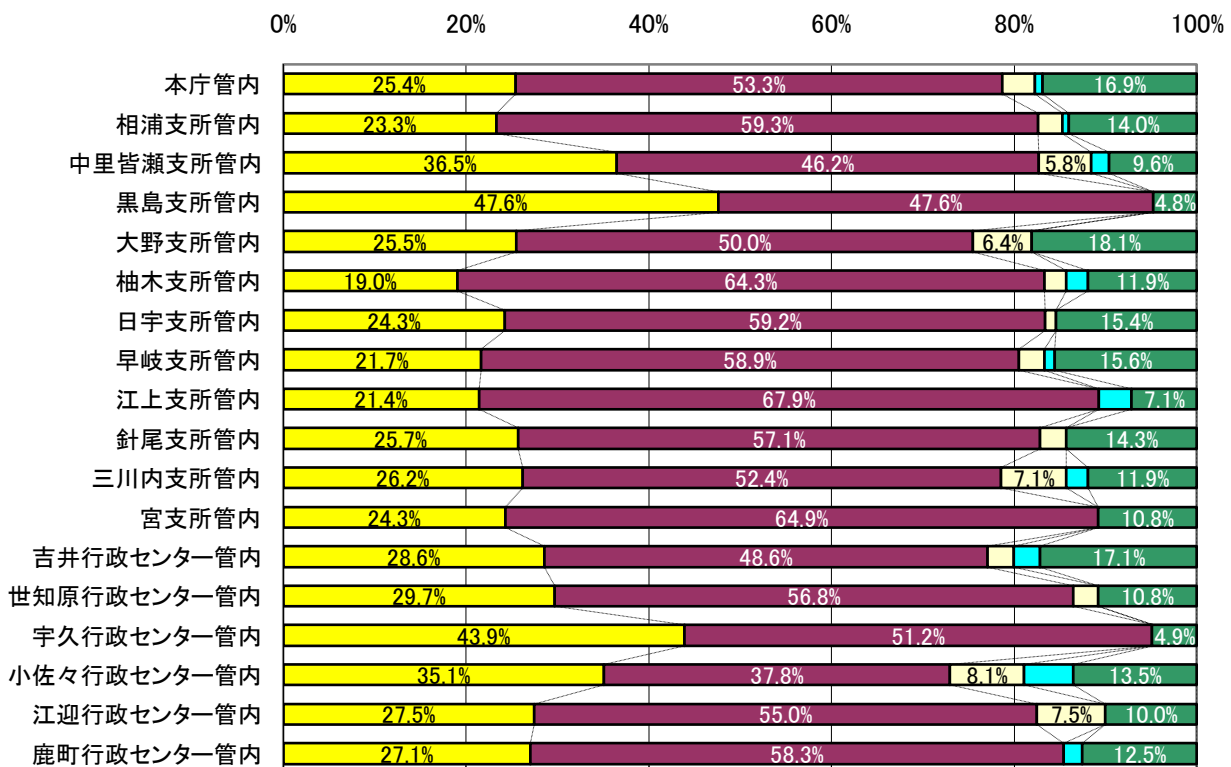
(問15) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方が困っているときに、誰がその方の相談相手になるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	家族や親類(65.1%)	福祉関係の事業所の職員(36.2%)	民生委員や主任児童委員(35.9%)
相浦支所管内	家族や親類(69.9%)	周りに住む人みんな(38.6%)	福祉関係の事業所の職員(37.3%)
中里皆瀬支所管内	家族や親類(56.6%)	民生委員や主任児童委員(43.4%)	周りに住む人みんな(39.6%)
黒島支所管内	家族や親類(37.5%)	周りに住む人みんな(29.2%)	民生委員や主任児童委員(25.0%)
大野支所管内	家族や親類(64.2%)	周りに住む人みんな(40.0%)	福祉関係の事業所の職員(30.5%)
柚木支所管内	家族や親類(66.7%)	周りに住む人みんな(50.0%)	民生委員や主任児童委員(47.6%)
日宇支所管内	家族や親類(62.0%)	民生委員や主任児童委員(36.8%)	周りに住む人みんな(36.3%)
早岐支所管内	家族や親類(68.8%)	周りに住む人みんな(43.5%)	民生委員や主任児童委員(40.9%)
江上支所管内	家族や親類(55.2%)	周りに住む人みんな(44.8%)	民生委員や主任児童委員(34.5%)
針尾支所管内	家族や親類(71.4%)	周りに住む人みんな(40.0%)	民生委員や主任児童委員(37.1%)
三川内支所管内	家族や親類(75.6%)	周りに住む人みんな(51.1%)	民生委員や主任児童委員(42.2%)
宮支所管内	家族や親類(63.2%)	民生委員や主任児童委員(44.7%)	周りに住む人みんな(39.5%)
吉井行政センター管内	家族や親類(80.0%)	周りに住む人みんな(42.9%)	民生委員や主任児童委員(42.9%)
世知原行政センター管内	家族や親類(52.5%)	周りに住む人みんな(35.0%)	福祉関係の事業所の職員(30.0%)
宇久行政センター管内	家族や親類(52.4%)	周りに住む人みんな(47.6%)	福祉関係の事業所の職員(35.7%)
小佐々行政センター管内	家族や親類(76.3%)	周りに住む人みんな(36.8%)	民生委員や主任児童委員(36.8%)
江迎行政センター管内	家族や親類(51.2%)	民生委員や主任児童委員(44.2%)	周りに住む人みんな(34.9%)
鹿町行政センター管内	家族や親類(60.4%)	周りに住む人みんな(52.1%)	民生委員や主任児童委員(35.4%)

(問16) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方に対して、地域で助け合って日常生活のお手伝いなどをするべきだと思いますか。
(いずれか1つに○)

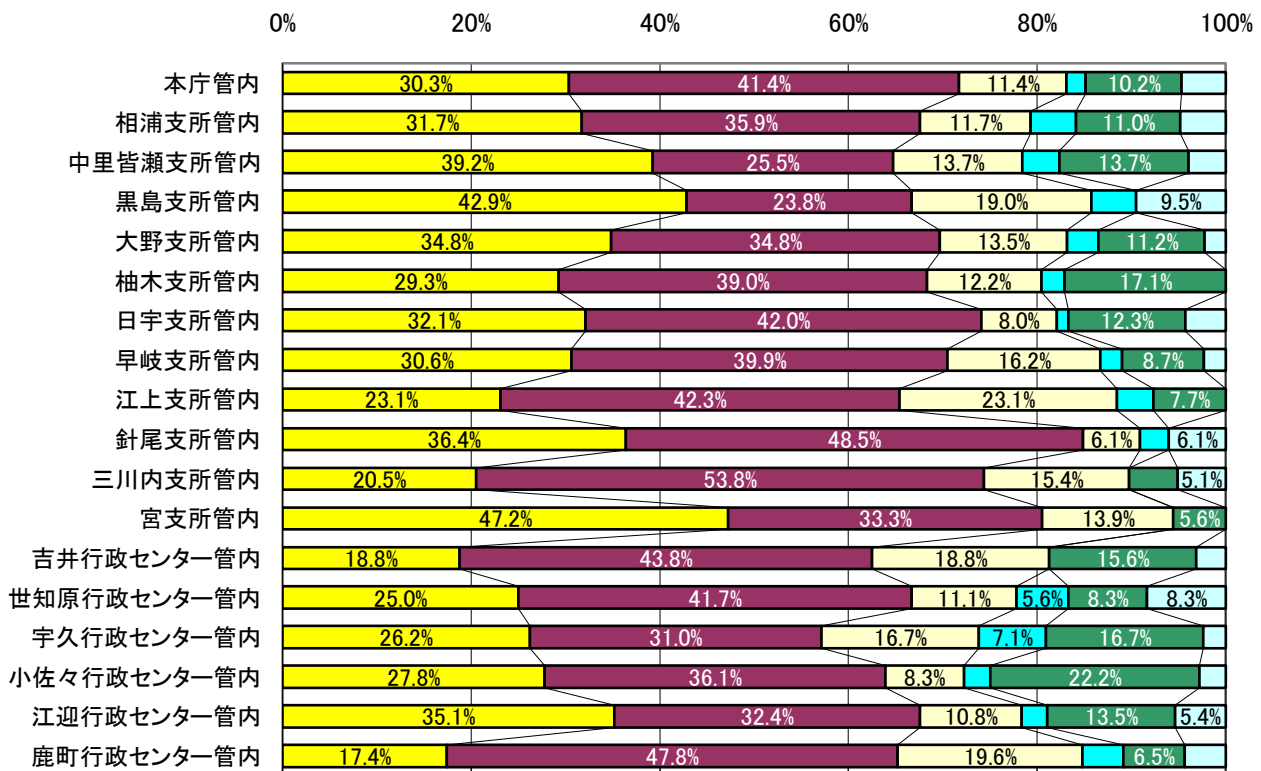
■ぜひするべきだ ■ある程度するべきだ □あまりするべきではない □するべきではない ■どちらとも言えない■わからない



(問17) あなたは、児童・生徒に対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。

(いずれか1つに○)

- 学校教育の中で学ぶべきだ
- 家庭の中で学ぶべきだ
- 子ども会など地域の活動を通じて学ぶべきだ
- 公民館などでの社会教育を通じて学ぶべきだ
- 生活していく中で自然と身につく
- わからない



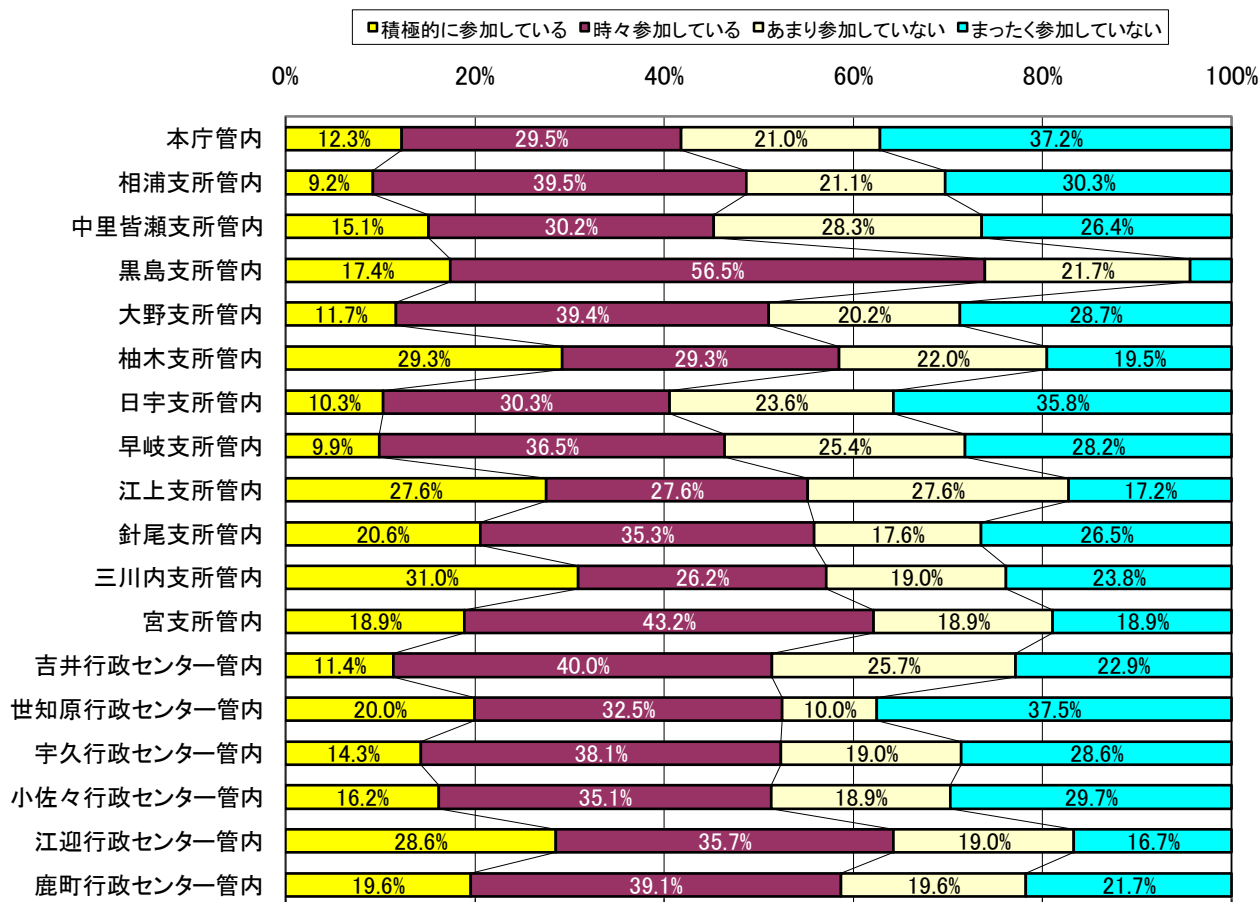
(問18) 地域には、町内会や自治会などの組織のほか、地区福祉推進協議会などのさまざまな団体が活動していますが、あなたは、どのような団体を知っていますか。

(知っているものすべてに○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	町内会・自治会(89.3%)	PTA・育友会(63.5%)	民生委員の協議会(57.6%)
相浦支所管内	町内会・自治会(86.9%)	PTA・育友会(73.9%)	民生委員の協議会(48.4%)
中里皆瀬支所管内	町内会・自治会(92.5%)	PTA・育友会(67.9%)	民生委員の協議会(64.2%)
黒島支所管内	町内会・自治会(79.2%)	民生委員の協議会(75.0%)	PTA・育友会(54.2%)
大野支所管内	町内会・自治会(88.4%)	PTA・育友会(69.5%)	民生委員の協議会(54.7%)
柚木支所管内	町内会・自治会(90.5%)	PTA・育友会(73.8%)	民生委員の協議会(61.9%)
日宇支所管内	町内会・自治会(88.9%)	PTA・育友会(70.8%)	民生委員の協議会(57.9%)
早岐支所管内	町内会・自治会(94.6%)	PTA・育友会(74.2%)	民生委員の協議会(55.4%)
江上支所管内	町内会・自治会(89.7%)	PTA・育友会(69.0%)	民生委員の協議会(65.0%)
針尾支所管内	町内会・自治会(85.7%)	PTA・育友会(74.3%)	民生委員の協議会(60.0%)
三川内支所管内	町内会・自治会(88.9%)	PTA・育友会(71.1%)	民生委員の協議会(66.7%)
宮支所管内	町内会・自治会(86.8%)	民生委員の協議会(76.3%)	PTA・育友会(73.7%)
吉井行政センター管内	町内会・自治会(85.7%)	PTA・育友会(77.1%)	民生委員の協議会(62.9%)
世知原行政センター管内	町内会・自治会(90.0%)	民生委員の協議会(70.0%)	民生委員の協議会(67.5%)
宇久行政センター管内	町内会・自治会(78.6%)	民生委員の協議会(73.8%)	PTA・育友会(61.9%)
小佐々行政センター管内	町内会・自治会(73.7%)	PTA・育友会(55.3%)	民生委員の協議会(52.6%)
江迎行政センター管内	町内会・自治会(88.4%)	民生委員の協議会(76.7%)	PTA・育友会(67.4%)
鹿町行政センター管内	町内会・自治会(83.3%)	PTA・育友会(68.8%)	民生委員の協議会(58.3%)

(問19) あなたは、お住まいの地域の活動にどの程度参加していますか。
(いずれか1つに○)

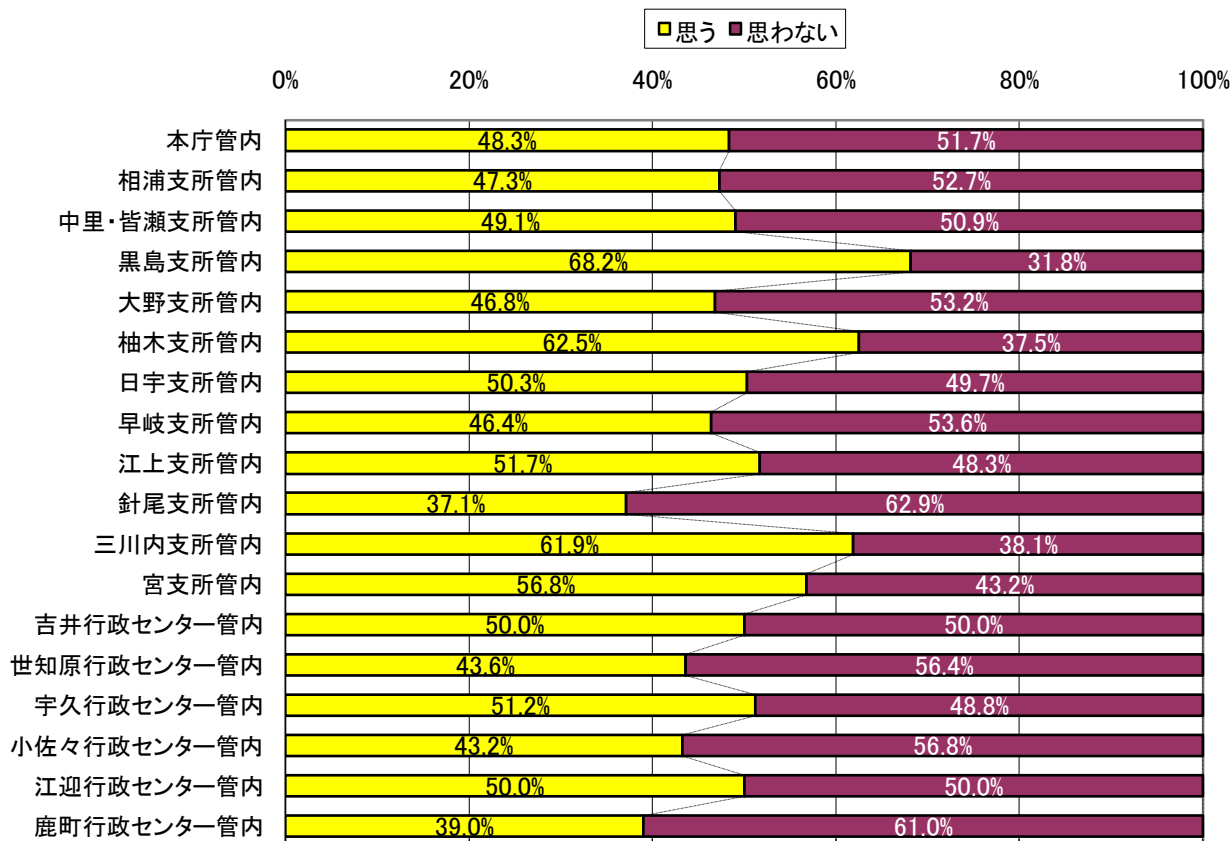


(問20) あなたは、地域でどのような活動や行事に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	町内清掃(43.7%)	町内会などの活動(33.2%)	お祭りなどの行事(17.2%)
相浦支所管内	町内清掃(55.6%)	町内会などの活動(30.7%)	お祭りなどの行事(17.6%)
中里皆瀬支所管内	町内清掃(50.9%)	町内会などの活動(37.7%)	お祭りなどの行事(22.6%)
黒島支所管内	町内会などの活動(66.7%)	町内清掃(62.5%)	お祭りなどの行事(58.3%)
大野支所管内	町内清掃(60.0%)	町内会などの活動(31.6%)	お祭りなどの行事(17.9%)
柚木支所管内	お祭りなどの行事(52.4%)	町内清掃(47.6%)	町内会などの活動(45.2%)
日宇支所管内	町内清掃(50.9%)	町内会などの活動(30.4%)	お祭りなどの行事(17.5%)
早岐支所管内	町内清掃(55.4%)	町内会などの活動(44.6%)	お祭りなどの行事(27.4%)
江上支所管内	町内清掃(48.3%)	町内会などの活動(44.8%)	お祭りなどの行事(34.5%)
針尾支所管内	町内清掃(45.7%)	お祭りなどの行事(40.0%)	町内会などの活動(34.3%)
三川内支所管内	お祭りなどの行事(53.3%)	町内会などの活動(51.1%)	町内清掃(48.9%)
宮支所管内	お祭りなどの行事(47.4%)	町内清掃(42.1%)	町内会などの活動(42.1%)
吉井行政センター管内	町内清掃(62.9%)	町内会などの活動(37.1%)	お祭りなどの行事(31.4%)
世知原行政センター管内	町内清掃(50.0%)	お祭りなどの行事(35.0%)	町内会などの活動(32.5%)
宇久行政センター管内	お祭りなどの行事(47.6%)	町内清掃(35.7%)	町内会などの活動(33.3%)
小佐々行政センター管内	町内清掃(52.6%)	町内会などの活動(34.2%)	お祭りなどの行事(34.2%)
江迎行政センター管内	町内清掃(53.5%)	町内会などの活動(46.5%)	お祭りなどの行事(37.2%)
鹿町行政センター管内	町内清掃(58.3%)	町内会などの活動(37.5%)	お祭りなどの行事(29.2%)

(問21) あなたは、現在の地域の活動に問題があると思いますか。
(いずれか1つに○)

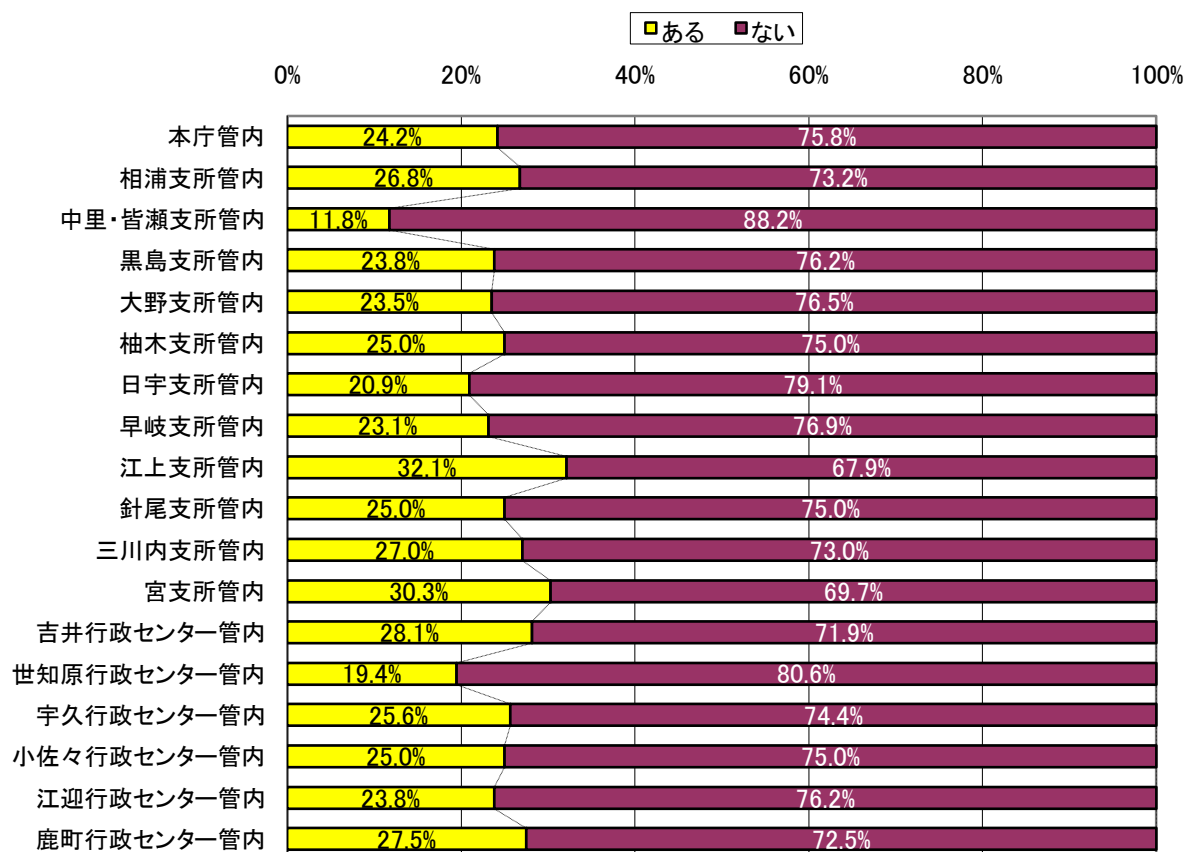


(問22) あなたは、地域の活動の問題点はどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	活動する人が減っている(35.1%)	住民の関心が低い(32.4%)	情報が十分でない(16.6%)
相浦支所管内	住民の関心が低い(35.3%)	活動する人が減っている(34.0%)	情報が十分でない(19.0%)
中里皆瀬支所管内	活動する人が減っている(39.6%)	住民の関心が低い(28.3%)	情報が十分でない(20.8%)
黒島支所管内	活動する人が減っている(66.7%)	住民の関心が低い(33.3%)	活動資金が十分ではない(33.3%)
大野支所管内	活動する人が減っている(33.7%)	住民の関心が低い(31.6%)	情報が十分でない(20.0%)
柚木支所管内	活動する人が減っている(50.0%)	住民の関心が低い(38.1%)	情報が十分でない(11.9%)
日宇支所管内	活動する人が減っている(43.3%)	住民の関心が低い(35.7%)	情報が十分でない(14.6%)
早岐支所管内	活動する人が減っている(36.6%)	住民の関心が低い(34.9%)	情報が十分でない(17.7%)
江上支所管内	活動する人が減っている(44.8%)	住民の関心が低い(37.9%)	情報が十分でない(20.7%)
針尾支所管内	活動する人が減っている(37.1%)	住民の関心が低い(31.4%)	情報が十分でない(8.6%)
三川内支所管内	活動する人が減っている(46.7%)	住民の関心が低い(35.6%)	活動資金が十分ではない(15.6%)
宮支所管内	活動する人が減っている(55.3%)	活動資金が十分ではない(18.4%)	住民の関心が低い(7.9%)
吉井行政センター管内	活動する人が減っている(37.1%)	住民の関心が低い(37.1%)	情報が十分でない(20.0%)
世知原行政センター管内	活動する人が減っている(40.0%)	住民の関心が低い(22.5%)	活動資金が十分ではない(20.0%)
宇久行政センター管内	活動する人が減っている(42.9%)	住民の関心が低い(31.0%)	活動資金が十分ではない(19.0%)
小佐々行政センター管内	活動する人が減っている(42.1%)	住民の関心が低い(34.2%)	活動資金が十分ではない(21.1%)
江迎行政センター管内	活動する人が減っている(44.2%)	住民の関心が低い(20.9%)	活動資金が十分ではない(16.3%)
鹿町行政センター管内	活動する人が減っている(27.1%)	住民の関心が低い(12.5%)	情報が十分でない(10.4%)

(問23) あなたは、ボランティア・NPO活動に参加したことがありますか。
(いずれか1つに○)



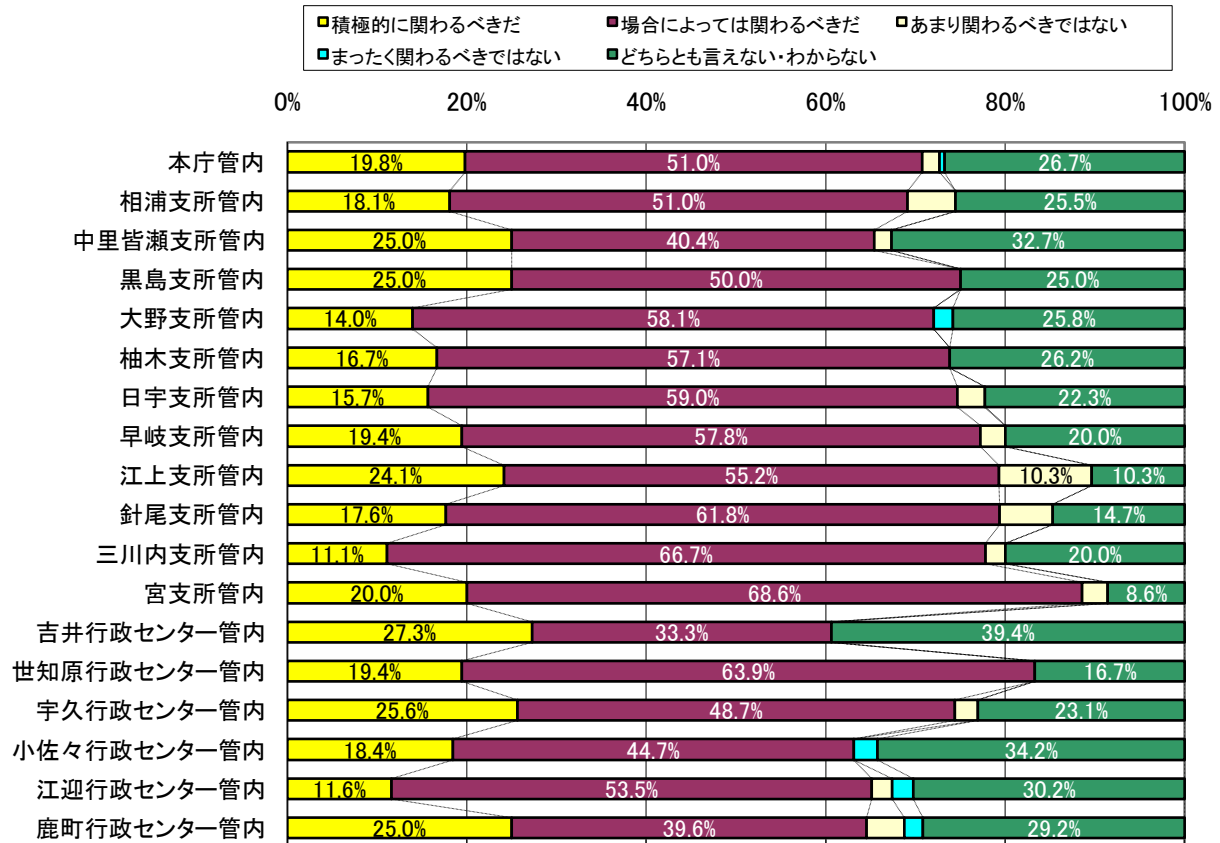
(問24) あなたは、ボランティア・NPO活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものに3つまで○)

※上位3項目のみ

地域別	1位	2位	3位
本庁管内	活動の情報提供 (59.8%)	ボランティア人材の育成 (32.7%)	ボランティアの調整役 (29.8%)
相浦支所管内	活動の情報提供 (57.5%)	ボランティア人材の育成 (35.3%)	活動資金の助成 (28.3%)
中里・皆瀬支所管内	活動の情報提供 (67.9%)	ボランティア人材の育成 (43.4%)	活動資金の助成 (33.3%)
黒島支所管内	活動資金の助成 (37.5%)	活動の情報提供 (33.3%)	ボランティア人材の育成 (35.8%)
大野支所管内	活動の情報提供 (58.9%)	ボランティア人材の育成 (35.8%)	ボランティアの調整役 (33.3%)
柚木支所管内	活動の情報提供 (61.9%)	ボランティア人材の育成 (47.6%)	活動資金の助成 (27.5%)
日宇支所管内	活動の情報提供 (50.9%)	ボランティア人材の育成 (36.3%)	活動資金の助成 (37.5%)
早岐支所管内	活動の情報提供 (54.8%)	ボランティア人材の育成 (35.5%)	活動資金の助成 (25.3%)
江上支所管内	活動の情報提供 (62.1%)	活動資金の助成 (37.9%)	ボランティアの調整役 (37.9%)
針尾支所管内	活動の情報提供 (40.0%)	ボランティア人材の育成 (40.0%)	活動資金の助成 (31.4%)
三川内支所管内	活動の情報提供 (51.1%)	ボランティア人材の育成 (28.9%)	ボランティアの調整役 (29.8%)
宮支所管内	活動の情報提供 (52.6%)	ボランティア人材の育成 (44.7%)	活動資金の助成 (39.5%)
吉井行政センター管内	活動の情報提供 (60.0%)	ボランティア人材の育成 (37.1%)	ボランティアの調整役 (25.7%)
世知原行政センター管内	活動の情報提供 (50.0%)	ボランティア人材の育成 (32.5%)	活動資金の助成 (32.5%)
宇久行政センター管内	活動の情報提供 (45.2%)	ボランティア人材の育成 (35.7%)	活動資金の助成 (31.0%)
小佐々行政センター管内	活動の情報提供 (52.6%)	ボランティア人材の育成 (44.7%)	活動資金の助成 (34.2%)
江迎行政センター管内	活動の情報提供 (48.8%)	ボランティア人材の育成 (32.6%)	活動資金の助成 (30.2%)
鹿町行政センター管内	活動の情報提供 (60.4%)	ボランティア人材の育成 (37.5%)	活動資金の助成 (29.2%)

(問25) あなたは、自治会などの“地域”を単位とする組織と、ボランティアやNPOなどの“目的別”の団体の関わり方は、どうあるべきだと思いますか。

(いずれか1つに○)



(問26) あなたは、「デイクラブ」や「ふれあいいきいきサロン」などの住民による交流の場があることを知っていますか。

(いずれか1つに○)

地域別	よく知っている	少しは知っている	ほとんど知らない	知らない
本庁管内	3.6%	6.6%	40.2%	49.6%
相浦支所管内	7.3%	11.3%	36.4%	45.0%
中里皆瀬支所管内	0.0%	5.8%	34.6%	59.6%
黒島支所管内	66.7%	12.5%	16.7%	4.2%
大野支所管内	2.2%	6.5%	44.6%	46.7%
柚木支所管内	4.8%	0.0%	45.2%	50.0%
日宇支所管内	5.4%	10.2%	37.1%	47.3%
早岐支所管内	3.3%	7.1%	49.5%	40.2%
江上支所管内	10.3%	10.3%	44.8%	34.5%
針尾支所管内	8.6%	2.9%	62.9%	25.7%
三川内支所管内	6.8%	9.1%	43.2%	40.9%
宮支所管内	11.4%	2.9%	54.3%	31.4%
吉井行政センター管内	14.3%	20.0%	31.4%	34.3%
世知原行政センター管内	7.7%	10.3%	43.6%	38.5%
宇久行政センター管内	4.9%	9.8%	43.9%	41.5%
小佐々行政センター管内	2.6%	7.9%	31.6%	57.9%
江迎行政センター管内	25.6%	20.9%	44.2%	9.3%
鹿町行政センター管内	8.3%	20.8%	41.7%	29.2%

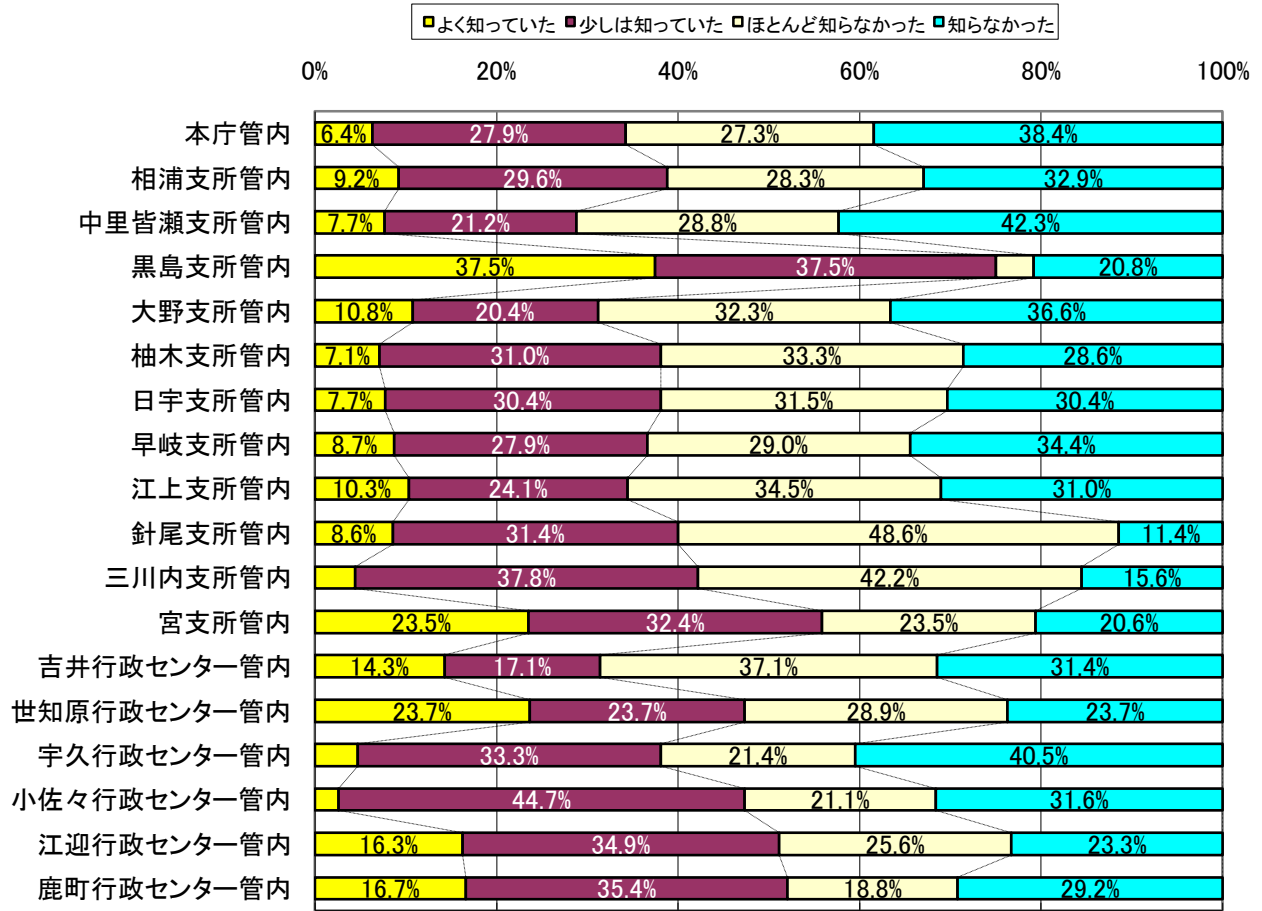
(問27) あなたが福祉に関する情報を入手する場合、どこから情報を入手しますか。

(あてはまるもの3つまで○)

※上位5項目のみ

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
本庁管内	広報させぼ (65.7%)	自治会の回覧板 (37.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (29.8%)	テレビ、ラジオ (29.5%)	新聞 (19.6%)
相浦支所管内	広報させぼ (56.9%)	自治会の回覧板 (34.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (31.4%)	テレビ、ラジオ (26.8%)	新聞 (19.0%)
中里・皆瀬 支所管内	広報させぼ (71.7%)	自治会の回覧板 (35.8%)	市役所など 行政機関の窓口 (24.5%)	テレビ、ラジオ (22.6%)	雑誌や本、 タウン誌 (20.8%)
黒島支所管内	広報させぼ (66.7%)	自治会の回覧板 (41.7%)	市役所など 行政機関の窓口 (33.3%)	テレビ、ラジオ (33.3%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (16.7%)
大野支所管内	広報させぼ (62.1%)	市役所など 行政機関の窓口 (31.6%)	テレビ、ラジオ (29.5%)	自治会の回覧板 (26.3%)	雑誌や本、 タウン誌 (20.0%)
柚木支所管内	広報させぼ (66.7%)	テレビ、ラジオ (40.5%)	自治会の回覧板 (33.3%)	市役所など 行政機関の窓口 (31.0%)	新聞 (21.4%)
日宇支所管内	広報させぼ (62.6%)	自治会の回覧板 (39.8%)	テレビ、ラジオ (29.8%)	市役所など 行政機関の窓口 (29.2%)	新聞 (24.6%)
早岐支所管内	広報させぼ (65.1%)	自治会の回覧板 (37.1%)	市役所など 行政機関の窓口 (30.6%)	テレビ、ラジオ (29.0%)	新聞 (21.0%)
江上支所管内	広報させぼ (58.6%)	市役所など 行政機関の窓口 (44.8%)	自治会の回覧板 (27.6%)	テレビ、ラジオ (27.6%)	新聞 (27.6%)
針尾支所管内	自治会の回覧板 (45.7%)	広報させぼ (42.9%)	テレビ、ラジオ (40.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (20.0%)	新聞 (17.1%)
三川内支所管内	広報させぼ (73.3%)	自治会の回覧板 (40.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (33.3%)	テレビ、ラジオ (24.4%)	新聞 (17.8%)
宮支所管内	広報させぼ (68.4%)	自治会の回覧板 (44.7%)	テレビ、ラジオ (26.3%)	市役所など 行政機関の窓口 (21.1%)	新聞 (13.2%)
吉井行政センター 管内	広報させぼ (57.1%)	自治会の回覧板 (28.6%)	市役所など 行政機関の窓口 (28.6%)	テレビ、ラジオ (28.6%)	新聞 (25.7%)
世知原行政 センター管内	広報させぼ (47.5%)	市役所など 行政機関の窓口 (30.0%)	自治会の回覧板 (27.5%)	テレビ、ラジオ (27.5%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (22.5%)
宇久行政センター 管内	広報させぼ (57.1%)	自治会の回覧板 (50.0%)	市役所など 行政機関の窓口 (33.3%)	テレビ、ラジオ (26.2%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (23.8%)
小佐々行政 センター管内	広報させぼ (47.4%)	広報させぼ (34.2%)	市役所など 行政機関の窓口 (31.6%)	新聞 (23.7%)	テレビ、ラジオ (21.1%)
江迎行政センター 管内	広報させぼ (53.5%)	自治会の回覧板 (39.5%)	市役所など 行政機関の窓口 (32.6%)	社協だよりや 社会福祉協議会の窓口 (25.6%)	新聞 (16.3%)
鹿町行政センター 管内	広報させぼ (45.8%)	自治会の回覧板 (43.8%)	市役所など 行政機関の窓口 (35.4%)	新聞 (25.0%)	テレビ、ラジオ (22.9%)

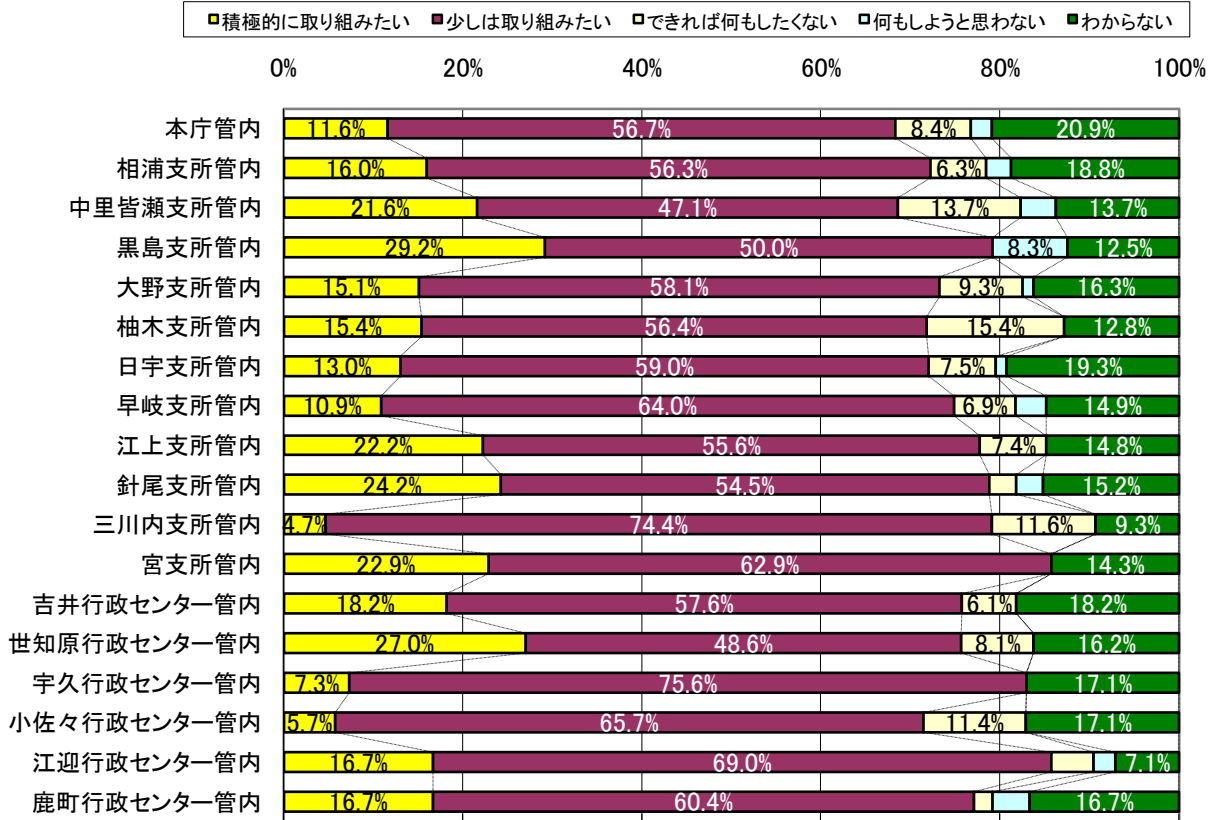
(問28) あなたは、「地域福祉」という言葉を知っていましたか。
(いずれか1つに○)



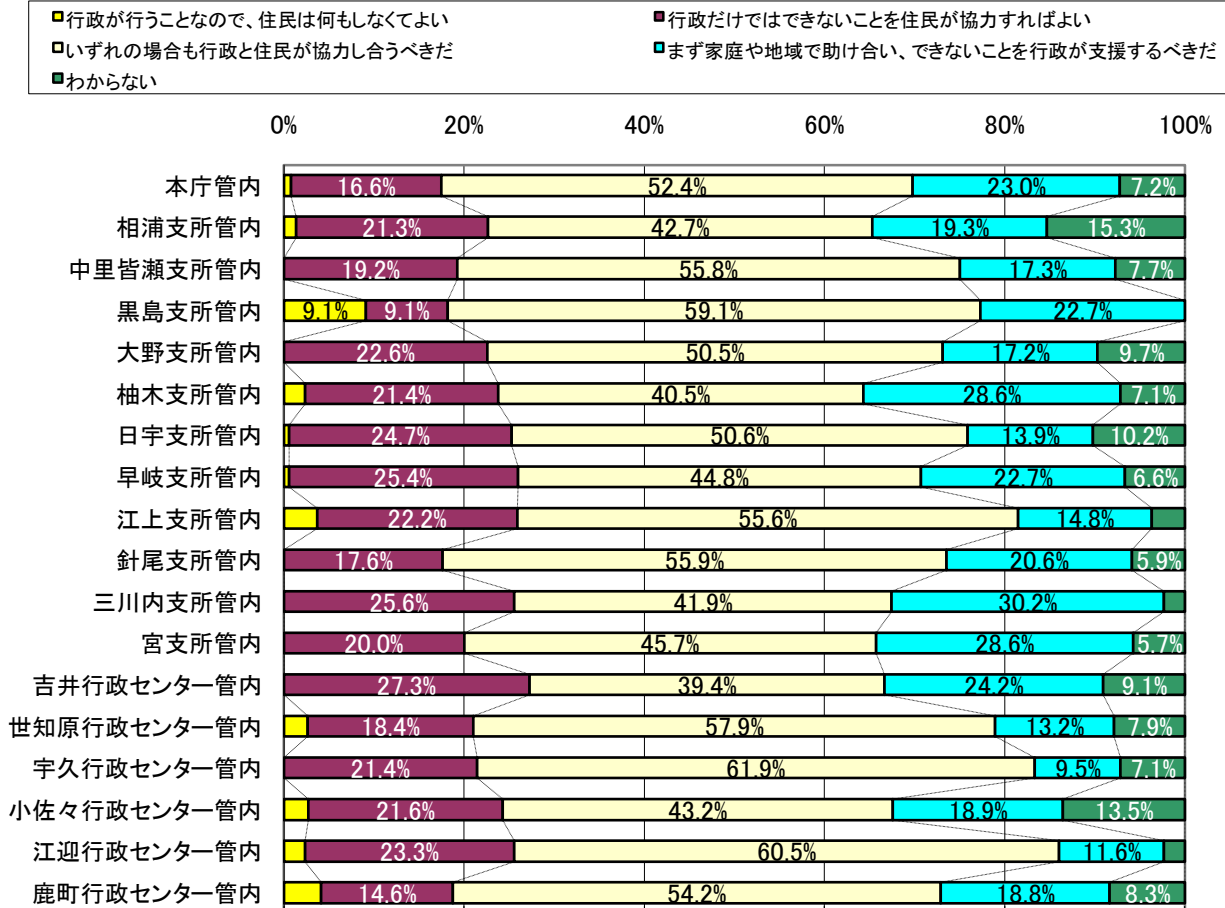
(問29) あなたは、「地域福祉」を進めることが必要だと思いますか。
(いずれか1つに○)

地域別	とても必要だ	どちらかと言え ば必要だ	あまり 必要ではない	まったく 必要ではない	どちらとも 言えない ・わからない
本庁管内	48.5%	39.1%	1.9%	0.3%	10.2%
相浦支所管内	43.4%	41.4%	1.3%	0.0%	13.8%
中里皆瀬支所管内	61.5%	32.7%	1.9%	0.0%	3.8%
黒島支所管内	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%	0.0%
大野支所管内	51.6%	37.6%	1.1%	1.1%	8.6%
柚木支所管内	42.9%	45.2%	0.0%	0.0%	11.9%
日宇支所管内	41.1%	48.8%	0.6%	0.0%	9.5%
早岐支所管内	48.1%	42.5%	2.8%	0.6%	6.1%
江上支所管内	44.8%	48.3%	6.9%	0.0%	0.0%
針尾支所管内	48.6%	45.7%	2.9%	0.0%	2.9%
三川内支所管内	40.0%	48.9%	2.2%	0.0%	8.9%
宮支所管内	50.0%	44.1%	2.9%	0.0%	2.9%
吉井行政センター管内	60.0%	25.7%	0.0%	2.9%	11.4%
世知原行政センター管内	43.6%	46.2%	0.0%	0.0%	10.3%
宇久行政センター管内	58.5%	36.6%	0.0%	0.0%	4.9%
小佐々行政センター管内	39.5%	42.1%	2.6%	0.0%	15.8%
江迎行政センター管内	44.2%	48.8%	4.7%	0.0%	2.3%
鹿町行政センター管内	41.7%	45.8%	0.0%	2.1%	10.4%

(問30) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、自分ができることに取り組みようと思いますか。
(いずれか1つに○)

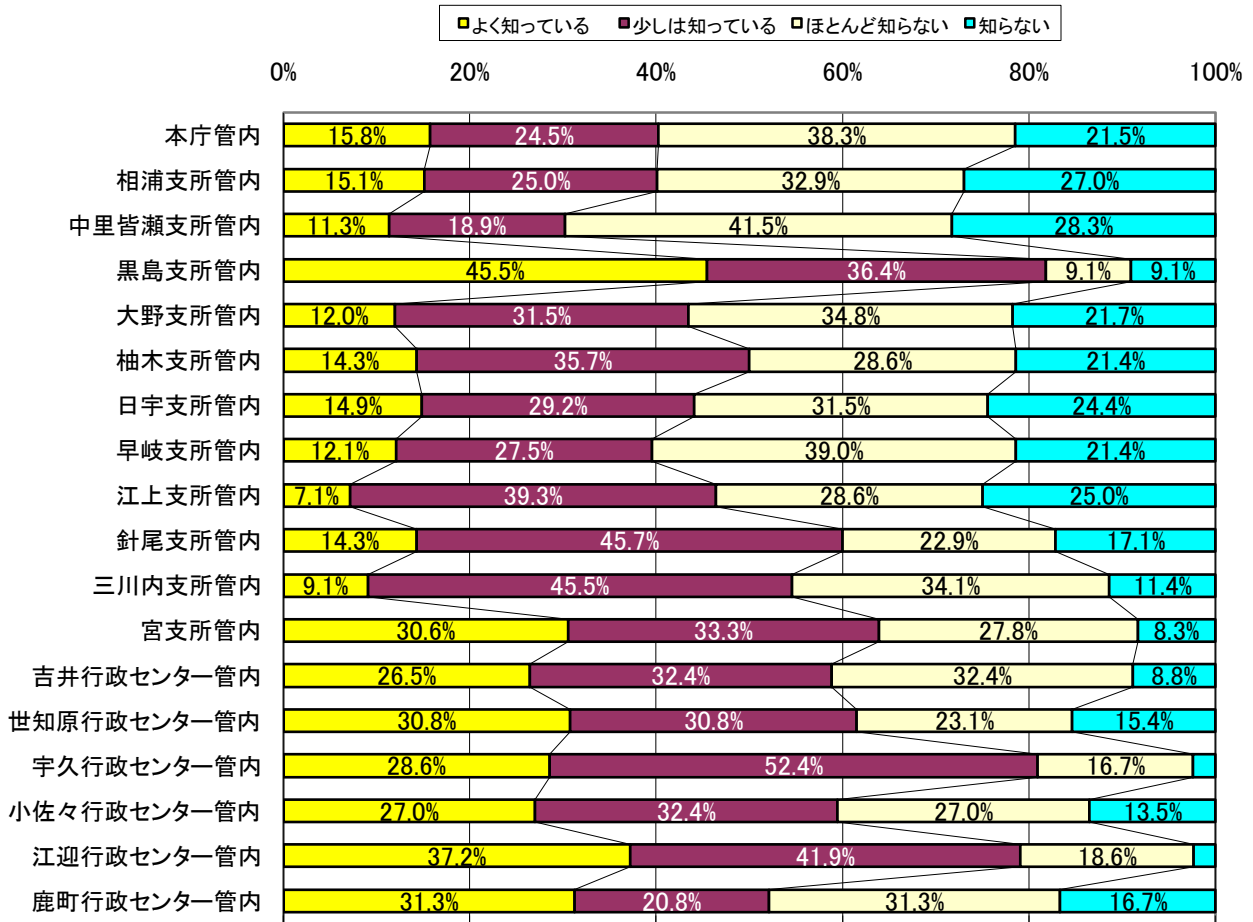


(問31) 「地域福祉」を進めるために、行政と住民はどのような関係にあるべきだと思いますか。
(いずれか1つに○)



(問32) あなたは、「地域福祉」を進めるためにさまざまな活動を行っている団体「佐世保市社会福祉協議会」を知っていますか。

(いずれか1つに○)



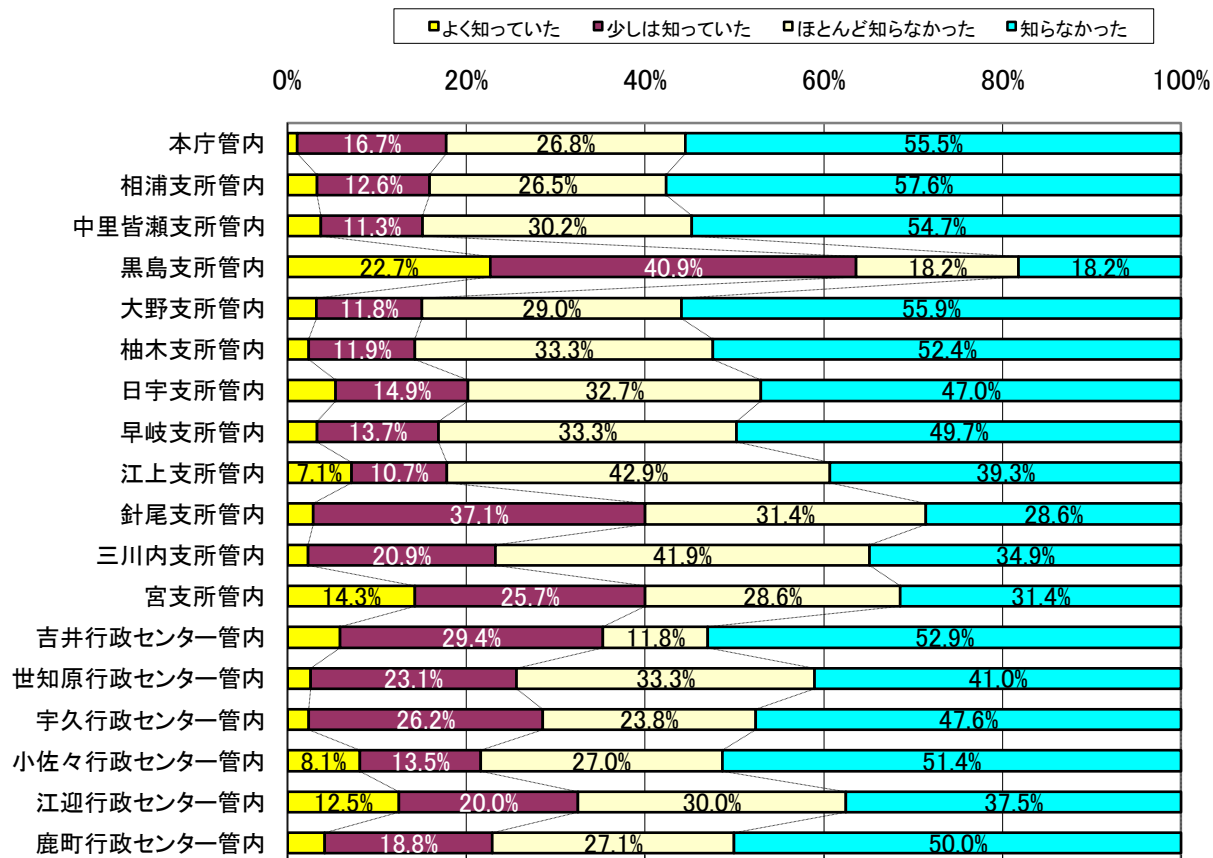
(問33) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、「佐世保社会福祉協議会」が行う活動・支援として
 充実すべきことはどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものに3つまで○)

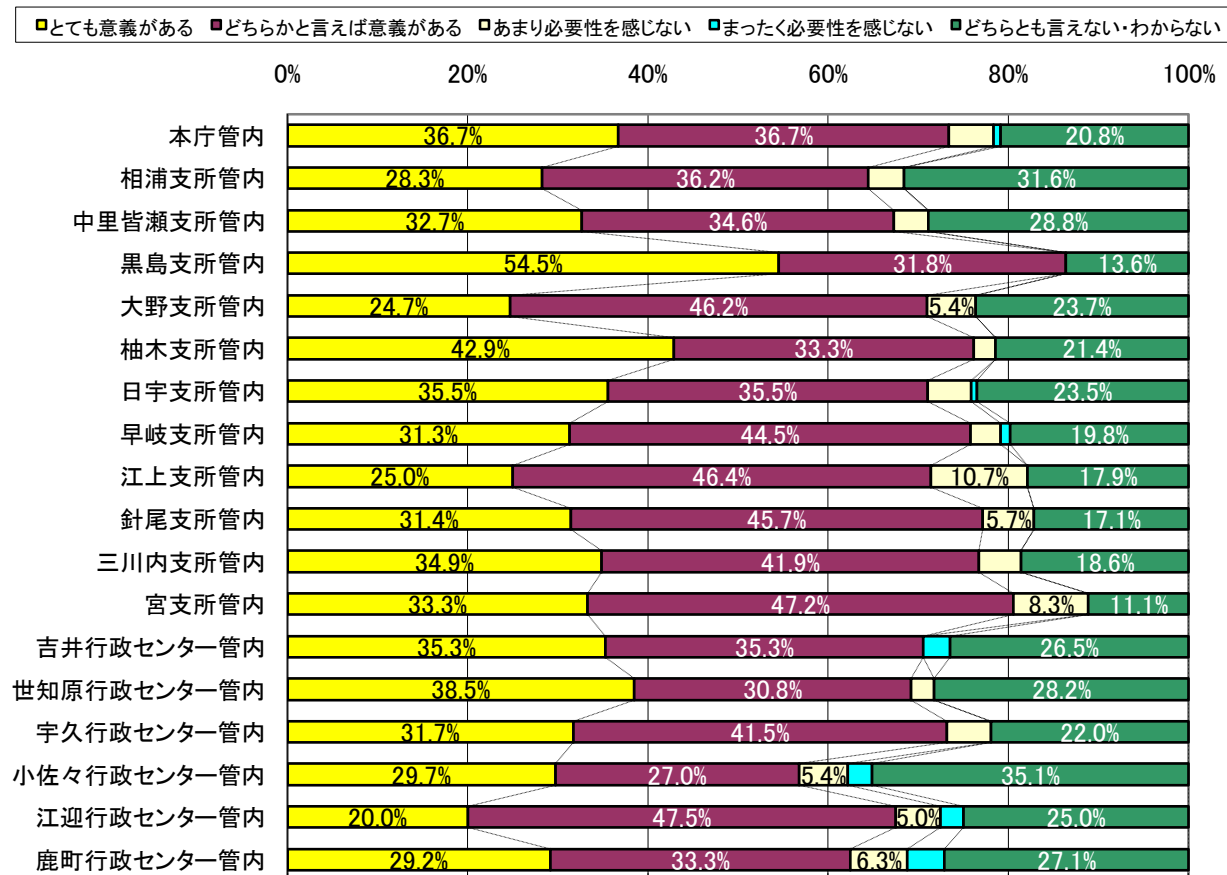
※上位5項目のみ

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
本庁管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (42.9%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (36.7%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (34.0%)	高齢者や団体への支援 (32.7%)	学校や地域での福祉教育の推進 (20.1%)
相浦支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (39.9%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (35.3%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (32.0%)	高齢者や団体への支援 (31.4%)	障がいのある人や団体への支援 (22.9%)
中里・皆瀬支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (54.7%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (45.3%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (37.7%)	高齢者や団体への支援 (37.7%)	障がいのある人や団体への支援 (24.5%)
黒島支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (45.8%)	高齢者や団体への支援 (45.8%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (33.3%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (25.0%)	障がいのある人や団体への支援 (20.8%)
大野支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (49.5%)	高齢者や団体への支援 (44.2%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (38.9%)	高齢者や団体への支援 (26.3%)	障がいのある人や団体への支援 (18.9%)
柚木支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (50.0%)	高齢者や団体への支援 (45.2%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (42.9%)	障がいのある人や団体への支援 (40.5%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (38.1%)
日宇支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (45.0%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (35.7%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (35.7%)	高齢者や団体への支援 (32.7%)	学校や地域での福祉教育の推進 (24.0%)
早岐支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (43.5%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (40.9%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (33.9%)	高齢者や団体への支援 (29.6%)	障がいのある人や団体への支援 (22.6%)
江上支所管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (37.9%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (34.5%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (31.0%)	高齢者や団体への支援 (31.0%)	学校や地域での福祉教育の推進 (27.6%)
針尾支所管内	住民による身近な支え合い活動への支援 (42.9%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (40.0%)	高齢者や団体への支援 (37.1%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (34.3%)	学校や地域での福祉教育の推進 (28.6%)
三川内支所管内	住民による身近な支え合い活動への支援 (48.9%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (44.4%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (37.8%)	障がいのある人や団体への支援 (26.7%)	学校や地域での福祉教育の推進 (26.7%)
宮支所管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (55.3%)	高齢者や団体への支援 (42.1%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (39.5%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (36.8%)	障がいのある人や団体への支援 (21.1%)
吉井行政センター管内	高齢者や団体への支援 (42.9%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (40.0%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (31.4%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (28.6%)	障がいのある人や団体への支援 (14.3%)
世知原行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (52.5%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (40.0%)	高齢者や団体への支援 (37.5%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (32.5%)	障がいのある人や団体への支援 (22.5%)
宇久行政センター管内	住民による身近な支え合い活動への支援 (52.4%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (45.2%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (42.9%)	高齢者や団体への支援 (35.7%)	障がいのある人や団体への支援 (23.8%)
小佐々行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (47.4%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (39.5%)	障がいのある人や団体への支援 (28.9%)	子育てに関する支援 (26.3%)	高齢者や団体への支援 (21.1%)
江迎行政センター管内	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (48.8%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (39.5%)	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (37.2%)	高齢者や団体への支援 (30.2%)	学校や地域での福祉教育の推進 (20.9%)
鹿町行政センター管内	身近に福祉の相談ができる窓口の設置 (45.8%)	在宅で生活するための福祉サービスの提供 (37.5%)	住民による身近な支え合い活動への支援 (31.3%)	学校や地域での福祉教育の推進 (29.2%)	高齢者や団体への支援 (25.0%)

(問34) あなたは、「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。
(いずれか1つに○)

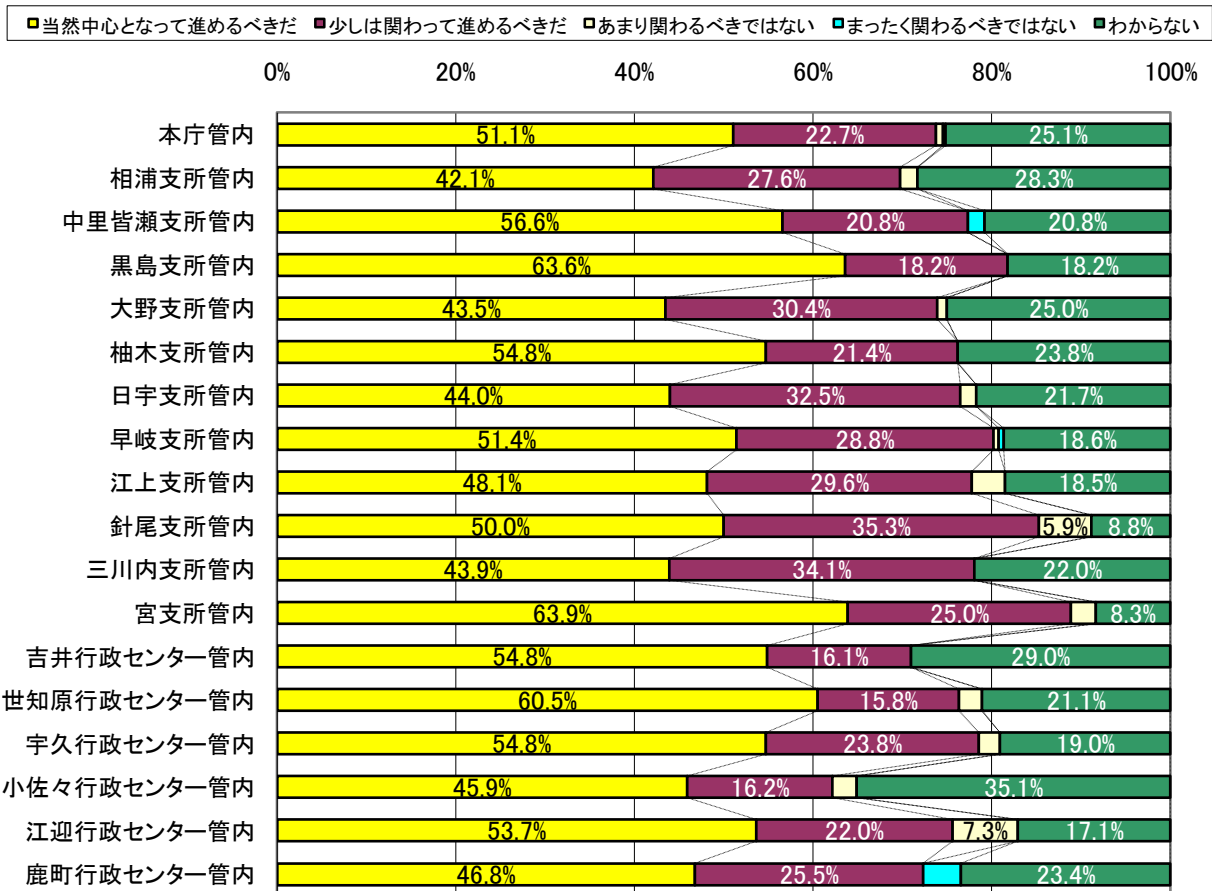


(問35) あなたは、「地域福祉計画」や「地域福祉活動計画」についてどう思いますか。
(いずれか1つに○)



(問36) あなたは、「地域福祉」を進めるための取り組みについて、各地区の福祉推進協議会が中心となって進めることについてどう思いますか。

(いずれか1つに○)

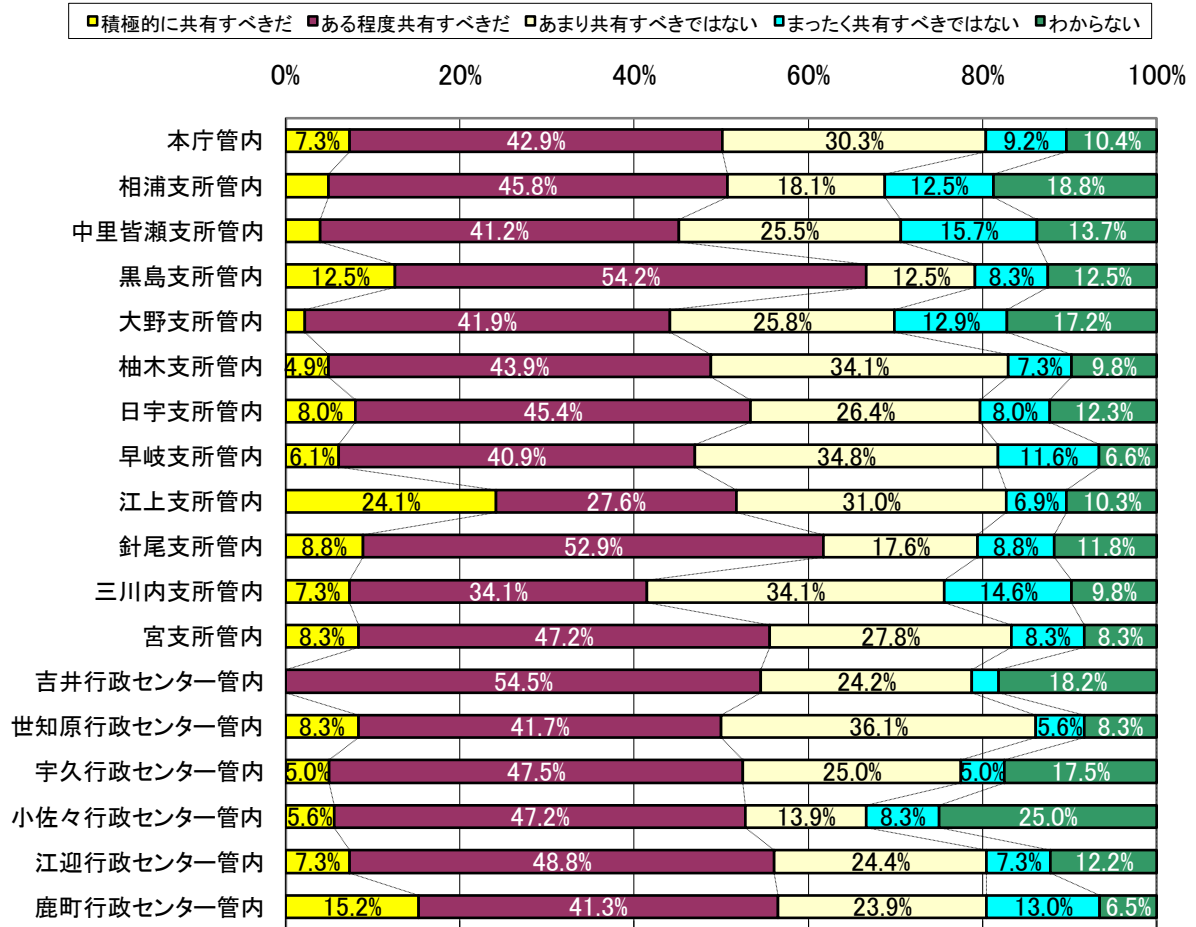


(問37) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、各地区の福祉推進協議会が行う活動として
 充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
 (あてはまるものに3つまで○)

※上位5項目のみ

地域別	1位	2位	3位	4位	5位
本庁管内	高齢者への支援 (49.3%)	身近な福祉の 相談機能 (49.3%)	住民による身近な 支え合いづくり (45.6%)	障がいのある人 への支援 (29.8%)	子育てに関する 支援 (20.6%)
相浦支所管内	身近な福祉の 相談機能 (48.4%)	高齢者への支援 (45.8%)	住民による身近な 支え合いづくり (38.6%)	障がいのある人 への支援 (32.7%)	子育てに関する 支援 (24.2%)
中里・皆瀬 支所管内	高齢者への支援 (50.9%)	身近な福祉の 相談機能 (49.1%)	住民による身近な 支え合いづくり (41.5%)	障がいのある人 への支援 (32.1%)	子育てに関する 支援 (22.6%)
黒島支所管内	高齢者への支援 (62.5%)	住民による身近な 支え合いづくり (54.2%)	身近な福祉の 相談機能 (33.3%)	障がいのある人 への支援 (16.7%)	ボランティア活動 への参加促進 (12.5%)
大野支所管内	身近な福祉の 相談機能 (46.3%)	高齢者への支援 (42.1%)	障がいのある人 への支援 (34.7%)	子育てに関する 支援 (28.4%)	子どもへの福祉教育 (21.1%)
柚木支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (54.8%)	高齢者への支援 (54.8%)	身近な福祉の 相談機能 (42.9%)	障がいのある人 への支援 (42.9%)	子育てに関する 支援 (23.8%)
日宇支所管内	高齢者への支援 (54.4%)	住民による身近な 支え合いづくり (49.1%)	身近な福祉の 相談機能 (40.4%)	障がいのある人 への支援 (27.5%)	子育てに関する 支援 (25.7%)
早岐支所管内	身近な福祉の 相談機能 (51.1%)	高齢者への支援 (49.5%)	住民による身近な 支え合いづくり (48.9%)	障がいのある人 への支援 (33.3%)	子どもへの福祉教育 (23.5%)
江上支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (62.1%)	身近な福祉の 相談機能 (55.2%)	高齢者への支援 (37.9%)	ボランティア活動 への参加促進 (24.1%)	子育てに関する 支援 (17.2%)
針尾支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (54.3%)	身近な福祉の 相談機能 (42.9%)	高齢者への支援 (40.0%)	ボランティア活動 への参加促進 (20.0%)	子育てに関する 支援 (20.0%)
三川内支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (55.6%)	身近な福祉の 相談機能 (55.6%)	高齢者への支援 (44.4%)	障がいのある人 への支援 (28.9%)	ボランティア活動 への参加促進 (22.2%)
宮支所管内	住民による身近な 支え合いづくり (63.2%)	高齢者への支援 (57.9%)	身近な福祉の 相談機能 (34.2%)	障がいのある人 への支援 (34.2%)	子どもへの福祉教育 (21.1%)
吉井行政センター 管内	住民による身近な 支え合いづくり (62.9%)	高齢者への支援 (42.9%)	身近な福祉の 相談機能 (37.1%)	障がいのある人 への支援 (20.0%)	ボランティア活動 への参加促進 (14.3%)
世知原行政 センター管内	住民による身近な 支え合いづくり (50.0%)	高齢者への支援 (50.0%)	身近な福祉の 相談機能 (47.5%)	障がいのある人 への支援 (37.5%)	子育てに関する 支援 (17.5%)
宇久行政センター 管内	住民による身近な 支え合いづくり (57.1%)	身近な福祉の 相談機能 (50.0%)	高齢者への支援 (47.6%)	障がいのある人 への支援 (31.0%)	ボランティア活動 への参加促進 (16.7%)
小佐々行政 センター管内	高齢者への支援 (44.7%)	身近な福祉の 相談機能 (39.5%)	住民による身近な 支え合いづくり (34.2%)	障がいのある人 への支援 (34.2%)	子どもへの福祉教育 (28.9%)
江迎行政センター 管内	住民による身近な 支え合いづくり (55.8%)	高齢者への支援 (48.8%)	身近な福祉の 相談機能 (34.9%)	障がいのある人 への支援 (16.3%)	子育てに関する支援 (16.3%)
鹿町行政センター 管内	住民による身近な 支え合いづくり (47.9%)	高齢者への支援 (43.8%)	身近な福祉の 相談機能 (41.7%)	ボランティア活動 への参加促進 (22.9%)	障がいのある人 への支援 (20.8%)

(問38) あなたは、「地域福祉」を進めるうえで、地域内で個人情報共有することについて、
 どう思いますか。
 (いずれか1つに○)



資 料

(アンケート調査票)

佐世保市の地域福祉に関するアンケート

このアンケートは、佐世保市が実施している『地域福祉』に関する事業やその内容について、市民の皆さまの「認知度」や「満足度」などをお聞きするために行うものです。

この結果を事業に反映させることで、今後の佐世保市における地域福祉の推進に役立てたいと考えておりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、「佐世保市が行うアンケート調査に係る住民基本台帳情報の利用に関する規則」に基づいて、佐世保市民の中から16歳以上の男女3,500名を無作為に選ばせていただき、お送りしております。

(アンケートの回答のしかた)

ご回答は、このアンケートのあて名の方ご本人がご記入ください。

ご家族の方が代わってご記入される場合は、あて名の方のご意思に基づいてご記入いただきますようお願いいたします。

ご回答いただいたアンケート用紙は、平成22年12月24日(金)までに、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です)

個人情報の取り扱いについて

アンケート調査票や返信用封筒には、お名前や住所等、個人情報または個人が特定されるような情報の記載は避けていただきますようお願いいたします。

ご記入いただいたご意見は、集計後すみやかに焼却処分するなど、佐世保市個人情報保護条例に基づき、適切な管理・運営を行いますので、個人としてのご意見が外部に出るようなことは決してありません。

この調査の結果は、この他の目的に使用することはありません。

(このアンケートに関するお問い合わせ先)

佐世保市役所 保健福祉政策課

〒857-0042 佐世保市高砂町5番1号

佐世保市中央保健福祉センター内

電話：24-1111(内線5516)

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

(問1) あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに)

- 1 男
- 2 女

(問2) あなたの年齢をお答えください。(いずれか1つに)

- 1 20歳未満
- 2 20歳～29歳
- 3 30歳～39歳
- 4 40歳～49歳
- 5 50歳～59歳
- 6 60歳～69歳
- 7 70歳～79歳
- 8 80歳以上

(問3) あなたの“主な職業”または“現在の状態”をお答えください。

(いずれか1つに)

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 会社・団体役員
- 4 給与所得者
- 5 パート勤務、アルバイト
- 6 学生
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 無職(求職中を含む)
- 9 その他

(問4) あなたのお住まいの地域をお答えください。(いずれか1つに)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1 本庁管内(支所管内以外) | 11 三川内支所管内 |
| 2 相浦支所管内 | 12 宮支所管内 |
| 3 中里・皆瀬支所管内 | 13 吉井行政センター管内 |
| 4 黒島支所管内 | 14 世知原行政センター管 |
| 5 大野支所管内 | 15 宇久行政センター管内 |
| 6 柚木支所管内 | 16 小佐々行政センター管内 |
| 7 日宇支所管内 | 17 江迎行政センター管内 |
| 8 早岐支所管内 | 18 鹿町行政センター管内 |
| 9 江上支所管内 | 19 わからない 下に町名をご記入ください。 |
| 10 針尾支所管内 | () |

(問5) 今お住まいの場所に、何年お住まいかお答えください。

(いずれか1つに)

- 1 2年未満
- 2 2年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上20年未満
- 5 20年以上30年未満
- 6 30年以上40年未満
- 7 40年以上
- 8 わからない

(問6) 現在、あなたが同居されているご家族の構成をお答えください。

(いずれか1つに)

- 1 単身(ひとり暮らし)
- 2 夫婦のみ
- 3 二世帯(親・子)
- 4 三世帯(親・子・孫)
- 5 その他()

(問7) あなたや、あなたの家族や知人など身近な方の中に、介護保険の要介護や要支援の認定を受けている方がおられますか。(いずれか1つに)

- 1 いる
- 2 いない

(問8) あなたや、あなたの家族や知人など身近な方の中に、障がいの手帳を持っている方がおられますか。(いずれか1つに)

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれか、または複数を持っていることを指します。

- 1 いる
- 2 いない

ここからは、“地域での支え合い”についておたずねします。

(問9) あなたは日頃、隣り近所とどの程度のお付き合いがありますか。(いずれか1つに)

- 1 訪問し合ったり、悩みを相談し合ったりしている
- 2 世間話や立ち話はしている
- 3 あいさつをする程度で、ほとんど付き合いがない
- 4 まったく付き合いがない

(問10) あなたは、日頃の生活を送る上で、隣り近所とのお付き合いが必要だと思えますか。(いずれか1つに)

- 1 とても必要だ
- 2 まあまあ必要だ
- 3 あまり必要ではない
- 4 まったく必要ではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問11) あなたに悩みや困り事があったときの、身近な相談相手は誰ですか。

(いずれか1つに)

- 1 家族や親戚
- 2 友人・知人
- 3 地区の民生委員や主任児童委員
- 4 市役所など行政機関の相談窓口
- 5 社会福祉協議会
- 6 福祉関係の事業所の職員
- 7 ボランティアやNPOの活動をしている人
- 8 かかりつけの医療機関
- 9 町内会・自治会・公民館などの長
- 10 隣り近所の人
- 11 誰にも相談せず、自分で解決する
- 12 相談相手はいない
- 13 その他()
- 14 わからない

(問12) あなたが「地域」と聞いてイメージするのは、どの範囲ですか。

(いずれか1つに)

- 1 隣り近所
- 2 地元の「班」
- 3 地元の自治組織(町内会・自治会・区【例】大湊町1組、栗迎3など)
- 4 町内(【例】八幡町、江上町など)
- 5 小学校区
- 6 中学校区
- 7 支所(行政センター)
- 8 佐世保市内
- 9 その他()
- 10 わからない

(問13) あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障がい者を含めて、お互いの生活を地域全体で支え合っていると感じていますか。

(いずれか1つに)

- 1 とても感じている
- 2 少し感じている
- 3 あまり感じていない
- 4 まったく感じていない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問14) あなたは、住民同士がお互いに助け合えるのは、どの範囲だと思いますか。

(いずれか1つに)

選びたい番号が他の番号と同じ範囲になる場合は、ご自身にとって一番わかりやすい番号を選んでください。 【例】 黒島町... 4 ~ 7は同じ範囲

- 1 隣り近所
- 2 地元の「班」
- 3 地元の自治組織(町内会・自治会・区【例】大潟町1組、栗迎3など)
- 4 町内(【例】八幡町、江上町など)
- 5 小学校区
- 6 中学校区
- 7 支所(行政センター)
- 8 佐世保市内
- 9 その他()
- 10 わからない

(問15) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方が困っているときに、誰がその方の相談相手になるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

- 1 その人の家族や親類
- 2 周りに住む人みんな
- 3 地区の民生委員や主任児童委員
- 4 町内会などの役員
- 5 市役所の職員
- 6 福祉関係の事業所の職員
- 7 ボランティアやNPOの活動をしている人
- 8 新しく地域の「相談役」になる人が必要
- 9 その他()
- 10 わからない

(問16) あなたは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方など、生活上何らかの支援が必要な方に対して、地域で助け合って日常生活のお手伝いなどをすべきだと思いますか。(いずれか1つに)

- 1 ぜひすべきだ
- 2 ある程度すべきだ
- 3 あまりすべきではない
- 4 すべきではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問17) あなたは、児童・生徒に対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、どのように行うべきだと思いますか。
(いずれか1つに)

- 1 学校教育の中で学ぶべきだ
- 2 家庭の中で学ぶべきだ
- 3 子ども会など地域の活動を通じて学ぶべきだ
- 4 公民館などでの社会教育を通じて学ぶべきだ
- 5 生活していく中で自然と身につく
- 6 その他()
- 7 わからない

(問18) 地域には、町内会や自治会などの組織のほか、地区福祉推進協議会などのさまざまな団体が活動していますが、あなたは、どのような団体を知っていますか。
(知っているものすべてに)

- 1 町内会・自治会(婦人会などを含む)
- 2 PTA・育友会
- 3 民生委員や主任児童委員の協議会
- 4 地区福祉推進協議会
- 5 ボランティア団体やNPO法人
- 6 その他()

(問19) あなたは、お住まいの地域の活動にどの程度参加していますか。
(いずれか1つに)

- | | | |
|---------------|---|------|
| 1 積極的に参加している | } | 問20へ |
| 2 時々参加している | | |
| 3 あまり参加していない | | |
| 4 まったく参加していない | | 問21へ |

(問20) あなたは、地域でどのような活動や行事に参加していますか。
(あてはまるものすべてに)

- 1 町内会や自治会の活動
- 2 子ども会やPTA・育友会の活動
- 3 老人クラブの活動
- 4 地区福祉推進協議会の活動
- 5 お祭りや運動会などの行事
- 6 町内清掃
- 7 その他()

(問21) あなたは、現在の地域の活動に問題があると思いますか。

(いずれか1つに)

- 1 思う 問22へ
- 2 思わない 問23へ

(問22) あなたは、地域の活動の問題点はどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

- 1 活動する人(とくに若い人)が少なくなっている
- 2 住民の関心が低い
- 3 活動資金が十分ではない
- 4 活動する場所や拠点の確保が難しい
- 5 地域活動に関する情報が十分ではない
- 6 その他()

(問23) あなたは、ボランティア・NPO 活動に参加したことがありますか。

(いずれか1つに)

- 1 ある
- 2 ない

(問24) あなたは、ボランティア・NPO 活動が活性化するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるものに3つまで)

- 1 活動に関する情報の把握と提供
- 2 ボランティア人材の育成
- 3 活動資金の助成
- 4 活動に関する相談窓口の充実
- 5 ボランティアをする人と受ける人を結びつける調整役の育成
- 6 活動の場の確保
- 7 講演会やセミナーなどによる意識啓発
- 8 その他()
- 9 特にない

(問25) あなたは、自治会などの“地域”を単位とする組織と、ボランティアや NPO などの“目的別”の団体の関わり方は、どうあるべきだと思いますか。
(いずれか1つに)

- 1 積極的に関わるべきだ
- 2 場合によっては関わるべきだ
- 3 あまり関わるべきではない
- 4 まったく関わるべきではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問26) あなたは、「デイクラブ」や「ふれあいいいきサロン」などの住民による交流の場があることを知っていますか。
(いずれか1つに)

- 1 よく知っている(参加している)
- 2 少しは知っている(何回か参加したことがある)
- 3 ほとんど知らない(聞いたことはあるが、参加したことはない)
- 4 知らない

(問27) あなたが福祉に関する情報を入手する場合、どこから情報を入手しますか。
(あてはまるものに3つまで)

- 1 市役所など行政機関の窓口
- 2 広報させぼ
- 3 テレビ、ラジオ
- 4 新聞
- 5 インターネットや携帯電話の情報サイト
- 6 雑誌や本、タウン誌(ライフさせぼなど)
- 7 自治会(町内会・区など)の回覧板
- 8 社協だよりや社会福祉協議会の窓口
- 9 民生委員や主任児童委員
- 10 福祉サービスの事業所またはその職員
- 11 その他()

佐世保市では、行政・地域住民・事業者・ボランティアなど様々な主体が協力しながら、子どもも高齢者も、障がいのある人もない人も、誰もが支え合って安心して暮らせる地域づくりを行う、「地域福祉」を進める取り組みを行っています。

(問28) あなたは、上のような意味での「地域福祉」という言葉を知っていましたか。

(いずれか1つに)

- 1 よく知っていた
- 2 少しは知っていた
- 3 ほとんど知らなかった(「聞いたことはあった」程度)
- 4 知らなかった

(問29) あなたは、「地域福祉」を進めることが必要だと思いますか。

(いずれか1つに)

- 1 とても必要だ
- 2 どちらかと言えば必要だ
- 3 あまり必要ではない
- 4 まったく必要ではない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問30) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、自分ができることに取り組もうと思いますか。(いずれか1つに)

- 1 積極的に取り組みたい
- 2 少しは取り組みたい
- 3 できれば何もしたくない
- 4 何もしようと思わない
- 5 その他()
- 6 わからない

(問3 1) 「地域福祉」を進めるために、行政と住民はどのような関係にあるべきだと思いますか。(いずれか1つに)

- 1 行政が行うことなので、住民は何もしなくてよい
- 2 行政だけではできないことを住民が協力すればよい
- 3 いずれの場合も行政と住民が協力し合うべきだ
- 4 まず家庭や地域で助け合い、できないことを行政が支援するべきだ
- 5 その他()
- 6 わからない

(問3 2) あなたは、「地域福祉」を進めるためにさまざまな活動を行っている団体「佐世保市社会福祉協議会」を知っていますか。
(いずれか1つに)

- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 ほとんど知らない(「名前は聞いたことがある」程度)
- 4 知らない

(問3 3) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、「佐世保市社会福祉協議会」が行う活動・支援として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものに3つまで)

- 1 住民による身近な支え合い活動への支援
- 2 ボランティア・NPO 活動への参加促進と支援
- 3 在宅で生活するための福祉サービスの提供
- 4 身近に福祉の相談ができる窓口の設置
- 5 学校や地域での福祉教育の推進
- 6 福祉に関する情報発信(インターネット等を含む)
- 7 子育てに関する支援
- 8 障がいのある人や団体への支援
- 9 高齢者や団体への支援
- 10 その他()
- 11 特にない

佐世保市では、地域福祉に関する基本的な考え方などをまとめた「地域福祉計画」をつくりました。また、各地区の福祉推進協議会が中心となり、地域住民が自ら取り組んでいくべき内容を地区ごとに「地域福祉活動計画」としてまとめ、これらの計画に基づき取り組みを進めています。

各地区内の町内会・自治会、民生委員、老人会、小・中学校、PTA、警察などの様々な団体で構成され、地域の問題を解決し、「福祉のまちづくり」を進める組織です。江迎・鹿町地区を除く市内31地区に組織されています。

(問34) あなたは、「地域福祉計画」または「地域福祉活動計画」を知っていましたか。

(いずれか1つに)

- 1 よく知っていた
- 2 少しは知っていた
- 3 ほとんど知らなかった(「聞いたことはあった」程度)
- 4 知らなかった

(問35) あなたは、「地域福祉計画」や「地域福祉活動計画」についてどう思いますか。

(いずれか1つに)

- 1 とても意義がある
- 2 どちらかと言えば意義がある
- 3 あまり必要性を感じない
- 4 まったく必要性を感じない
- 5 どちらとも言えない・わからない

(問36) あなたは、「地域福祉」を進めるための取り組みについて、各地区の福祉推進協議会が中心となって進めることについてどう思いますか。

(いずれか1つに)

- 1 当然中心となって進めるべきだ
- 2 少しは関わって進めるべきだ
- 3 あまり関わるべきではない
- 4 まったく関わるべきではない
- 5 その他()
- 6 わからない

(問37) あなたは、今後の「地域福祉」を進めるために、各地区の福祉推進協議会が行う活動として充実すべきことはどのようなことだと思いますか。

(あてはまるものに3つまで)

- 1 住民による身近な支え合いづくり
- 2 ボランティア活動への参加促進
- 3 身近な福祉の相談機能
- 4 子どもへの福祉教育
- 5 子育てに関する支援
- 6 障がいのある人への支援
- 7 高齢者への支援
- 8 その他()
- 9 特にない

(問38) あなたは、「地域福祉」を進めるうえで、地域内で個人情報 を共有することについて、どう思いますか。(いずれか1つに)

氏名・生年月日・性別・住所・家族構成など、特定の個人を識別できる情報のほか、病歴や通院履歴など、個人の私生活がわかってしまうおそれのある情報を指します。

- 1 積極的に共有すべきだ
- 2 ある程度共有すべきだ
- 3 あまり共有すべきではない
- 4 まったく共有すべきではない
- 5 その他()
- 6 わからない

(問39) 「地域福祉」に関する取り組みについて、ご意見やご提案などがございましたら
お書きください。



以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。